2024年（令和6年）
投資信託に関するアンケート調査

報　告　書

2025年3月

一般社団法人
投資信託協会

<目　　次>

1．調査概要 …… 3

2．調査結果の総括 …… 6

3．投資信託保有状況 …… 12
(1) 保有率〔Q2〕 …… 14
(2) 保有口座〔Q3〕 …… 17
(3) 保有種類〔Q5〕 …… 20
(4) 保有金額〔Q6〕 …… 21
(5) 保有本数〔Q4〕 …… 22
(6) 積立投資の利用状況〔Q18〕 …… 23
(7) 積立金額増額のきっかけ〔Q19〕 …… 25
(8) 毎月分配型の保有状況〔Q21〕 …… 26

4．投資信託購入者に聞いた投資信託 …… 31
(1) 興味・関心・購入のきっかけ〔Q7〕 …… 33
(2) 購入目的〔Q8〕 …… 34
(3) 購入時の参考情報〔Q10〕 …… 35
(4) 購入商品を見直すきっかけ〔Q11〕 …… 36
(5) 購入時に重視した点〔Q9〕 …… 37
(6) 分配金の特徴認知状況〔Q13〕 …… 38
(7) 償還・売却資金の流出先〔Q14〕 …… 39
(8) 優れていると感じる点〔Q15〕 …… 41
(9) 不満に感じる点〔Q16〕 …… 42

5．保有未経験者が考える投資信託 …… 43
(1) 購入しない理由〔Q25〕 …… 44
(2) 魅力と感じる点〔Q26〕 …… 45
(3) 購入を検討するきっかけ〔Q27〕 …… 46

<目　　次>

6. 投資信託に関する認識 …… 47
(1) 特徴の認知状況〔Q12〕 …… 48
(2) 毎月分配型への魅力度〔Q22〕 …… 50
(3) 毎月分配型に魅力を感じる理由〔Q23〕 …… 52
(4) 積立投資プランの認知状況〔Q20〕 …… 54
(5) 運用会社選択の際に重視する点〔Q17〕 …… 55
(6) コストの特徴認知〔Q24〕 …… 56

7. 投資意識 …… 57
(1) ESG・SDGs関連への投資意向〔Q28〕 …… 58
(2) お金の話についてふれた機会〔Q29①〕 …… 59
(3) 最も良いと思う金融教育〔Q29②〕 …… 60
(4) 知りたいテーマ〔Q30①〕 …… 61
(5) 一番知りたいテーマ〔Q30②〕 …… 62

参考. 回答者のプロフィール …… 63
(1) 性別・年代〔F1〕〔F2〕 …… 64
(2) 職業〔F3〕 …… 66
(3) 金融資産の保有経験〔Q1〕 …… 67
(4) 世帯年収〔F4①〕 …… 68
(5) 個人年収〔F4②〕 …… 70
(6) 保有金融資産額〔F5〕 …… 72

＊末尾添付資料：調査票

1. 調査概要

<table>
<tr><td>調査目的</td><td>全国の20歳～79歳の男女個人を対象に、投資信託の保有状況や特徴
認知、満足度、積立投資の認知などを把握すると同時に、投資信託保有
未経験層に対しては、非購入理由や購入検討のきっかけを確認することで、
「貯蓄から資産形成へ」の流れを促進するための課題を探り、今後の投資
信託の利用拡大及び啓発普及活動に役立つ資料とすること。</td></tr>
<tr><td>調査手法</td><td>インターネット調査（抽出フレーム：NRCネットワークパネル）
※ インターネット調査のモニターは、一般的に情報感度が高い事が確認されており、
金融商品（投資信託）においては保有率や制度認知が
郵送調査モニターなどに比べて高めに出る傾向にあります。</td></tr>
<tr><td>調査地域</td><td>全国（首都圏、阪神圏、その他地域の３ブロック）</td></tr>
<tr><td>調査対象</td><td>20～79歳の男女</td></tr>
<tr><td>サンプル数</td><td>総計20,000サンプル
＊ 性・年代・エリアで割付実施
（割付は令和5（2023）年1月1日現在の住民基本台帳に基づく）
＊ 職業条件による除外は実施していない。

＜性・年代・エリアごとの回収数詳細＞

<table>
<tr><th></th><th></th><th>20-29歳</th><th>30-39歳</th><th>40-49歳</th><th>50-59歳</th><th>60-69歳</th><th>70-79歳</th><th>20-79歳計</th></tr>
<tr><td rowspan="3">男性</td><td>首都圏</td><td>436</td><td>480</td><td>603</td><td>620</td><td>430</td><td>435</td><td>3,004</td></tr>
<tr><td>阪神圏</td><td>195</td><td>205</td><td>267</td><td>284</td><td>212</td><td>234</td><td>1,397</td></tr>
<tr><td>その他地域</td><td>712</td><td>804</td><td>1,055</td><td>1,041</td><td>965</td><td>989</td><td>5,566</td></tr>
<tr><td colspan="2">男性計</td><td>1,343</td><td>1,489</td><td>1,925</td><td>1,945</td><td>1,607</td><td>1,658</td><td>9,967</td></tr>
<tr><td rowspan="3">女性</td><td>首都圏</td><td>425</td><td>454</td><td>566</td><td>577</td><td>421</td><td>501</td><td>2,944</td></tr>
<tr><td>阪神圏</td><td>196</td><td>207</td><td>273</td><td>291</td><td>227</td><td>283</td><td>1,477</td></tr>
<tr><td>その他地域</td><td>658</td><td>762</td><td>1,011</td><td>1,033</td><td>1,007</td><td>1,141</td><td>5,612</td></tr>
<tr><td colspan="2">女性計</td><td>1,279</td><td>1,423</td><td>1,850</td><td>1,901</td><td>1,655</td><td>1,925</td><td>10,033</td></tr>
<tr><td colspan="2">TOTAL</td><td>2,622</td><td>2,912</td><td>3,775</td><td>3,846</td><td>3,262</td><td>3,583</td><td>20,000</td></tr>
</table>

※ エリアの定義とエリア計での回収数は以下の通り。
首都圏： 東京、神奈川、埼玉、千葉／計5,948サンプル
阪神圏： 大阪、京都、兵庫、奈良／計2,874サンプル
その他地域： 上記以外の都道府県／計11,178サンプル</td></tr>
<tr><td>調査時期</td><td>2024年9月12日（木）～ 9月19日（木）</td></tr>
<tr><td>調査主体</td><td>一般社団法人 投資信託協会</td></tr>
<tr><td>調査実施機関</td><td>株式会社日本リサーチセンター</td></tr>
</table>

＜グラフ・表・コメントについて＞
- 本報告書の回答割合等の数値(%)は、小数点第2位を四捨五入して表示しているため、数値を足し上げた際に内訳の合計が100%ちょうどにならない場合がある。また、小計においても、内訳を足し上げた数値と誤差が生じる場合がある。
- グラフ、数表上の数値は特に断りがない限りは%値となる。また“n”は各属性の実数(サンプル数)を表しており、n数が少ない属性(30未満)のデータをみる際は、あくまで参考値として捉えるように注意する必要がある。

1. 調査概要

＜分析軸の内容＞

分析軸		カテゴリー	備考
基本軸1	性別	1　男性	F1の調査結果から作成
		2　女性	
	年代別	1　20代	F2の調査結果から作成
		2　30代	
		3　40代	
		4　50代	
		5　60代	
		6　70代	
	世帯年収別	1　100万円未満	F4①の調査結果から作成
		2　～300万円	
		3　～500万円	
		4　～1,000万円	
		5　1,000万円以上	
基本軸2	投資信託保有状況別	1　現在保有層	Q2で投資信託を「1.現在保有している」回答者
		2　保有経験層（現在非保有）	Q2で投資信託を「2.以前保有していたが、現在は保有していない」回答者
		3　保有未経験層（金融資産保有経験有）	Q2で投資信託を「3.今まで保有したことはない」且つ Q1で金融資産を「1.保有したことがある」回答者
		4　保有未経験層（金融資産保有経験無）	Q2で投資信託を「3.今まで保有したことはない」且つ Q1で金融資産を「2.保有したことはない」回答者
基本軸3	居住エリア	1　北海道・東北	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
		2　関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県
		3　中部・北陸	新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県 愛知県、三重県
		4　近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
		5　中国・四国・九州	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県 愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県 宮崎県、鹿児島県、沖縄県

日経平均株価の推移

・出所：日本経済新聞社の指数公式サイト『日経平均プロフィル』
（日経平均株価©日本経済新聞社）
・期間：2023年1月4日～2024年9月30日

2. 調査結果の総括

① 投資信託の保有状況

- 投資信託の保有率（現在保有している層）は全回答者のうち28.7%で、前年より4.1ポイント増加。かつ、全ての年代で前年より増加。(図3-8)

		2024年	2023年	2022年
		n=	n=	n=
TOTAL		(20000) 28.7	(20000) 24.6	(20000) 26.5
年代別	20代	(2622) 27.5	(2617) 22.5	(2608) 22.5
	30代	(2912) 30.9	(2955) 28.7	(2997) 26.8
	40代	(3775) 29.1	(3857) 26.1	(3926) 25.2
	50代	(3846) 27.1	(3720) 22.5	(3601) 26.6
	60代	(3262) 31.3	(3292) 24.9	(3348) 29.5
	70代	(3583) 26.9	(3559) 22.8	(3520) 27.8

- 保有率が増えている一方で、今まで保有したことがない人も60%以上存在する。購入しない理由は「投資の知識がないので」が最も高く46.0%。(図3-1、図5-1)

	n=	現在保有している	以前保有していたが、現在は保有していない	今まで保有したことがない
2024年	(20000)	28.7	7.7	63.5
2023年	(20000)	24.6	7.7	67.7
2022年	(20000)	26.5	8.6	64.9

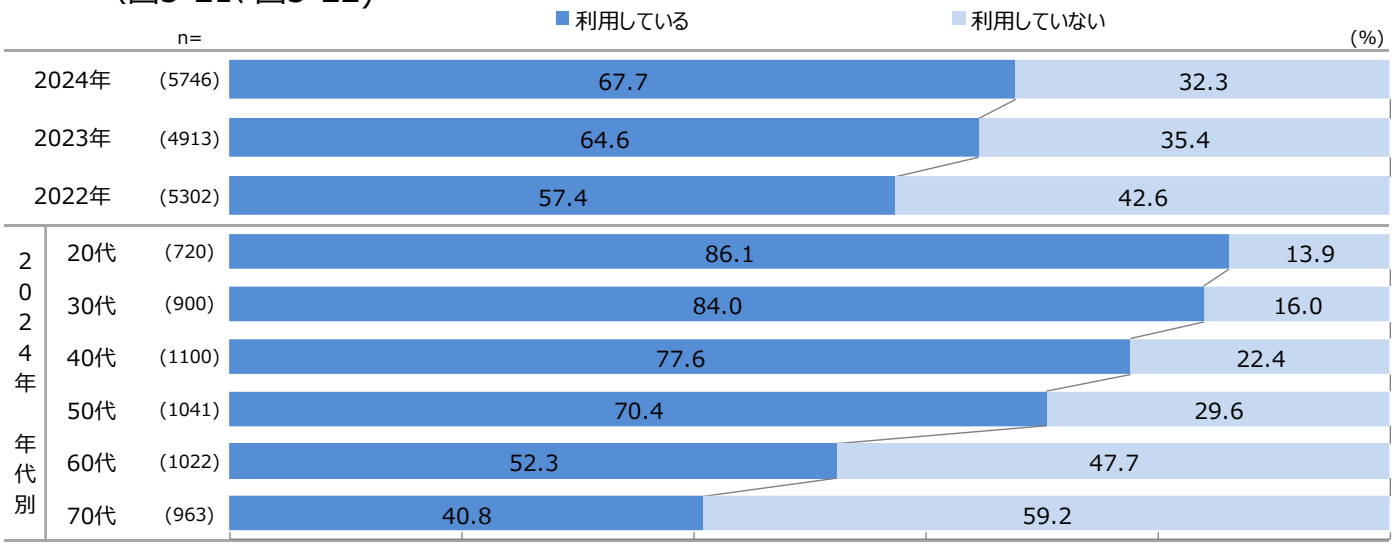
	n=	投資の知識がない	そもそも興味がない	損をしそうで怖い	まとまった資金がない	元本保証がない	投資信託の仕組みがよくわからない	手数料など費用が高い	なんとなく機会がなかった	商品の種類が多く自分では選択できない	購入するのに手間がかかる	投資信託を買うよりも自分で株などを運用した方がいい	投資信託の存在を知らなかった	友人・知人から投資について良い話を聞かないから	家族から投資について良い話を聞かないから	その他
																(%)
2024年	(12705)	46.0	38.3	25.9	22.7	20.2	15.0	11.4	8.1	5.9	3.7	3.0	2.6	2.1	2.1	0.4
2023年	(13546)	51.0	35.8	25.9	22.8	18.5	17.0	10.9	8.4	6.3	4.0	2.8	3.2	2.4	2.1	0.7
2022年	(12982)	51.4	35.2	27.1	22.1	20.9	16.3	12.6	6.9	6.2	4.1	3.2	2.7	2.5	2.4	0.7

2. 調査結果の総括

- 投資信託を保有している口座は、「新NISA（つみたて投資枠）」が51.0%と最多、次いで「特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座」が50.2%（前年比4.8ポイント低下）、「新NISA（成長投資枠）」43.3%と続く。年齢別にみると20～40代では「新NISA（つみたて投資枠）」での保有が6～7割、20～30代では「新NISA（成長投資枠）」が5割を超え、若年層の投資信託保有は、新NISA口座が中心となっていることがわかる。(図3-9、図3-10)

		n=	新NISA（つみたて投資枠）	新NISA（成長投資枠）	旧NISA（一般NISA）	旧NISA（つみたてNISA）	特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座	iDeCo（個人型確定拠出年金）	ポイント投資/運用の口座	企業型DC（企業型確定拠出年金）	その他	わからない・忘れた
												(%)
	2024年	(5746)	51.0	43.3	24.2	22.9	50.2	14.8	14.5	9.3	0.5	2.1
	2023年	(4913)	–	–	33.7	42.6	55.0	16.1	13.1	10.4	0.5	2.5
	2022年	(5302)	–	–	38.1	32.0	63.5	15.5	14.4	9.4	0.8	2.3
2024年年代別	20代	(720)	67.4	51.1	15.3	32.5	33.3	11.8	18.2	12.6	0.4	1.0
	30代	(900)	70.0	52.3	16.4	38.2	41.6	22.2	21.4	14.8	0.1	1.1
	40代	(1100)	61.7	47.1	21.6	28.3	44.9	22.0	21.0	13.0	0.5	1.4
	50代	(1041)	50.5	41.3	23.3	21.9	50.8	22.3	13.8	10.3	0.5	2.0
	60代	(1022)	37.9	39.7	31.9	14.2	59.3	8.6	10.3	4.6	0.6	3.3
	70代	(963)	23.4	30.4	33.7	5.5	66.7	0.6	3.3	1.2	0.6	3.6

- 投資信託保有者における積立投資の利用は年々高まっており、2024年は67.7%（2022年比10.3ポイント増）。年齢別にみると若年層ほど利用率が高く、20代で86.1%、30代で84.0%を占める。若年層を中心に、積立投資を活用した投資行動が高まっていることがうかがえる。（図3-21、図3-22）



2. 調査結果の総括

② 投資信託を保有したきっかけ

- 投資信託保有者・保有経験者へ聞いた興味・関心・購入のきっかけは、「証券会社、銀行などの金融機関の人に勧められて」が31.5%と最も高く、次いで「インターネットで投資信託について見たり調べたりして」が27.5%、「少額投資非課税制度（NISA）があるから」が17.1%と続く。しかし若年層の傾向は「インターネットで投資信託について見たり調べたりして」が一番高く、次いで「少額投資非課税制度（NISA）があるから」「YouTube等の動画配信を観て」となっており、年代によってきっかけに大きな差が見られ、若年層には主体的な行動が見られるのが特徴。(図4-1、図4-2)

		n=	金融機関の人に勧められて	インターネットで見たり調べたりして	少額投資非課税制度があるから	投資信託に関する本や記事を見て	経済的に余裕ができたので	ポイントで投資/運用ができることを知って	投資信託の商品広告などを見て	家族などから話を聞いて	景気や市場の状況を見て	DMを見たり、電話案内を聞いて	YouTube等の動画配信を観て	友人・知人から話を聞いて	講演会やセミナーなどで話を聞いて	確定拠出年金で投資信託を選択したことで興味を持った	職場で勧められて	X（旧Twitter）からの情報を通じて	Instagramからの情報を通じて	Facebookからの情報を通じて	TikTokからの情報を通じて	その他
																						(%)
2024年		(7295)	31.5	27.5	17.1	15.2	11.0	9.6	9.5	8.7	8.4	8.3	8.0	7.4	6.2	5.5	3.2	4.1	2.1	1.1	1.0	1.8
2023年		(6454)	33.2	26.7	15.0	15.6	8.7	7.9	10.2	8.8	7.5	8.3	9.1	8.3	6.2	6.4	–	3.8	2.5	1.3	1.2	2.0
2022年		(7018)	36.1	25.1	14.7	15.0	9.7	8.6	10.8	8.3	8.4	8.2	7.2	7.1	6.2	5.8	–	4.7	4.7	4.7	4.7	2.2
2024年年代別	20代	(808)	16.8	33.0	22.6	14.7	14.1	15.5	12.0	11.0	8.7	16.6	17.0	12.6	10.9	6.9	4.1	15.0	7.8	3.2	4.0	0.2
	30代	(967)	13.4	38.8	24.7	16.1	11.2	16.5	8.8	8.2	10.9	9.4	16.2	8.1	6.9	7.4	3.4	8.1	4.4	1.4	1.0	1.3
	40代	(1242)	17.6	38.5	20.8	19.9	11.2	15.2	9.9	9.1	8.8	8.0	9.8	7.3	6.1	8.1	3.6	5.0	2.6	1.9	1.8	1.5
	50代	(1301)	24.4	32.5	17.3	16.9	10.2	8.9	9.7	9.1	8.9	6.8	6.4	6.0	5.5	6.9	3.6	1.9	0.9	0.8	0.7	2.3
	60代	(1392)	43.4	20.4	13.5	14.3	10.9	5.2	8.8	8.2	7.5	6.0	4.2	6.0	4.8	3.8	2.2	0.6	0.4	0.3	0.2	2.0
	70代	(1585)	56.2	11.4	9.6	10.6	10.0	2.3	9.0	7.6	6.8	6.9	1.5	6.8	5.0	1.8	3.1	0.1	0.0	0.1	0.0	2.6

- 投資信託保有者・保有経験者へ聞いた購入目的は、「老後の生活資金」（55.5%）が最も高く、「資産のリスク分散」（28.2%）、「金融・経済・投資の勉強のため」（15.5%）が続く。(図4-4)
- 20代でも「老後の生活資金」が4割を超えており、将来の生活に対する不安を感じている様子がうかがえる。20～30代は、「金融・経済・投資の勉強のため」が全体より8.3ポイント高く、将来について考え、行動している様子が見てとれる。(図4-5)

		n=	老後の生活資金	資産のリスク分散	金融・経済・投資の勉強のため	不測の事態への備え	インフレ（物価上昇）に備えるため	結婚・住宅資金等、ライフイベントの支払いに備えるため	子供又は孫のための教育などの資金	レジャー資金	子供や孫に十分な資産を残したいため	FIREのため	退職金の運用	高額商品の購入資金	投資で社会を良くすることができるため	その他	目的はないが資金を増やしたい
																	(%)
2024年		(7295)	55.5	28.2	15.5	10.7	10.2	9.6	8.3	7.9	6.4	5.6	5.5	4.1	2.4	0.9	14.3
2023年		(6454)	53.9	27.8	15.9	10.8	–	9.6	9.1	9.0	6.2	6.8	–	4.1	2.6	0.8	17.4
2022年		(7018)	54.6	29.8	15.2	11.7	–	9.4	8.3	6.8	6.3	5.8	–	3.9	2.6	1.0	17.1
2024年年代別	20代	(808)	41.5	30.6	23.8	12.9	14.6	22.9	13.0	14.7	7.5	13.2	4.3	10.8	6.1	0.1	12.1
	30代	(967)	49.4	32.7	23.8	14.8	16.8	18.3	16.0	10.7	7.3	12.3	3.3	8.0	3.9	0.2	11.2
	40代	(1242)	55.3	30.4	18.4	12.1	10.8	10.4	13.3	7.8	6.8	8.6	3.1	4.8	2.6	0.3	12.0
	50代	(1301)	61.9	25.7	15.1	9.8	9.7	7.5	5.3	6.6	4.0	3.7	1.5	2.8	1.9	0.8	13.5
	60代	(1392)	62.2	28.1	9.8	9.1	7.5	4.8	3.9	5.5	6.5	1.4	7.0	1.6	0.9	1.1	15.2
	70代	(1585)	55.3	24.9	9.5	8.3	6.4	3.0	3.8	6.1	6.6	0.4	11.1	1.1	1.1	2.1	19.1

2. 調査結果の総括

③投資信託の普及・拡大のための課題

- 投資信託の特徴の中で認知されているものは、「元本の保証はない」が全回答者のうち50.9%と、最も高く、次いで「リスクとリターンは表裏一体の関係にある」「価格の変動と、その他に外国に投資するものには為替リスクがある」が４割以上の方に認知されている。なお昨年と比較するとすべての項目で認知度が上昇している。(図6-1)
- 若年層ほど「知っているものはない」と回答する者が多く、20代にあっては上記の認知上位項目でも３割程度と、他の年代と比べて最も低い水準に留まっており、投資信託の普及拡大のためには若年層の認知を向上させることが重要。（図6-2)

		n=	元本の保証はない	リスクとリターンは表裏一体の関係にある	価格変動と、外国に投資するものには為替リスクがある	過去の実績は、将来のリターンを保証するものではない	銀行など、証券会社以外の金融機関でも購入できる	NISAやDCで投資信託が購入できる	投資信託は、運用会社が運用している	ポイントで投資信託に投資/運用できる	販売手数料とは別に運用管理費用がかかる	1社の株を買うよりも、株式投資信託を買う方が分散効果が期待できる	投資信託の評価を行う会社がある	投資信託は、信託銀行で分別管理されている	投資信託は投資初心者に適した金融商品である	インフレ率より投資信託の収益率が高ければ、そのお金で1年後に今より多くの物が購入できる	金利が上がると公社債投資信託の基準価額は下がる	この中で知っているものはない
																		(%)
2024年		(20000)	50.9	42.3	41.6	34.7	30.8	26.4	24.8	23.3	21.8	20.7	11.5	11.4	11.3	11.1	8.8	30.4
2023年		(20000)	44.0	35.6	29.6	27.1	26.1	22.6	20.5	20.4	17.6	16.4	9.2	8.2	9.6	7.5	6.4	39.9
2022年		(20000)	48.2	38.4	32.3	30.4	29.0	24.6	24.8	22.5	20.4	19.2	11.1	9.1	–	8.6	7.1	36.7
2024年 年代別	20代	(2622)	28.5	32.0	30.1	23.5	18.7	19.4	13.8	21.8	11.9	14.0	7.4	10.2	9.6	8.6	6.4	39.7
	30代	(2912)	40.0	37.6	34.4	29.4	23.5	24.7	20.6	26.3	17.5	17.6	10.3	11.3	12.2	11.2	7.1	36.8
	40代	(3775)	47.8	40.4	39.3	33.7	27.8	25.6	23.9	26.9	20.5	19.8	12.1	11.8	11.7	11.7	7.7	31.8
	50代	(3846)	55.4	44.0	43.4	37.0	31.2	27.9	25.5	26.3	23.2	21.7	12.6	12.2	11.7	11.3	9.3	29.0
	60代	(3262)	62.4	48.5	48.5	40.3	38.3	30.0	31.1	23.3	27.5	24.6	13.9	12.4	12.3	13.1	11.0	24.2
	70代	(3583)	64.2	47.9	49.9	40.7	41.4	28.9	30.4	15.0	27.0	24.5	11.7	10.3	10.3	10.2	10.3	24.2

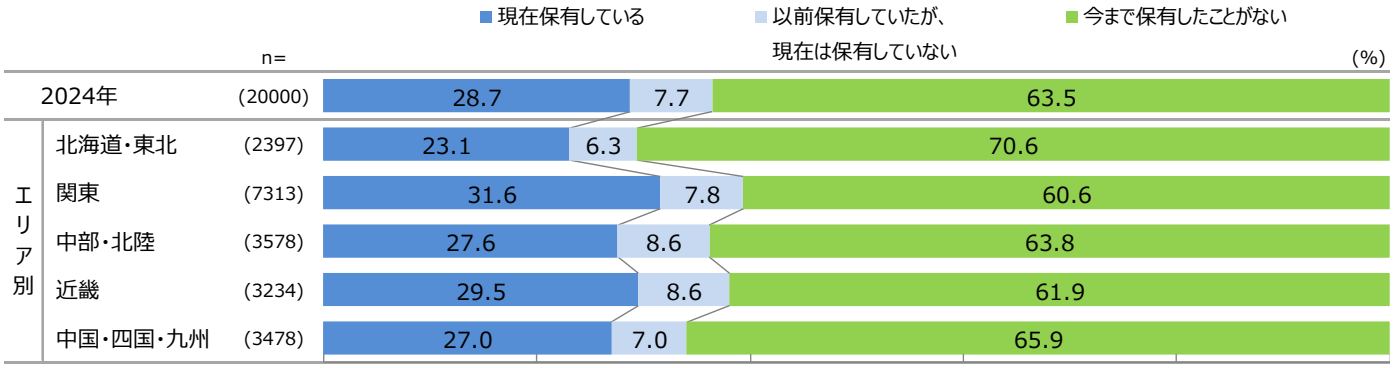
2. 調査結果の総括

④ 金融教育の重要性

- 「お金の話についてふれた機会がある」は全回答者のうち34.5%と、前年より微増（0.3ポイント増加）で、若年層ほど高く、20代では4割半、30代では4割程度である。(図7-4、図7-6)
- 年齢別に見ると、20～30代は「YouTubeの動画配信」が20%台、70代は「金融機関が主催のセミナー」（13.0%）が他の年代より高い。(図7-6)

		n=	動画サイト(YouTube等)の動画配信	勤め先の企業での確定拠出年金の導入/継続/教育	金融機関が主催のセミナー	専門家（ファイナンシャルプランナー等）への個別相談	勤め先の企業が行った資産運用セミナー	高校や大学での講義	金融機関以外が主催のセミナー	その他	あてはまるものはない／お金の話にふれたことがない	お金の話にふれたことがある計
												(%)
2024年		(20000)	14.9	12.4	7.7	6.4	5.8	4.8	4.4	0.7	65.5	34.5
2023年		(20000)	13.7	13.5	6.7	6.1	5.9	5.0	3.9	0.7	65.8	34.2
2022年		(20000)	–	13.4	8.4	8.4	–	5.9	5.3	1.1	71.9	28.1
2024年 年代別	20代	(2622)	20.5	16.5	5.1	7.6	8.0	13.7	4.4	0.5	54.3	45.7
	30代	(2912)	20.1	15.3	5.3	6.9	7.0	6.0	3.7	0.9	61.0	39.0
	40代	(3775)	17.4	12.9	6.2	7.4	6.1	4.6	4.2	0.6	64.7	35.3
	50代	(3846)	13.5	12.2	6.7	5.2	5.4	2.6	4.8	0.7	68.4	31.6
	60代	(3262)	12.0	10.6	9.0	6.4	5.2	2.3	4.5	0.8	68.9	31.1
	70代	(3583)	7.9	8.1	13.0	5.3	4.2	1.9	4.6	0.6	72.1	27.9

- また、エリア別にみると「お金の話にふれたことがある」と「投資信託の保有率」は相関が高い。（図3-3、図7-5）当傾向や、投資信託の非購入理由（P43）から、「貯蓄から投資へ」を促進するうえで金融教育が担う役割は大きいと考えられる。



		n=	動画サイト(YouTube等)の動画配信	勤め先の企業での確定拠出年金の導入/継続/教育	金融機関が主催のセミナー	専門家（ファイナンシャルプランナー等）への個別相談	勤め先の企業が行った資産運用セミナー	高校や大学での講義	金融機関以外が主催のセミナー	その他	あてはまるものはない／お金の話にふれたことがない	お金の話にふれたことがある計
												(%)
2024年		(20000)	14.9	12.4	7.7	6.4	5.8	4.8	4.4	0.7	65.5	34.5
エリア別	北海道・東北	(2397)	13.1	11.0	5.5	4.0	5.0	4.1	3.6	0.9	69.0	31.0
	関東	(7313)	15.6	14.0	8.6	6.9	6.7	5.2	4.9	0.8	63.4	36.6
	中部・北陸	(3578)	13.7	12.6	7.1	6.3	5.5	4.0	4.1	0.5	66.6	33.4
	近畿	(3234)	15.0	12.1	8.5	7.3	6.1	5.4	5.1	0.5	64.7	35.3
	中国・四国・九州	(3478)	15.7	10.0	7.1	6.3	4.7	4.4	3.5	0.5	67.3	32.7

2. 調査結果の総括

- 投資に関して知りたいテーマは「NISA」が最も高く、特に20～40代では３～4割台を占めており、興味関心のニーズが高く、情報提供が求められていることがうかがえる。「NISA」に次いで「今後の経済動向」が高くなっているが、若年層にあっては「iDeCo」や「NISAとiDeCoの使い分け」も上位にあるのが特徴である。（図7-12）

		n=	NISA	今後の経済動向	投資する商品の選び方・資産配分の方法	商品売買のタイミング	iDeCo（個人型確定拠出年金）／iDeCo＋	税制優遇制度（NISA・iDeCoなど）の使い分け	定年後のライフプラン	資産の取り崩し方	一括投資と積立投資の違い	企業型DC（企業型確定拠出年金）	その他	あてはまるものはない／知りたいテーマはない
														(%)
2024年		(20000)	29.9	18.1	16.2	13.5	13.3	11.7	11.4	9.7	7.0	5.6	0.1	48.7
年代別	20代	(2622)	41.5	16.4	14.1	12.8	20.3	15.5	9.8	8.2	8.6	9.4	0.1	43.3
	30代	(2912)	39.7	18.4	16.3	13.9	19.8	14.9	12.4	10.7	8.7	8.3	0.1	43.4
	40代	(3775)	34.6	18.3	17.1	14.7	18.4	14.4	12.8	10.3	8.8	8.2	0.1	44.5
	50代	(3846)	28.5	16.5	15.9	12.6	14.7	11.8	14.1	9.7	6.0	5.4	0.2	48.9
	60代	(3262)	21.8	18.4	16.6	13.0	5.3	6.9	12.2	10.3	5.0	1.9	0.2	53.3
	70代	(3583)	17.2	20.3	16.7	13.9	3.5	7.5	6.8	8.5	5.7	1.4	0.1	57.2

- 若年層は、お金の話にふれる機会はありながら、投資信託やコストに関する認知が不十分であり、資産形成に必要となる金融教育を十分に身につけていない人も多いと推察される。そのため、投資信託の普及・拡大のためには、若年層を中心に金融教育の提供機会を拡充することが重要であると考える。（図7-6、図6-2）

		n=	動画サイト(YouTube等)の動画配信	勤め先の企業での確定拠出年金の導入/継続/教育	金融機関が主催のセミナー	専門家（ファイナンシャルプランナー等）への個別相談	勤め先の企業が行った資産運用セミナー	高校や大学での講義	金融機関以外が主催のセミナー	その他	あてはまるものはない／お金の話にふれたことがない	お金の話にふれたことがある計
												(%)
2024年		(20000)	14.9	12.4	7.7	6.4	5.8	4.8	4.4	0.7	65.5	34.5
年代別	20代	(2622)	20.5	16.5	5.1	7.6	8.0	13.7	4.4	0.5	54.3	45.7
	30代	(2912)	20.1	15.3	5.3	6.9	7.0	6.0	3.7	0.9	61.0	39.0
	40代	(3775)	17.4	12.9	6.2	7.4	6.1	4.6	4.2	0.6	64.7	35.3
	50代	(3846)	13.5	12.2	6.7	5.2	5.4	2.6	4.8	0.7	68.4	31.6
	60代	(3262)	12.0	10.6	9.0	6.4	5.2	2.3	4.5	0.8	68.9	31.1
	70代	(3583)	7.9	8.1	13.0	5.3	4.2	1.9	4.6	0.6	72.1	27.9

		n=	元本の保証はない	リスクとリターンは表裏一体の関係にある	価格変動と、外国に投資するものには為替リスクがある	過去の実績は、将来のリターンを保証するものではない	銀行など、証券会社以外の金融機関でも購入できる	NISAやDCで投資信託が購入できる	投資信託は、運用会社が運用している	ポイントで投資信託に投資/運用できる	販売手数料とは別に運用管理費用がかかる	1社の株を買うよりも、株式投資信託を買う方が分散効果が期待できる	投資信託の評価を行う会社がある	投資信託は、信託銀行で分別管理されている	投資信託は投資初心者に適した金融商品である	インフレ率より投資信託の収益率が高ければ、そのお金で1年後に今より多くの物が購入できる	金利が上がると公社債投資信託の基準価額は下がる	この中で知っているものはない
																		(%)
2024年		(20000)	50.9	42.3	41.6	34.7	30.8	26.4	24.8	23.3	21.8	20.7	11.5	11.4	11.3	11.1	8.8	30.4
年代別	20代	(2622)	28.5	32.0	30.1	23.5	18.7	19.4	13.8	21.8	11.9	14.0	7.4	10.2	9.6	8.6	6.4	39.7
	30代	(2912)	40.0	37.6	34.4	29.4	23.5	24.7	20.6	26.3	17.5	17.6	10.3	11.3	12.2	11.2	7.1	36.8
	40代	(3775)	47.8	40.4	39.3	33.7	27.8	25.6	23.9	26.9	20.5	19.8	12.1	11.8	11.7	11.7	7.7	31.8
	50代	(3846)	55.4	44.0	43.4	37.0	31.2	27.9	25.5	26.3	23.2	21.7	12.6	12.2	11.7	11.3	9.3	29.0
	60代	(3262)	62.4	48.5	48.5	40.3	38.3	30.0	31.1	23.3	27.5	24.6	13.9	12.4	12.3	13.1	11.0	24.2
	70代	(3583)	64.2	47.9	49.9	40.7	41.4	28.9	30.4	15.0	27.0	24.5	11.7	10.3	10.3	10.2	10.3	24.2

3. 投資信託の保有状況

【サマリー】

①保有率（Q2）

・全体では、投資信託を「現在保有している（現在保有層）」は28.7%、「今まで保有したことがない」（63.5%）。(図3-1)
現在保有層は、前年より4.1ポイント増加。かつ、全ての年代で前年より増加。(図3-8)

・現在保有層の年代別構成比は、40代(19.1%)が最も多く、50代(18.1%)が続く。
一方、20代(12.5%)、30代(15.7%)が低い。(図3-2)

・エリア別では、北海道・東北は、現在保有層が23.1%と最も低い。
全てのエリアで、前年と比べて2.5～4.7ポイント増加。(図3-3、図3-4)

②保有口座（Q3）

・全体では、投資信託の保有口座は、「新NISA（つみたて投資枠）」（51.0%）が最も高く、「特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座」（50.2%）、「新NISA（成長投資枠）」（43.3%）が続く。(図3-9)

・20～40代では、「新NISA（つみたて投資枠）」が6～7割、20～30代では、「新NISA（成長投資枠）」が5割を超えて他の年代に比べて高い。30～50代では、「iDeCo（個人型確定拠出年金）」が2割台と他の年代に比べて高い。20～40代では「ポイント投資／運用の口座」が2割前後と、50代以上に比べて高い。(図3-10)

・エリア別では、全てのエリアで「新NISA（つみたて投資枠）」が5割程度、「新NISA（成長投資枠）」が4割台で、全国的に浸透している様子。(図3-11)

③保有種類、金額、本数（Q4～Q6）

●保有種類〔Q5〕

・全体では、「外国株式に投資する投資信託」（52.2%）が最も高く、「国内株式に投資する投資信託」（45.3%）が続く。「外国株式に投資する投資信託」は、前年より4.5ポイント増加。(図3-14)

・30～40代では「外国株式に投資する投資信託」が6割を超えており、他の年代より高い。(図3-15)

●保有金額〔Q6〕

・全体における保有合計金額は、平均424.6万円。(図3-17)

・エリア別では、関東が最も高く（461.2万円）、近畿が続く。
北海道・東北（381.1万円）、中国・四国・九州は全体より低い（358.0万円）。(図3-18)

●保有本数〔Q4〕

・全体における平均保有本数は3.8本。(図3-19)

・世帯年収が1000万円以上では4.5本で、全体より高い。(図3-20)

3. 投資信託の保有状況

【サマリー】

④積立投資の利用状況、増額のきっかけ（Q18･Q19）

●積立投資の利用状況〔Q18〕

・全体では、積立投資を「利用している」（利用率）が67.7%を占める (図3-21)

・利用率は年々増加し、2022年からは10.3ポイント増加。全ての年代で前年より増加。
(図3-21、図3-22、図3-23)

・年齢が若いほど利用率が高く、20代では86.1%、30代では84.0%と８割以上を占める。(図3-22)

●積立金額増額のきっかけ〔Q19〕

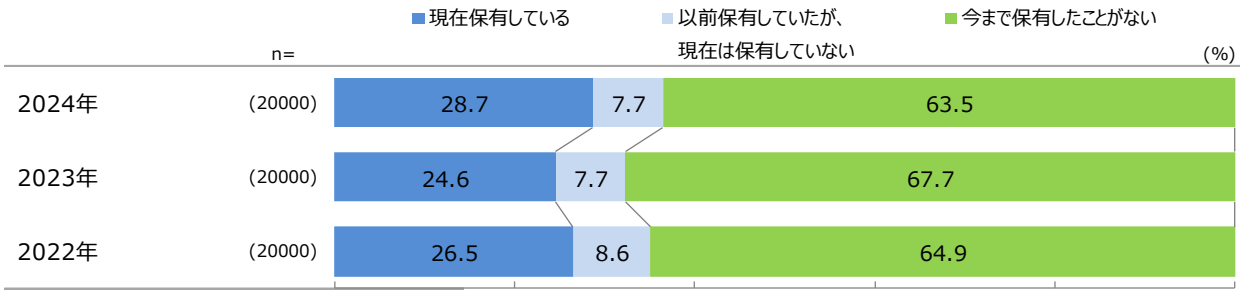
・全体では、「新NISAの非課税投資枠を可能な限り利用したいため」（21.2%）が最も高く、
「ライフステージの変化（就職、結婚、出産、定年退職など）があったため」 (17.1%)が続く。(図3-26)

・積立投資の利用率が高い20～30代は、増額のきっかけが「ライフステージの変化（就職、結婚、出産、定年退職など）」「年収が上がったため」が2割程度で、他の年代よりも高い。(図3-27)

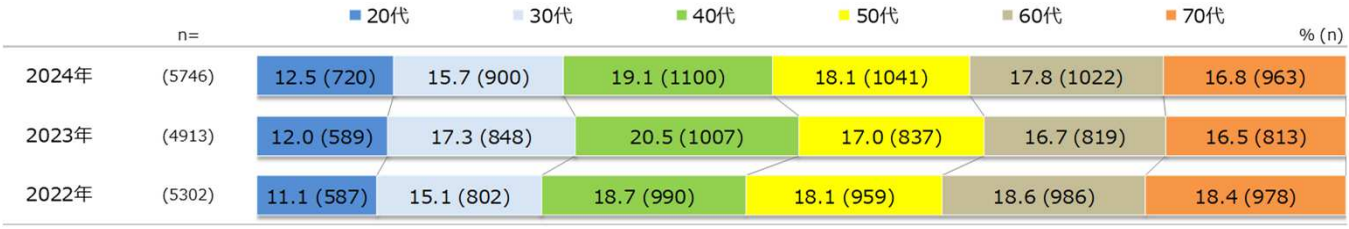
3. 投資信託の保有状況

（1）保有率〔Q2:単数回答〕

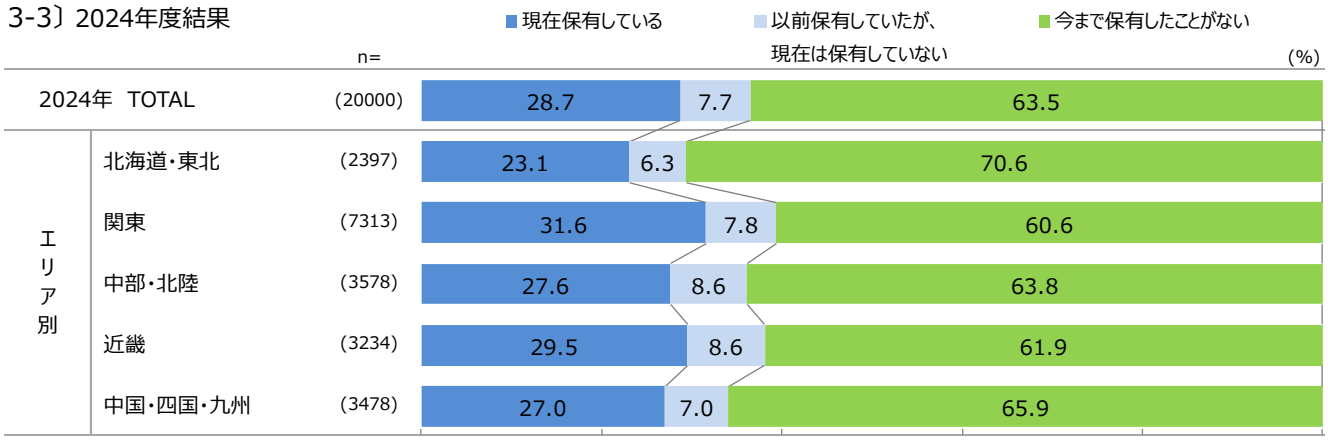
〔図 3-1〕



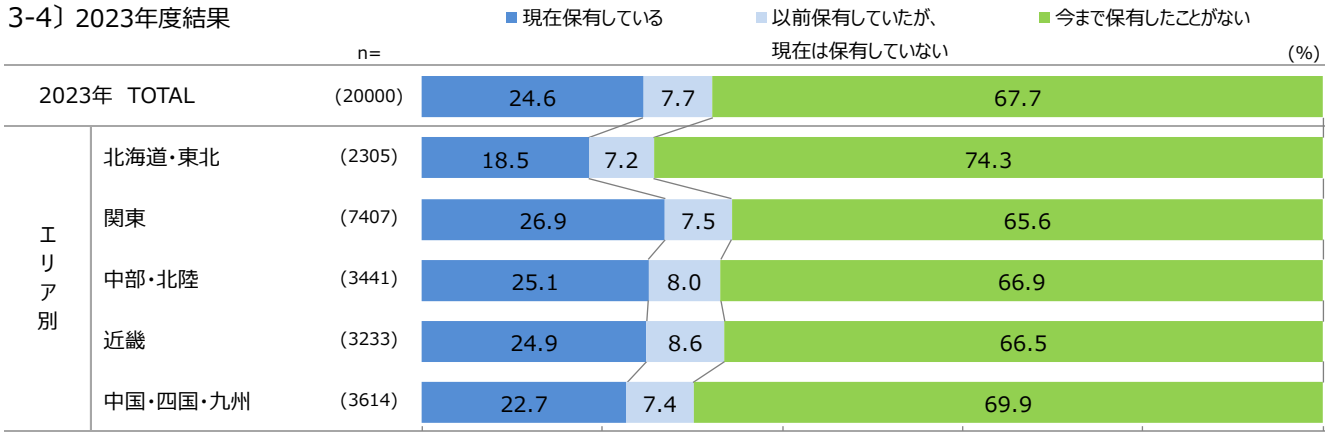
〔図 3-2〕投信現在保有層の年代構成比（投資信託現在保有者）



〔図 3-3〕2024年度結果



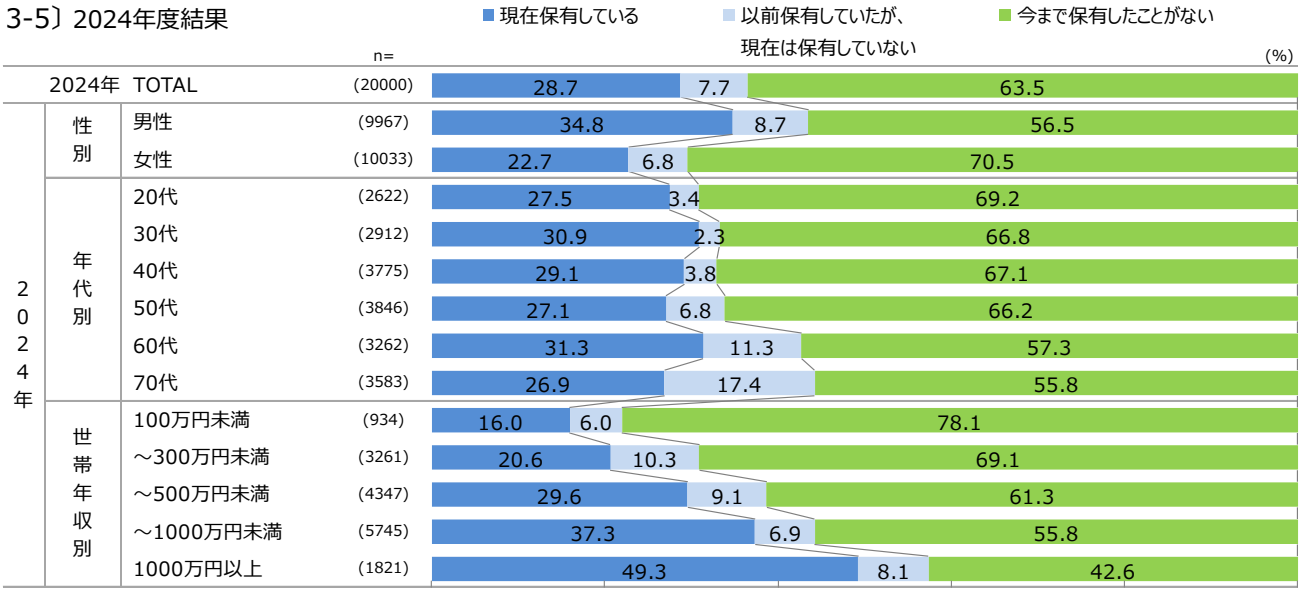
〔図 3-4〕2023年度結果



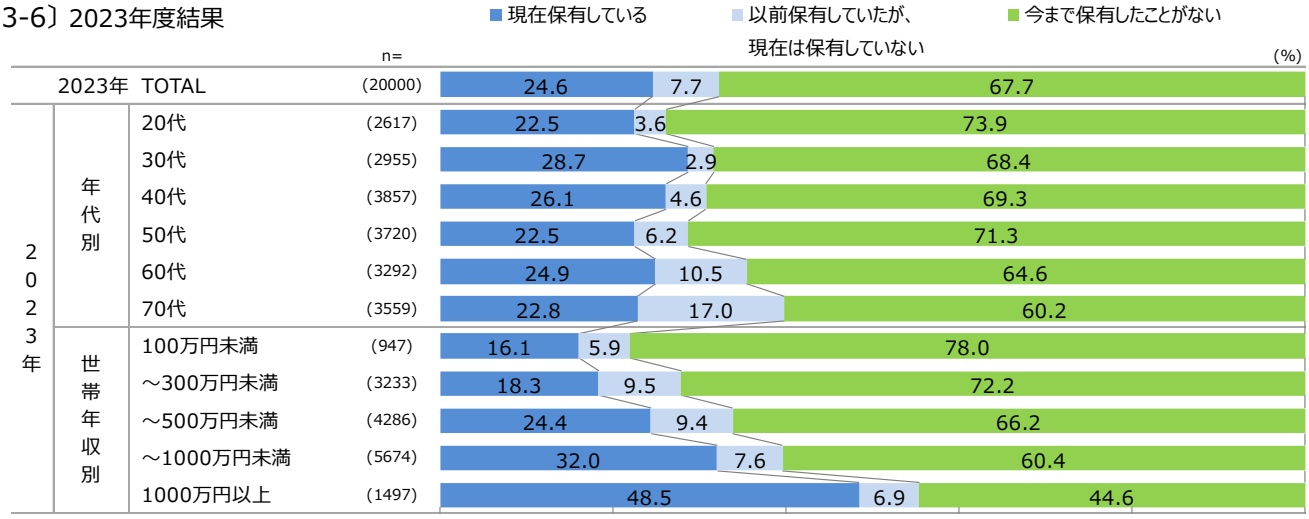
3. 投資信託の保有状況

（1）保有率〔Q2:単数回答〕

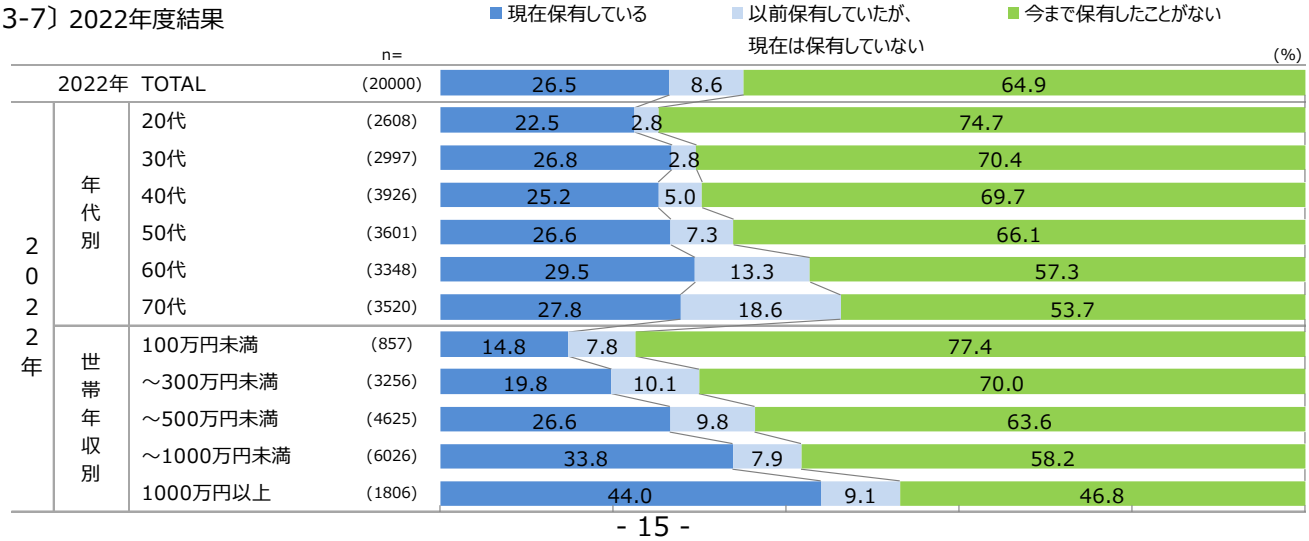
〔図 3-5〕2024年度結果



〔図 3-6〕2023年度結果



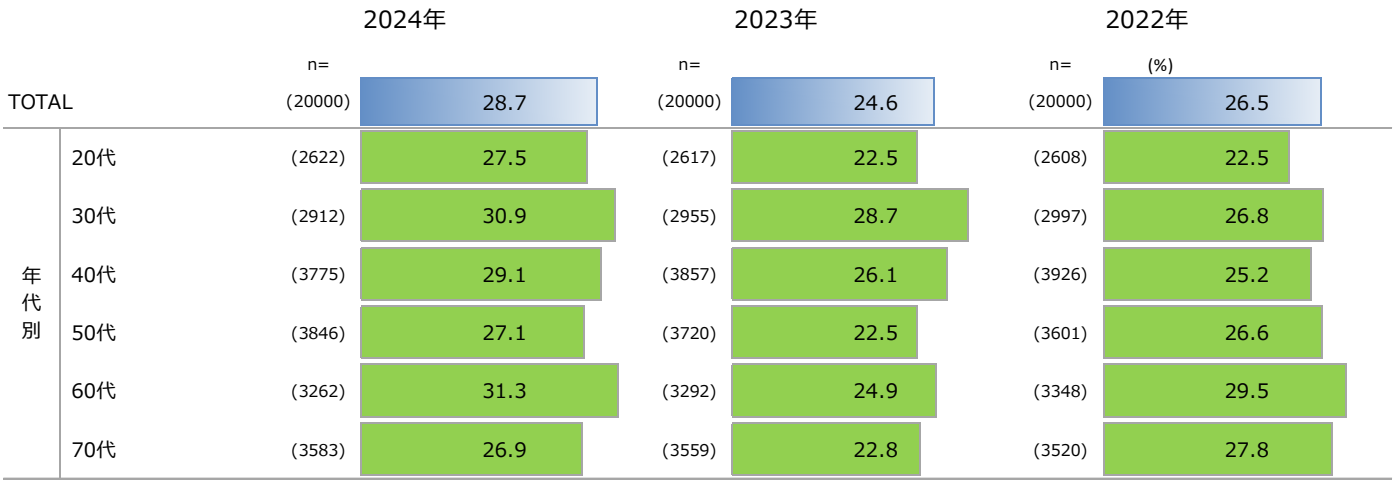
〔図 3-7〕2022年度結果



3. 投資信託の保有状況

（1）保有率〔Q2:単数回答〕

〔図 3-8〕現在保有の割合



3. 投資信託の保有状況

（2）保有口座（現在保有層）〔Q3:複数回答〕

※保有口座：投資信託を保有している各口座ごとの人数の割合
※選択肢「企業型DC（企業型確定拠出年金）」「iDeCo（個人型確定拠出年金）」は、年金受取期間に投資信託の運用を継続している者が含まれる

〔図 3-9〕

	n=	新NISA（つみたて投資枠）	新NISA（成長投資枠）	旧NISA（一般NISA）	旧NISA（つみたてNISA）	特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座	iDeCo（個人型確定拠出年金）	ポイント投資/運用の口座	企業型DC（企業型確定拠出年金）	その他	わからない・忘れた
											(%)
2024年	(5746)	51.0	43.3	24.2	22.9	50.2	14.8	14.5	9.3	0.5	2.1
2023年	(4913)	–	–	33.7	42.6	55.0	16.1	13.1	10.4	0.5	2.5
2022年	(5302)	–	–	38.1	32.0	63.5	15.5	14.4	9.4	0.8	2.3

※選択肢「旧NISA（一般NISA）」は、2023年「一般NISA」、2022年「NISA」で聴取
「旧NISA（つみたてNISA）」は、2023年まで「つみたてNISA」で聴取
※旧NISAの一般NISAとつみたてNISAは併用不可、新NISAは併用可

〔図 3-10〕

			新NISA（つみたて投資枠）	新NISA（成長投資枠）	旧NISA（一般NISA）	旧NISA（つみたてNISA）	特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座	iDeCo（個人型確定拠出年金）	ポイント投資/運用の口座	企業型DC（企業型確定拠出年金）	その他	わからない・忘れた
TOTAL		(5746)	51.0	43.3	24.2	22.9	50.2	14.8	14.5	9.3	0.5	2.1
性別	男性	(3464)	52.2	47.6	24.9	22.5	54.7	17.0	16.6	11.8	0.3	1.5
	女性	(2282)	49.2	36.7	23.0	23.4	43.4	11.6	11.4	5.4	0.6	3.1
年代別	20代	(720)	67.4	51.1	15.3	32.5	33.3	11.8	18.2	12.6	0.4	1.0
	30代	(900)	70.0	52.3	16.4	38.2	41.6	22.2	21.4	14.8	0.1	1.1
	40代	(1100)	61.7	47.1	21.6	28.3	44.9	22.0	21.0	13.0	0.5	1.4
	50代	(1041)	50.5	41.3	23.3	21.9	50.8	22.3	13.8	10.3	0.5	2.0
	60代	(1022)	37.9	39.7	31.9	14.2	59.3	8.6	10.3	4.6	0.6	3.3
	70代	(963)	23.4	30.4	33.7	5.5	66.7	0.6	3.3	1.2	0.6	3.6
世帯年収別	100万円未満	(149)	30.2	29.5	24.8	16.8	58.4	10.1	9.4	3.4	0.7	3.4
	～300万円未満	(673)	39.5	36.8	24.4	18.4	54.7	7.0	11.1	1.6	0.3	1.8
	～500万円未満	(1286)	48.1	39.1	23.1	21.8	49.1	11.7	12.2	5.8	0.6	3.0
	～1000万円未満	(2145)	56.4	47.5	24.6	25.4	48.0	17.3	15.9	10.9	0.4	1.4
	1000万円以上	(897)	56.7	48.4	26.8	23.6	53.4	23.4	20.6	19.3	0.6	1.8

3. 投資信託の保有状況

（2）保有口座（現在保有層）〔Q3:複数回答〕

〔図 3-11〕

		n=	新NISA（つみたて投資枠）	特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座	新NISA（成長投資枠）	旧NISA（一般NISA）	旧NISA（つみたてNISA）	iDeCo（個人型確定拠出年金）	ポイント投資/運用の口座	企業型DC（企業型確定拠出年金）	その他	わからない・忘れた
												(%)
TOTAL		(5746)	51.0	50.2	43.3	24.2	22.9	14.8	14.5	9.3	0.5	2.1
エリア別	北海道・東北	(553)	52.1	46.5	42.3	22.2	25.1	13.7	15.7	4.7	0.5	2.2
	関東	(2311)	51.8	51.6	45.4	24.2	23.8	16.5	15.1	12.9	0.6	1.9
	中部・北陸	(988)	49.5	50.8	40.8	24.8	21.3	13.5	12.2	7.3	0.3	2.7
	近畿	(954)	50.8	50.9	40.9	23.4	21.5	14.2	14.4	8.4	0.3	2.1
	中国・四国・九州	(940)	50.3	47.6	43.5	25.5	22.3	13.5	15.0	6.0	0.4	1.9

3. 投資信託の保有状況

（2）保有口座（現在保有層）〔Q3:複数回答〕

※選択肢「企業型DC（企業型確定拠出年金）」「iDeCo（個人型確定拠出年金）」は、年金受取期間に投資信託の運用を継続している者が含まれる

〔図 3-12〕2023年度結果

		n=	一般NISA	つみたてNISA	特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座	iDeCo（個人型確定拠出年金）	ポイント投資/運用の口座	企業型DC（企業型確定拠出年金）	その他	わからない・忘れた
										(%)
2023年 TOTAL		(4913)	33.7	42.6	55.0	16.1	13.1	10.4	0.5	2.5
性別	男性	(3046)	34.6	42.2	58.5	18.5	14.9	13.4	0.4	1.8
	女性	(1867)	32.1	43.3	49.2	12.2	10.2	5.6	0.6	3.7
年代別	20代	(589)	21.4	69.1	37.7	12.1	15.3	15.1	0.2	1.4
	30代	(848)	28.4	63.1	48.8	24.5	19.7	16.7	0.5	1.4
	40代	(1007)	28.2	55.6	51.4	27.2	19.0	15.9	0.4	1.0
	50代	(837)	30.9	36.2	57.6	20.3	14.1	9.6	0.5	2.5
	60代	(819)	46.2	23.1	62.5	7.6	6.3	4.5	0.5	3.9
	70代	(813)	45.1	12.3	68.1	0.5	3.2	0.6	0.7	5.2
世帯年収別	100万円未満	(152)	37.5	35.5	51.3	9.9	11.8	3.3	0.7	3.9
	～300万円未満	(593)	41.3	31.5	57.8	8.3	6.7	2.7	1.0	3.0
	～500万円未満	(1045)	32.4	43.4	55.0	12.2	11.7	6.3	0.3	1.7
	～1000万円未満	(1817)	31.8	48.1	53.6	19.2	15.2	12.9	0.6	1.5
	1000万円以上	(726)	36.6	41.3	61.7	25.8	18.7	21.9	0.1	1.7

〔図 3-13〕2022年度結果

			NISA	つみたてNISA	特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座	iDeCo（個人型確定拠出年金）	ポイント投資/運用の口座	企業型DC（企業型確定拠出年金）	その他	わからない・忘れた
										(%)
2022年 TOTAL		(5302)	38.1	32.0	63.5	15.5	14.4	9.4	0.8	2.3
性別	男性	(3157)	37.6	31.4	67.2	17.2	15.6	12.7	0.9	1.7
	女性	(2145)	38.8	33.0	58.1	13.0	12.6	4.5	0.7	3.1
年代別	20代	(587)	25.9	65.6	50.1	19.4	18.7	16.4	0.7	1.2
	30代	(802)	28.6	55.5	52.9	22.9	23.6	15.2	0.5	1.1
	40代	(990)	31.7	39.5	57.7	24.1	20.7	11.9	1.1	2.0
	50代	(959)	37.0	27.1	64.4	22.6	14.8	11.5	0.4	1.7
	60代	(986)	48.3	13.7	73.8	6.4	7.4	4.1	0.8	3.2
	70代	(978)	50.4	8.4	75.1	0.6	4.6	1.1	1.1	3.7
世帯年収別	100万円未満	(127)	32.3	27.6	62.2	7.9	11.0	4.7	1.6	5.5
	～300万円未満	(646)	38.7	24.5	63.3	6.7	10.8	1.5	0.9	2.2
	～500万円未満	(1230)	38.9	32.5	62.6	12.8	12.3	6.7	1.1	2.5
	～1000万円未満	(2038)	36.6	36.2	60.9	18.7	16.7	11.4	0.5	1.3
	1000万円以上	(795)	40.9	29.3	72.2	23.4	18.2	18.7	0.9	2.1

3. 投資信託の保有状況

（3）保有種類（現在保有層）〔Q5:複数回答〕

〔図 3-14〕

	n=	外国株式投資信託	国内株式投資信託	分散型投資信託(バランス型)	ETF	外国債券投資信託	国内債券投資信託	国内不動産投信〔JリートJに投資する投資信託	国内不動産投信〔Jリート〕	外国の不動産投信に投資する投資信託	その他	不明・回答拒否
												(%)
2024年	(5746)	52.2	45.3	19.6	14.3	12.3	11.8	7.5	6.3	6.3	0.3	12.0
2023年	(4913)	47.7	42.1	19.0	14.9	13.0	13.1	7.8	5.3	6.0	0.5	13.3
2022年	(5302)	46.7	45.3	25.4	13.7	14.3	12.7	10.6	6.9	8.3	0.6	10.8

〔図 3-15〕

		n=	外国株式投資信託	国内株式投資信託	分散型投資信託(バランス型)	ETF	外国債券投資信託	国内債券投資信託	国内不動産投信〔JリートJに投資する投資信託	国内不動産投信〔Jリート〕	外国の不動産投信に投資する投資信託	その他	不明・回答拒否
TOTAL		(5746)	52.2	45.3	19.6	14.3	12.3	11.8	7.5	6.3	6.3	0.3	12.0
性別	男性	(3464)	57.3	49.6	18.2	17.3	13.7	13.2	8.9	7.1	7.2	0.4	8.5
	女性	(2282)	44.5	38.8	21.7	9.7	10.3	9.8	5.5	5.1	4.9	0.3	17.4
年代別	20代	(720)	57.4	43.9	10.7	15.7	9.2	12.8	5.8	5.0	4.7	0.6	10.4
	30代	(900)	62.9	45.9	16.9	18.6	9.9	10.9	6.4	5.6	5.1	0.2	9.2
	40代	(1100)	60.2	45.5	18.9	17.5	12.1	11.5	7.4	6.4	6.0	0.2	10.5
	50代	(1041)	52.8	47.0	21.5	12.6	13.4	13.8	7.9	5.0	6.6	0.4	13.3
	60代	(1022)	45.4	45.1	22.4	12.8	13.9	10.5	8.0	8.6	7.2	0.2	14.2
	70代	(963)	35.9	43.9	24.4	9.1	14.2	11.6	9.1	7.0	7.5	0.6	14.0
世帯年収別	100万円未満	(149)	40.9	39.6	17.4	12.8	12.1	7.4	4.7	6.7	8.1	0.7	12.8
	～300万円未満	(673)	43.2	42.8	20.5	11.1	12.3	10.0	6.1	5.2	7.4	0.6	11.1
	～500万円未満	(1286)	48.8	43.2	19.7	11.0	10.8	10.9	6.5	5.5	6.4	0.5	11.8
	～1000万円未満	(2145)	56.6	47.6	18.8	15.3	12.6	12.2	7.7	6.1	5.8	0.2	9.9
	1000万円以上	(897)	61.3	54.6	23.4	21.1	15.7	16.8	12.5	10.4	7.6	0.3	7.5

〔図 3-16〕【投資信託の保有種類別回答者数と、平均保有種類数】

	外国株式投資信託	国内株式投資信託	分散型投資信託(バランス型)	ETF	外国の不動産投信に投資する投資信託	国内債券投資信託	外国債券投資信託	国内不動産投信〔Jリート〕	国内不動産投信〔JリートJに投資する投資信託	その他	**平均保有種類数** ※2
2024年 TOTAL(n=5055) ※1	3001	2603	1125	822	707	679	433	363	361	20	**2.00**
2023年 TOTAL(n=4262) ※1	2344	2070	935	731	295	646	641	258	385	24	**1.95**
2022年 TOTAL(n=4730) ※1	2477	2403	1347	727	442	675	757	368	560	33	**2.07**

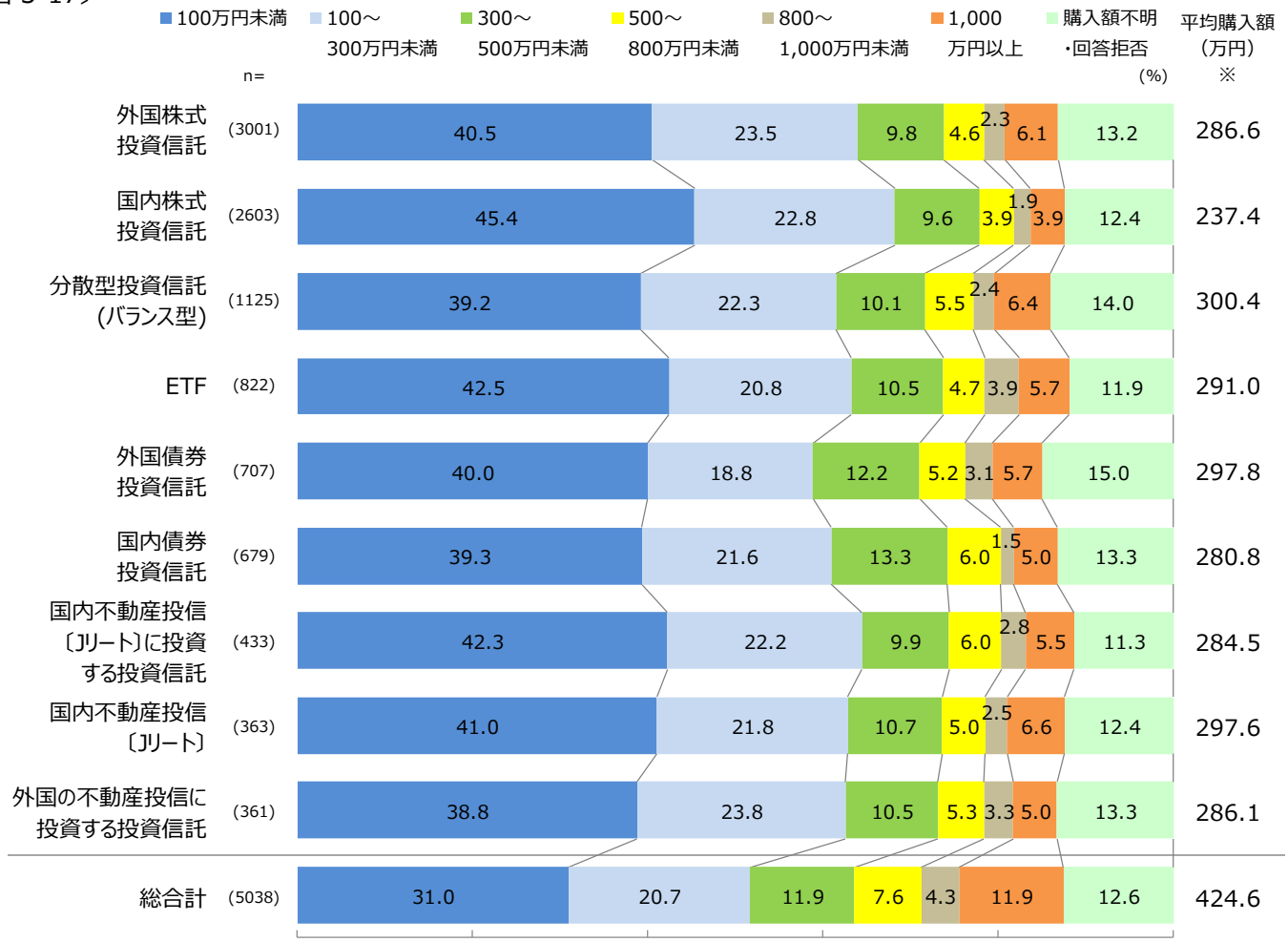
（2024年/2023年/2022年）

※1 投信保有者(n=5746/4913/5302)から「種類不明・回答拒否」(n=691/651/572)を控除。
※2 平均保有数は、保有種類別回答者数の延べの総数を、（n=5055/4262/4730）で割って算出。

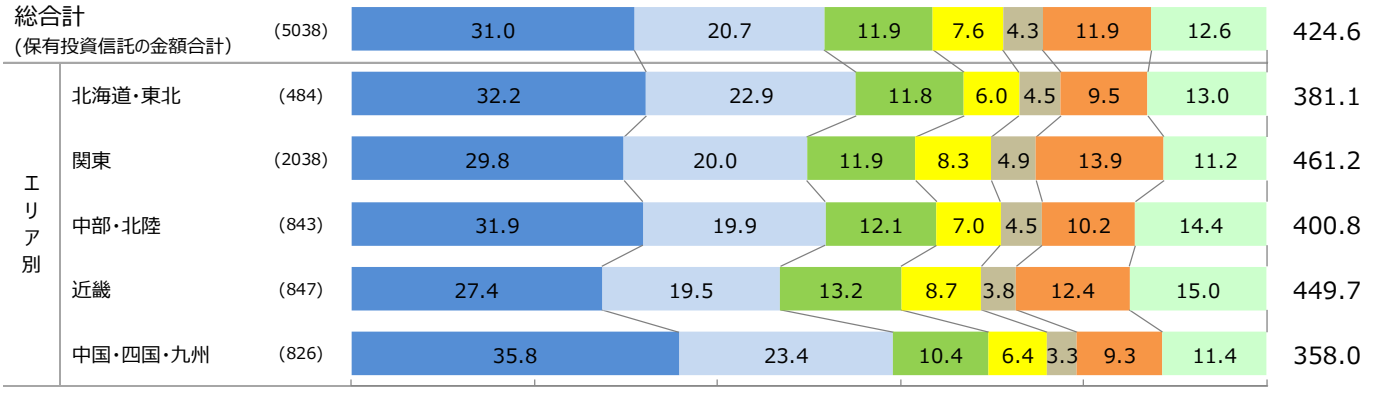
3. 投資信託の保有状況

（4）保有金額（現在保有層）
〔Q6:単数回答-各種類現在保有層ベース〕

〔図 3-17〕



〔図 3-18〕保有合計金額



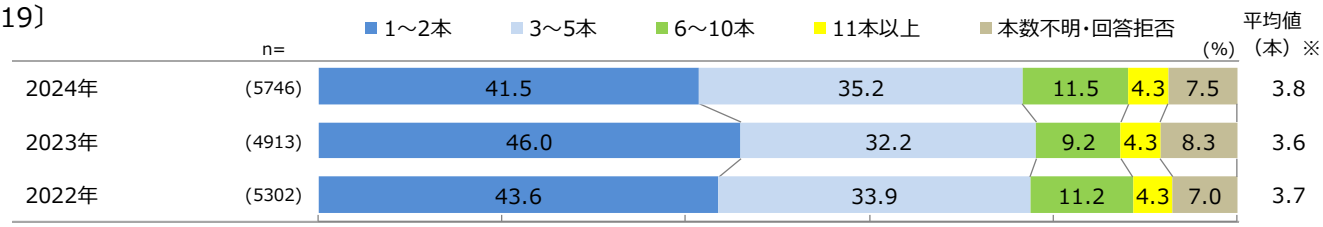
※ 平均値は「購入額不明・回答拒否」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 ／ 100～300万円未満：200万円 ／ 300～500万円未満：400万円 ／ 500～800万円未満：650万円
800～1000万円未満：900万円 ／ 1000万円以上：1500万円

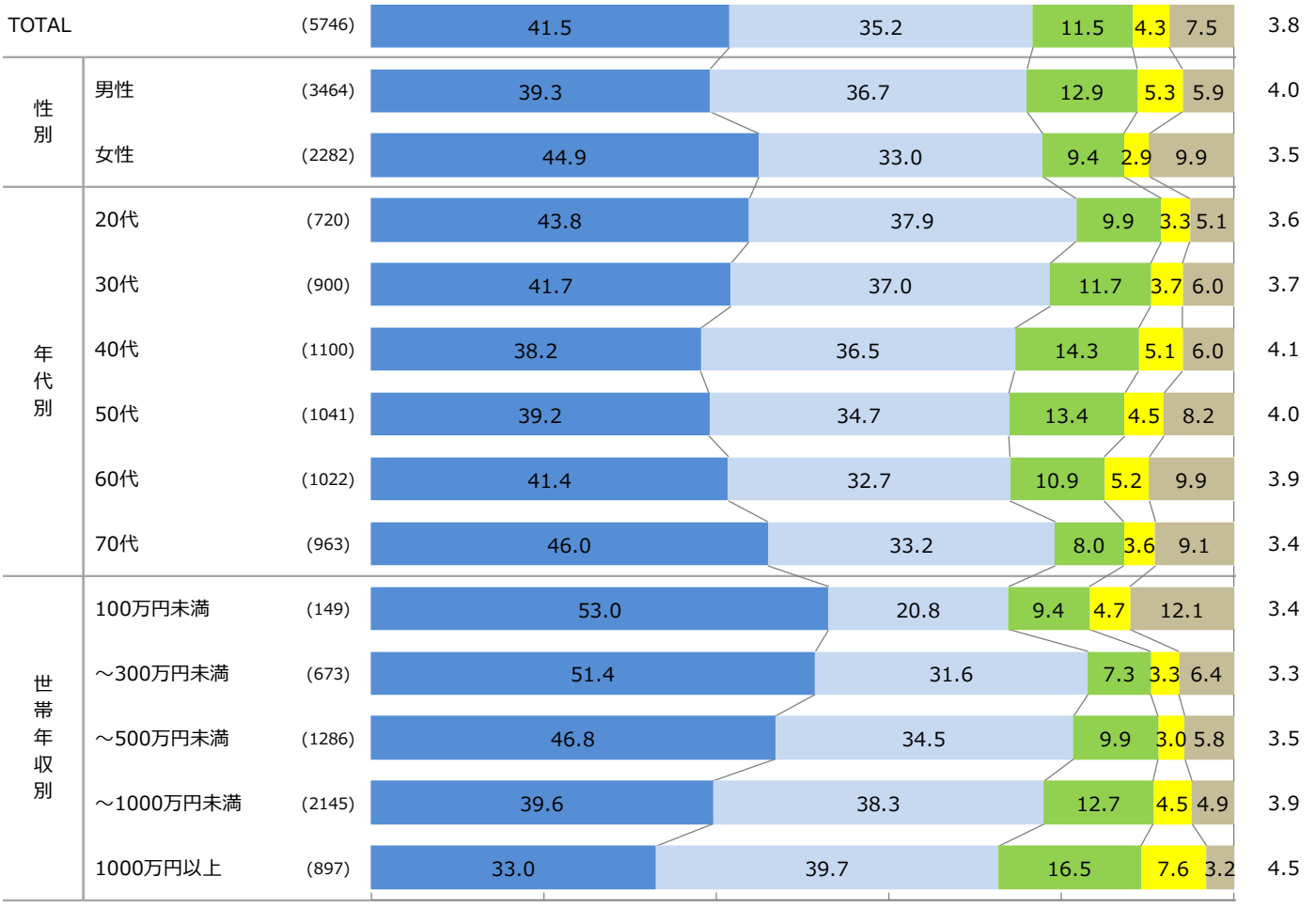
3. 投資信託の保有状況

（5）保有本数（現在保有層）〔Q4:単数回答〕

〔図 3-19〕



〔図 3-20〕



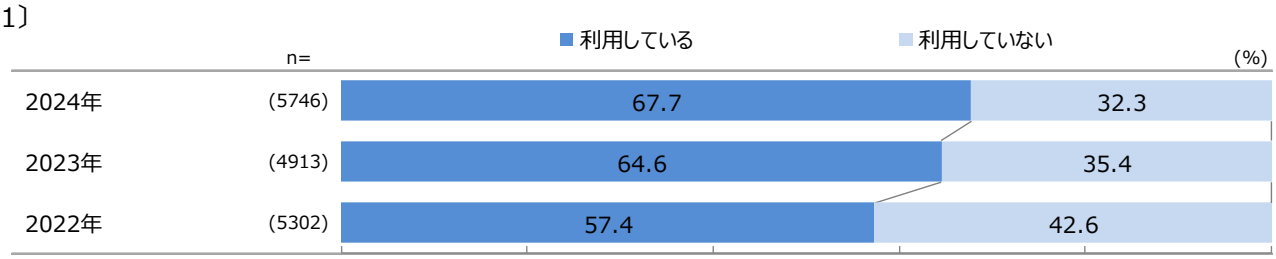
※ 平均値は「本数不明・回答拒否」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り
1～2本：1.5本／ 3～5本：4本 ／ 6～10本：8本 ／ 11本以上：13本

3. 投資信託の保有状況

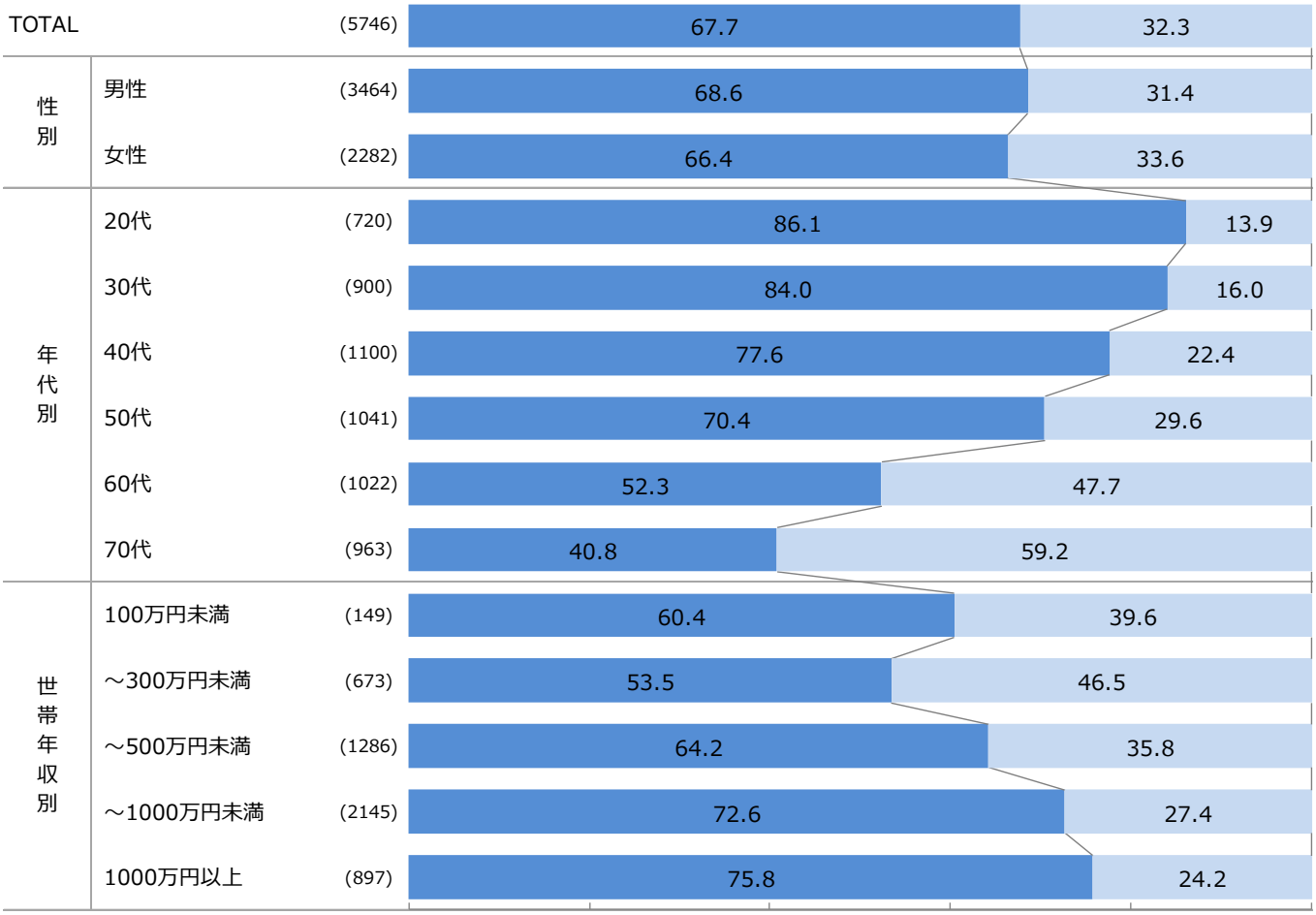
（6）積立投資の利用状況（現在保有層）〔Q18:単数回答〕

※投資信託の積立投資は、「新NISA（つみたて投資枠）」や「確定拠出年金」を含む

〔図 3-21〕



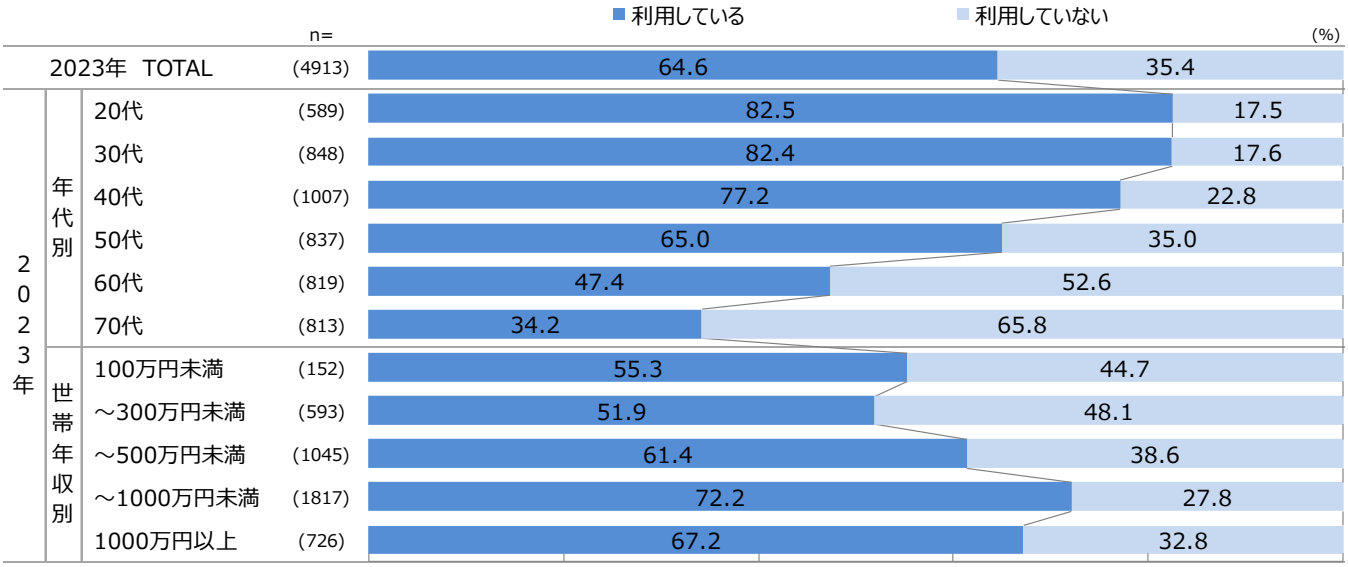
〔図 3-22〕



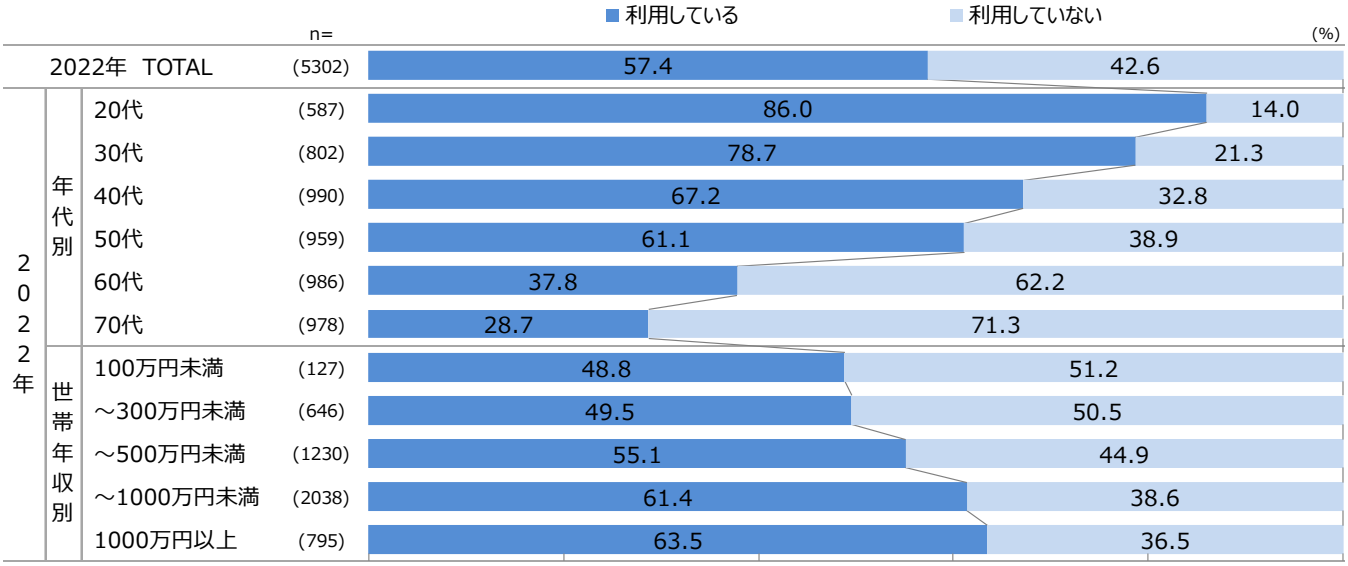
3. 投資信託の保有状況

（6）積立投資の利用状況（現在保有層）〔Q18:単数回答〕

〔図 3-23〕2023年度結果



〔図 3-24〕2022年度結果



〔図 3-25〕積立投資利用者の年代構成比（投資信託現在保有者で積立投資利用者）

3. 投資信託の保有状況

（7）積立金額増額のきっかけ（現在保有層）〔Q19:複数回答〕

〔図 3-26〕

	n=	新NISAの非課税投資枠を可能な限り利用したいため	ライフステージの変化(就職、結婚、出産、定年退職など)	年収が上がったため	保有商品のパフォーマンスが良好なため	景気や市場（相場）の状況を見て	積立投資の効果を実感したため	インターネット（SNS・YouTube含）で見たり調べたりして	保有商品を変更したため	証券会社、銀行などの金融機関の人に勧められて	投資に関する知識が増えたから	保有商品の基準価額が下落したため	インフレに対する懸念	友人・知人の影響	増額していない
															(%)
2024年	(3891)	21.2	17.1	14.2	12.4	11.0	10.7	8.5	7.5	6.3	6.1	6.1	5.6	4.3	33.7

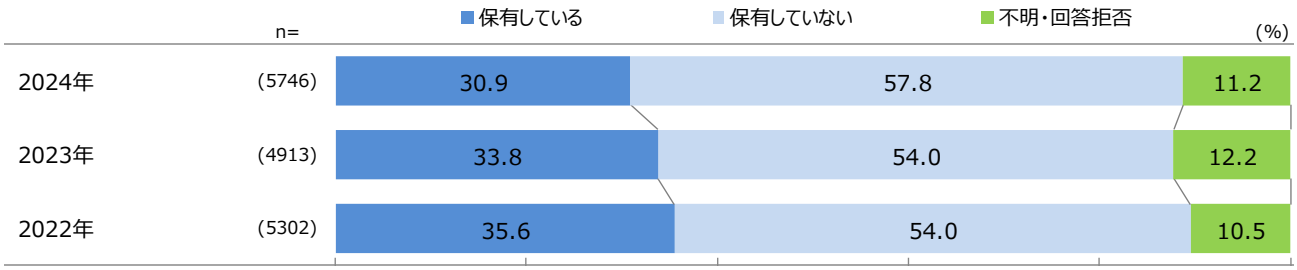
〔図 3-27〕

TOTAL		(3891)	21.2	17.1	14.2	12.4	11.0	10.7	8.5	7.5	6.3	6.1	6.1	5.6	4.3	33.7
性別	男性	(2376)	20.3	18.5	17.8	14.5	11.7	10.8	9.1	8.2	5.2	6.3	6.9	5.6	3.9	31.8
	女性	(1515)	22.5	14.8	8.7	9.2	9.8	10.7	7.5	6.4	8.1	5.9	4.8	5.6	5.0	36.8
年代別	20代	(620)	16.8	24.4	22.6	19.4	13.2	11.3	11.3	12.4	6.9	9.0	10.5	6.1	8.1	24.8
	30代	(756)	19.7	19.7	22.2	14.3	10.7	10.6	11.8	6.6	4.2	7.9	7.9	7.1	5.4	28.4
	40代	(854)	22.2	17.6	15.7	14.5	12.1	11.8	8.7	8.2	5.0	7.6	5.6	5.6	4.8	28.8
	50代	(733)	24.0	11.7	9.7	7.9	9.5	11.1	8.5	5.2	3.3	3.4	4.2	4.8	3.1	39.8
	60代	(535)	21.7	18.5	5.4	8.2	9.7	8.8	4.5	3.7	8.8	4.1	3.6	5.4	1.9	42.1
	70代	(393)	22.4	7.4	3.1	7.6	9.9	9.9	2.8	9.7	14.8	2.8	3.3	3.6	0.8	46.1
世帯年収別	100万円未満	(90)	12.2	14.4	7.8	11.1	4.4	3.3	7.8	6.7	4.4	3.3	6.7	5.6	2.2	45.6
	～300万円未満	(360)	21.4	12.5	5.6	9.4	9.2	9.7	5.6	8.6	9.7	3.6	6.4	4.4	3.6	41.7
	～500万円未満	(826)	21.9	16.2	13.3	11.9	9.2	9.4	6.7	7.0	6.4	5.6	5.3	6.7	4.0	34.1
	～1000万円未満	(1558)	21.3	18.5	16.8	13.4	12.5	11.3	11.6	7.6	5.7	7.0	6.4	5.8	4.8	30.0
	1000万円以上	(680)	23.8	21.3	20.3	17.8	14.7	13.5	5.9	10.4	6.3	8.1	7.5	4.9	5.3	25.4

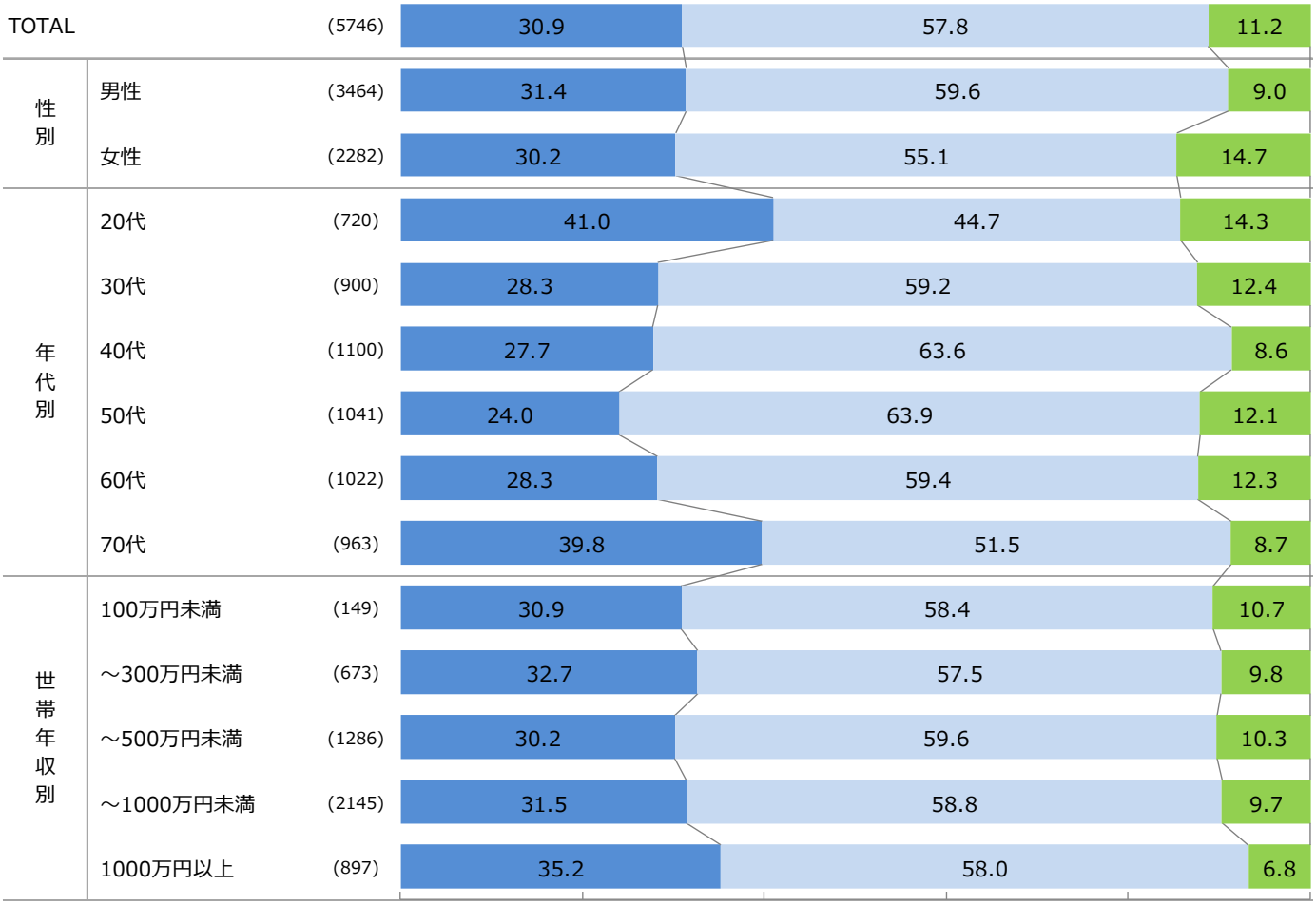
3. 投資信託の保有状況

（8）毎月分配型の保有状況（現在保有層）〔Q21:単数回答〕

〔図 3-28〕



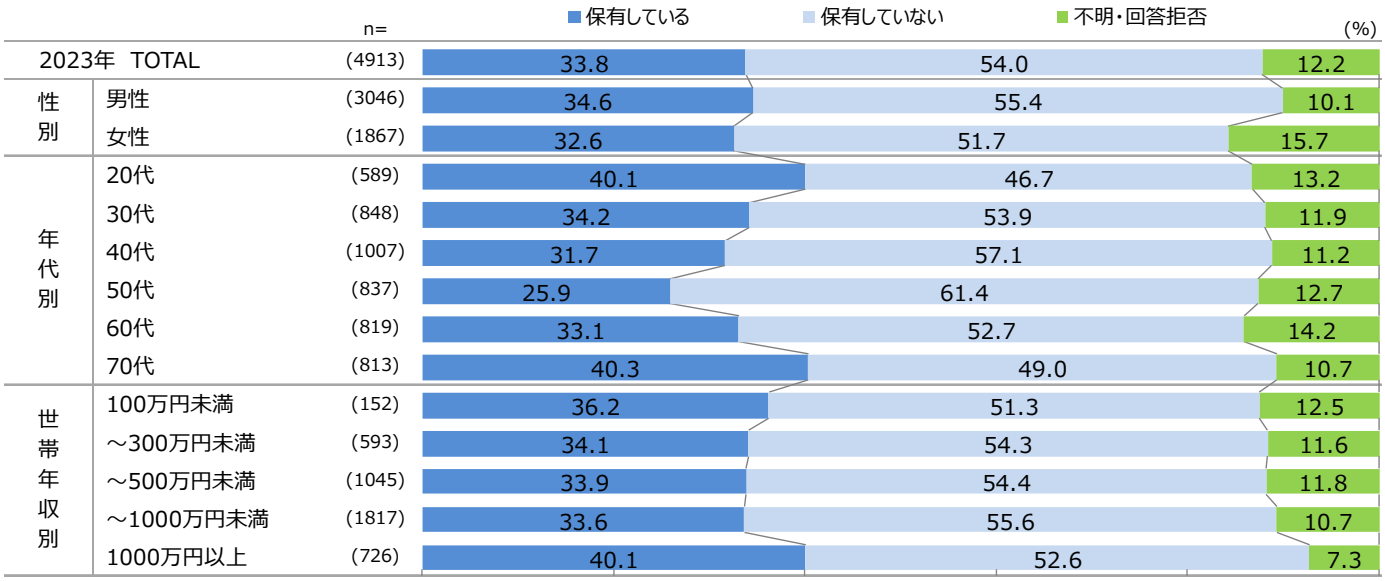
〔図 3-29〕



3. 投資信託の保有状況

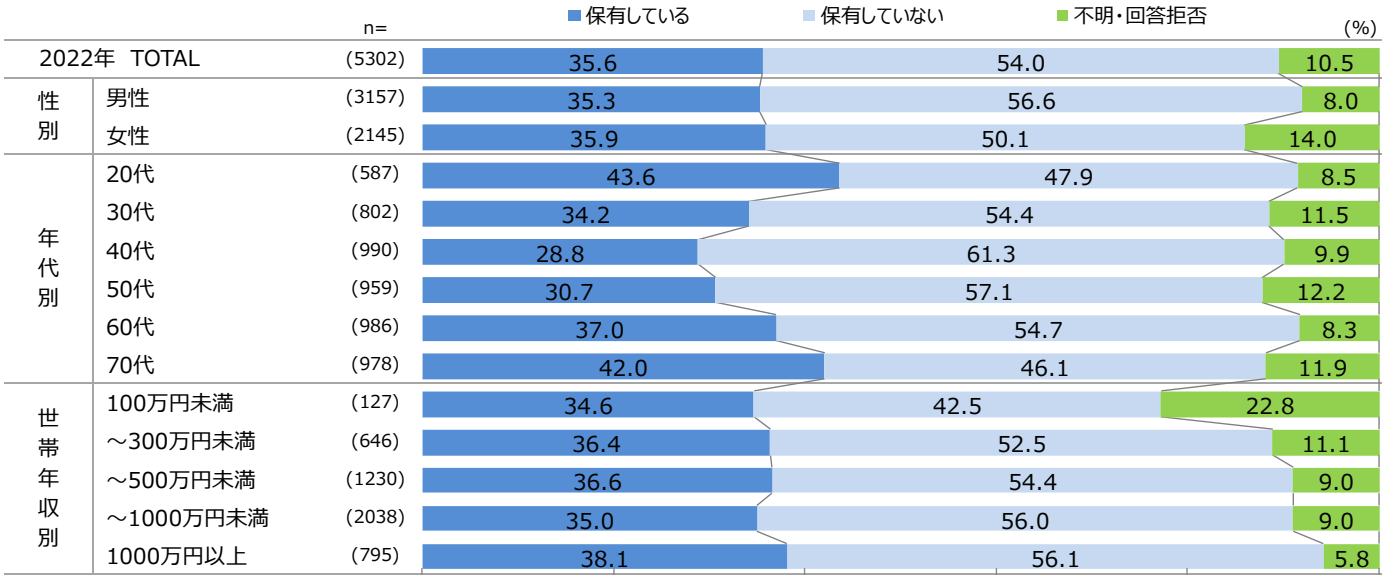
（8）毎月分配型の保有状況（現在保有層）〔Q21:単数回答〕

〔図 3-30〕2023年度結果



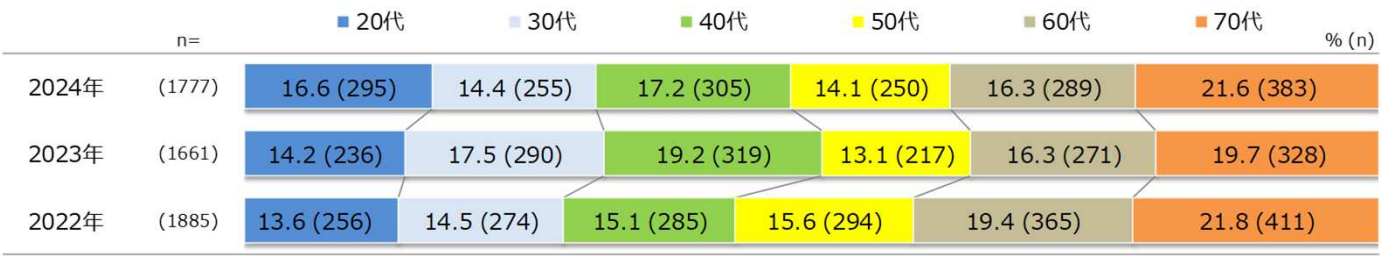
		n=	保有している	保有していない	不明・回答拒否
2023年 TOTAL		(4913)	33.8	54.0	12.2
性別	男性	(3046)	34.6	55.4	10.1
	女性	(1867)	32.6	51.7	15.7
年代別	20代	(589)	40.1	46.7	13.2
	30代	(848)	34.2	53.9	11.9
	40代	(1007)	31.7	57.1	11.2
	50代	(837)	25.9	61.4	12.7
	60代	(819)	33.1	52.7	14.2
	70代	(813)	40.3	49.0	10.7
世帯年収別	100万円未満	(152)	36.2	51.3	12.5
	～300万円未満	(593)	34.1	54.3	11.6
	～500万円未満	(1045)	33.9	54.4	11.8
	～1000万円未満	(1817)	33.6	55.6	10.7
	1000万円以上	(726)	40.1	52.6	7.3

〔図 3-31〕2022年度結果



		n=	保有している	保有していない	不明・回答拒否
2022年 TOTAL		(5302)	35.6	54.0	10.5
性別	男性	(3157)	35.3	56.6	8.0
	女性	(2145)	35.9	50.1	14.0
年代別	20代	(587)	43.6	47.9	8.5
	30代	(802)	34.2	54.4	11.5
	40代	(990)	28.8	61.3	9.9
	50代	(959)	30.7	57.1	12.2
	60代	(986)	37.0	54.7	8.3
	70代	(978)	42.0	46.1	11.9
世帯年収別	100万円未満	(127)	34.6	42.5	22.8
	～300万円未満	(646)	36.4	52.5	11.1
	～500万円未満	(1230)	36.6	54.4	9.0
	～1000万円未満	(2038)	35.0	56.0	9.0
	1000万円以上	(795)	38.1	56.1	5.8

〔図 3-32〕分配型投資信託保有者の年代構成比（投資信託現在保有者で毎月分配型投資利用者）

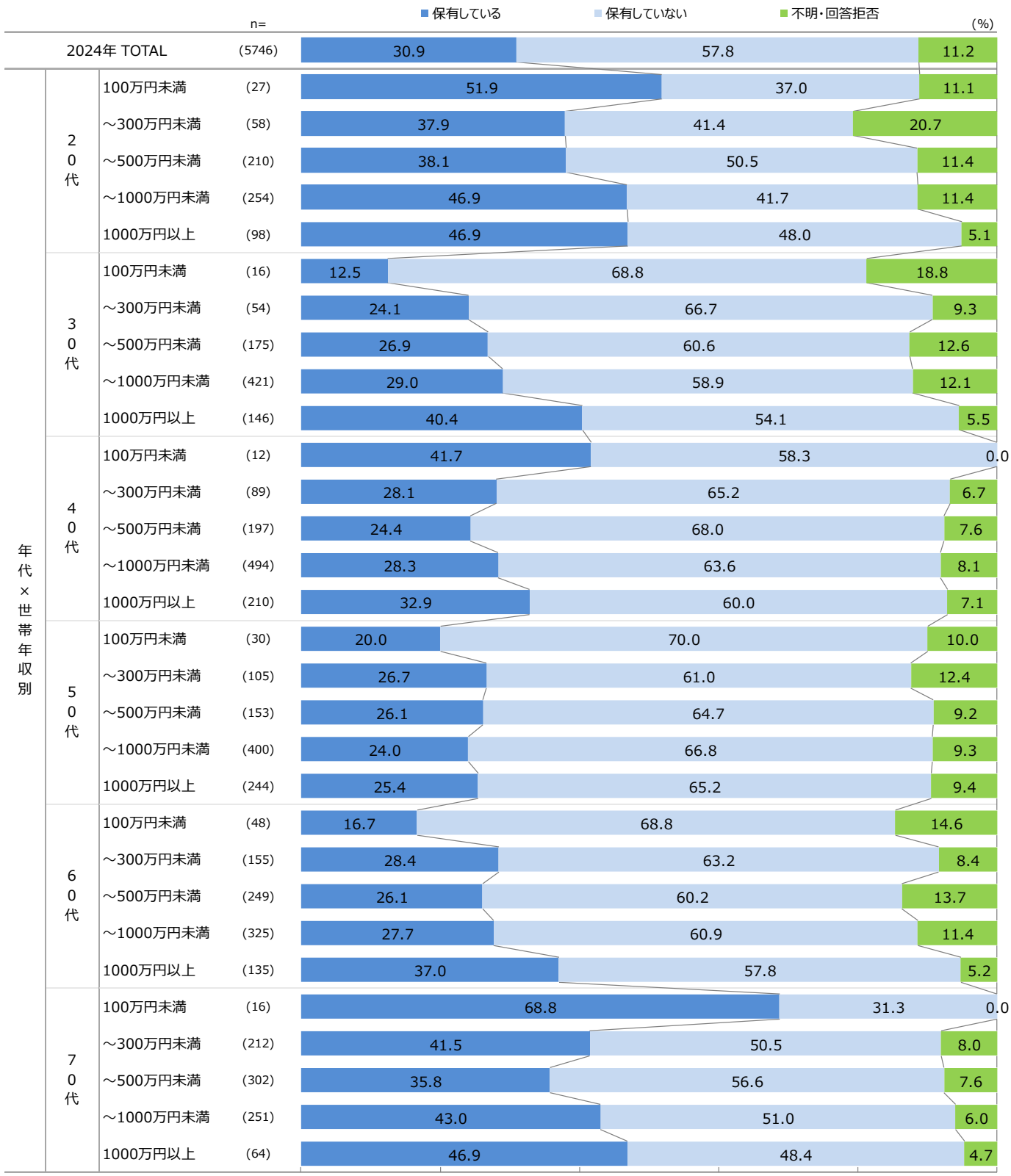


	n=	20代	30代	40代	50代	60代	70代
2024年	(1777)	16.6 (295)	14.4 (255)	17.2 (305)	14.1 (250)	16.3 (289)	21.6 (383)
2023年	(1661)	14.2 (236)	17.5 (290)	19.2 (319)	13.1 (217)	16.3 (271)	19.7 (328)
2022年	(1885)	13.6 (256)	14.5 (274)	15.1 (285)	15.6 (294)	19.4 (365)	21.8 (411)

3. 投資信託の保有状況

（8）毎月分配型の保有状況（現在保有層）〔Q21:単数回答〕

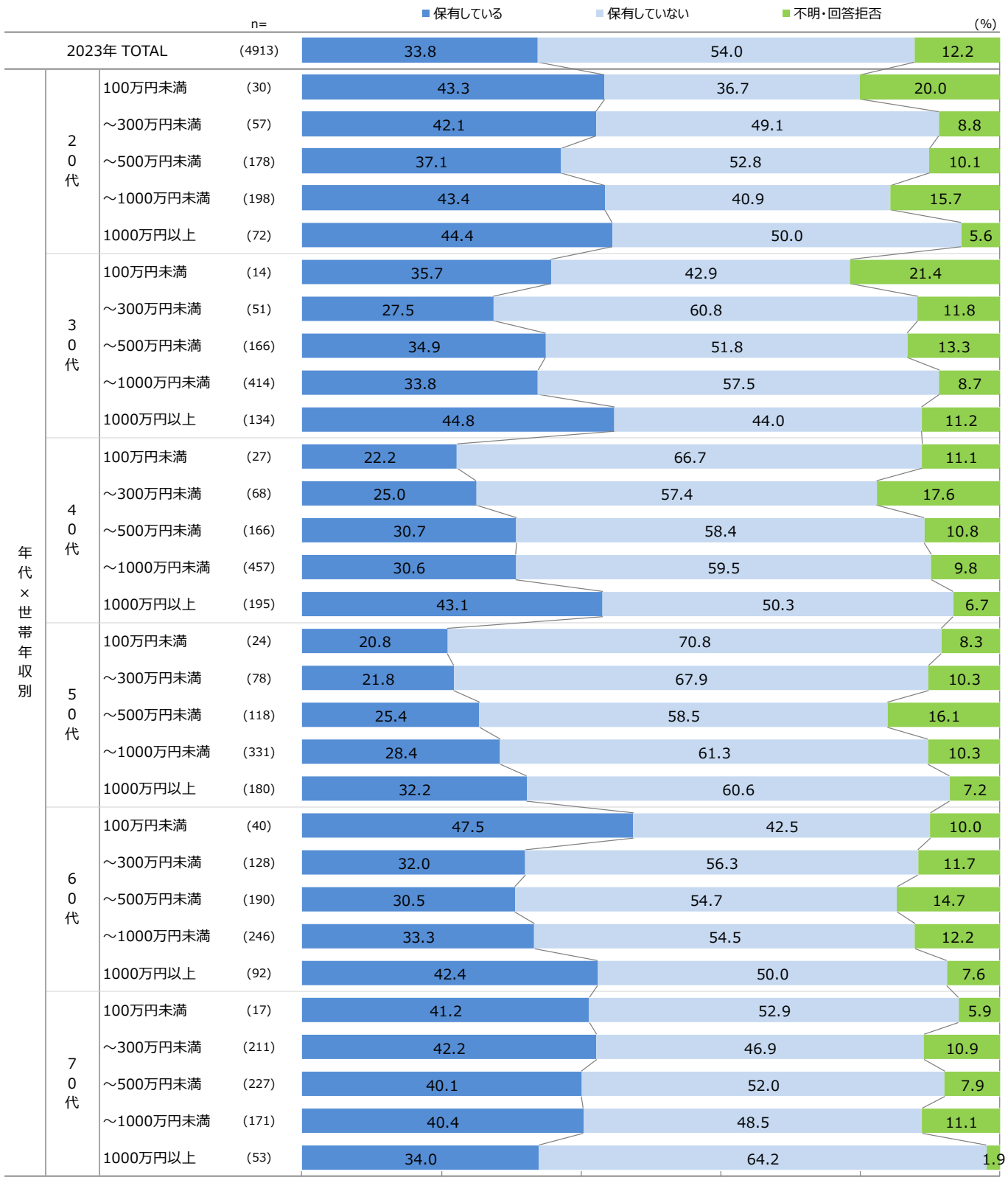
〔図 3-33〕2024年度結果



3. 投資信託の保有状況

（8）毎月分配型の保有状況（現在保有層）〔Q21:単数回答〕

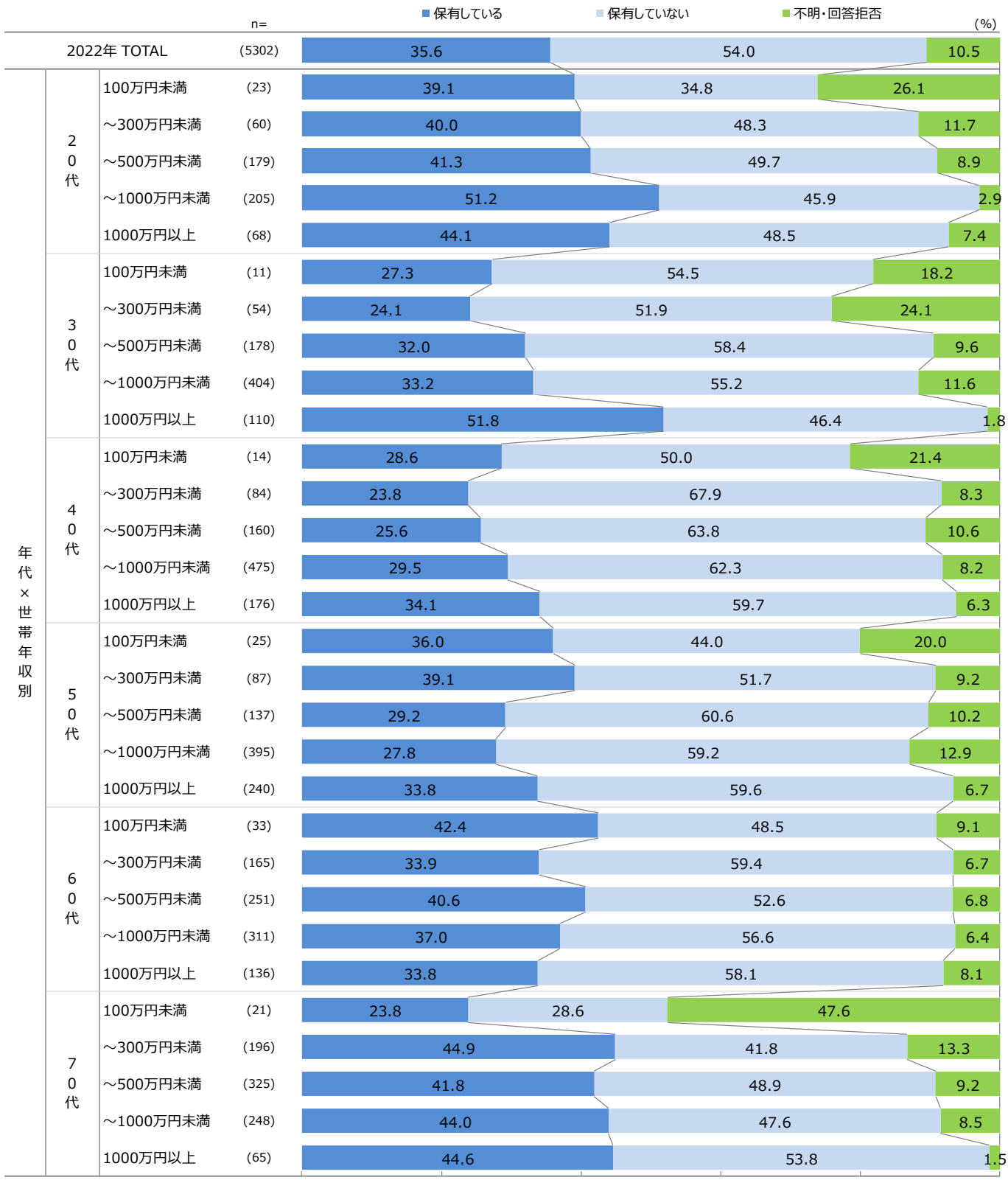
〔図 3-34〕2023年度結果



3. 投資信託の保有状況

（8）毎月分配型の保有状況（現在保有層）〔Q21:単数回答〕

〔図 3-35〕2022年度結果



4. 投資信託購入者に聞いた投資信託

【サマリー】

①興味・関心・購入のきっかけ(Q7)

・全体では、「証券会社、銀行などの金融機関の人に勧められて」（31.5%）が最も高く、「インターネットで投資信託について見たり調べたりして」（27.5%）が続く。「少額投資非課税制度（NISA）があるから」は３番目に高く、17.1%。(図4-1)

・「証券会社、銀行などの金融機関の人に勧められて」は年々減少。一方、「インターネットで投資信託について見たり調べたりして」は過去３年間で微増傾向。(図4-1)

・「証券会社、銀行などの金融機関の人に勧められて」は、年代が上がるほど増加傾向にあり、50～60代は全体より10ポイント以上高い(43.4～56.2%)。「インターネットで投資信託について見たり調べたりして」は、30～40代が全体より10ポイント以上高く(38%台)、年代により大きな差が見られる。(図4-2)

・20代は「X（旧Twitter）からの情報を通じて」（15.0%）、20～40代は「少額投資非課税制度（NISA）があるから」が２割以上と、それぞれ他の年代に比べて高い。(図4-2)

②購入目的(Q8)

・全体では、「老後の生活資金」（55.5%）が最も高く、ついで「資産のリスク分散」（28.2%）、「金融・経済・投資の勉強のため」「不測の事態（病気、失業、自然災害など）への備え」「インフレ（物価上昇）に備えるため」が1割台で続く。(図4-4)

・20代でも4割が、「老後の生活資金」が購入目的になっている。(図4-5)

・20～30代は、「結婚資金、住宅資金等、ライフイベントの支払いに備えるため」が全体より8.7～13.3ポイント高く、「金融・経済・投資の勉強のため」が全体より8.3ポイント高い。30～40代は「子供又は孫のための教育などの資金」が他の年代より高い。(図4-5)

③購入時に重視した点(Q9)

・全体では、「値上がりへの期待」（35.4%）が最も高く、ついで「過去の運用実績」（31.2%）、「手数料や運用管理費用（信託報酬）の水準」「少額から投資できる」「値下がりの不安が少ない」が2割台で続く。(図4-13)

・30代は「手数料や運用管理費用（信託報酬）の水準」が、70代は「換金のしやすさ」が他の年代より5ポイント以上高い。(図4-14)

・「値上がりへの期待」「手数料や運用管理費用（信託報酬）の水準」は、世帯年収が高くなるほど、比率も上昇。(図4-14)

4. 投資信託購入者に聞いた投資信託

【サマリー】

④購入時の参考情報(Q10)

・全体では、「投資信託を販売している会社（証券会社、銀行など）のホームページ」（27.4%）が最も高く、「目論見書（投資信託説明書）・運用報告書」「販売用資料（商品内容のパンフレット）」が２割以上で続く。(図4-7)

・20～30代は「X（旧Twitter）からの情報」「YouTube等の動画配信」、40代は「投資信託を販売している会社（証券会社、銀行など）のホームページ」、60～70代は「金融機関（証券会社、銀行など）の担当者の話」が他の年代より高い。(図4-8)

⑤購入商品を見直すきっかけ(Q11)

・全体では、「保有資産のバランスを考えて」（29.6%）が最も高く、「ライフステージの変化（就職、結婚、出産、定年退職など）があったため」「景気や市場（相場）の影響を見て」が２割以上で続く。(図4-10)

・世帯年収が上がるほど「保有資産のバランスを考えて」「景気や市場（相場）の影響を見て」が高くなる傾向。(図4-11)

⑥優れていると感じる点(Q15)

・全体では、「少額でも分散投資ができる」（53.4%）が最も高く、半数以上を占める。「積立投資ができる」「専門知識や時間がなくても投資ができる（専門家に銘柄選定や運用をお任せできる）」が3割台で続く。上位2項目は過去３年間では微増傾向。(図4-24)

・30代は「少額でも分散投資ができる」が65.4%と他の年代に比べて最も高い。20～30代では「積立投資ができる」、20～40代では「少額でも投資の面白味がある」が他の年代より高い。「定期的に分配金が受け取れる」は、年代が上がるほど比率が高くなり、70代では33.7%。(図4-25)

・世帯年収が上がるほど、上位2項目は高くなる傾向。(図4-25)

⑦不満に感じる点(Q16)

・全体では、「リターン（収益）が低い」（23.2%）が最も高く、「手数料が比較的高い」「仕組みや運用手法がわかりにくい」「専門知識がないと商品を選びにくい」が2割台で続く。(図4-27)

・20代は、「リターンが低い」「手続きがわずらわしい」が全体より4.0～5.8ポイント高い。
60～70代は、「手数料が比較的高い」が全体より7.1～11.7ポイント高い。
70代は「高い利回りを期待できる一方で元本保証がない」が全体より11ポイント高い。(図4-28)

・40代以下は、「仕組みや運用手法がわかりにくい」「専門知識がないと商品を選びにくい」が全体より低い傾向。(図4-28)

・「手数料が比較的高い」は年代が上がるにつれて増加傾向。(図4-28)
※年代ごとに口座開設先（ネット証券、証券会社など）が影響している可能性がある。

4. 投資信託購入者に聞いた投資信託

（1）興味・関心・購入のきっかけ（現在保有層・保有経験層）〔Q7:複数回答〕

〔図 4-1〕

	n=	金融機関の人に勧められて	インターネットで見たり調べたりして	少額投資非課税制度があるから	投資信託に関する本や記事を見て	経済的に余裕ができたので	ポイントで投資/運用ができることを知って	投資信託の商品広告などを見て	家族などから話を聞いて	景気や市場の状況を見て	DMを見たり、電話案内を聞いて	YouTube等の動画配信を観て	友人・知人から話を聞いて	講演会やセミナーなどで話を聞いて	確定拠出年金で投資信託を選択したことで興味を持った	職場で勧められて	SNS X（旧Twitter）からの情報を通じて	SNS Instagramからの情報を通じて	SNS Facebookからの情報を通じて	SNS TikTokからの情報を通じて	その他
		(%)																			
2024年	(7295)	31.5	27.5	17.1	15.2	11.0	9.6	9.5	8.7	8.4	8.3	8.0	7.4	6.2	5.5	3.2	4.1	2.1	1.1	1.0	1.8
2023年	(6454)	33.2	26.7	15.0	15.6	8.7	7.9	10.2	8.8	7.5	8.3	9.1	8.3	6.2	6.4	–	3.8※	2.5	1.3	1.2	2.0
2022年	(7018)	36.1	25.1	14.7	15.0	9.7	8.6	10.8	8.3	8.4	8.2	7.2	7.1	6.2	5.8	–	4.7	4.7	4.7	4.7	2.2

※選択肢「職場で勧められて」は2024年より聴取
※「少額投資非課税制度があるから」は2024年は「少額投資非課税制度（NISA）があるから」、2023年までは「少額投資非課税制度（一般NISA、ジュニアNISA、つみたてNISA）があるから」で聴取
※「Facebookからの情報を通じて」「X（旧Twitter）からの情報を通じて」「Instagramからの情報を通じて」「TikTokからの情報を通じて」は2022年の「SNSからの情報を通じて」を分割して聴取のため同じ数値

〔図 4-2〕

		n=	金融機関の人に勧められて	インターネットで見たり調べたりして	少額投資非課税制度があるから	投資信託に関する本や記事を見て	経済的に余裕ができたので	ポイントで投資/運用ができることを知って	投資信託の商品広告などを見て	家族などから話を聞いて	景気や市場の状況を見て	DMを見たり、電話案内を聞いて	YouTube等の動画配信を観て	友人・知人から話を聞いて	講演会やセミナーなどで話を聞いて	確定拠出年金で投資信託を選択したことで興味を持った	職場で勧められて	SNS X（旧Twitter）からの情報を通じて	SNS Instagramからの情報を通じて	SNS Facebookからの情報を通じて	SNS TikTokからの情報を通じて	その他
			(%)																			
TOTAL		(7295)	31.5	27.5	17.1	15.2	11.0	9.6	9.5	8.7	8.4	8.3	8.0	7.4	6.2	5.5	3.2	4.1	2.1	1.1	1.0	1.8
性別	男性	(4333)	26.3	31.7	17.4	17.5	12.4	10.5	10.9	4.3	9.9	9.7	9.0	6.5	6.3	6.8	3.6	4.9	1.9	1.4	1.2	1.6
	女性	(2962)	39.1	21.4	16.5	11.8	9.0	8.3	7.5	15.1	6.1	6.2	6.5	8.7	5.9	3.6	2.7	2.9	2.5	0.6	0.8	2.1
年代別	20代	(808)	16.8	33.0	22.6	14.7	14.1	15.5	12.0	11.0	8.7	16.6	17.0	12.6	10.9	6.9	4.1	15.0	7.8	3.2	4.0	0.2
	30代	(967)	13.4	38.8	24.7	16.1	11.2	16.5	8.8	8.2	10.9	9.4	16.2	8.1	6.9	7.4	3.4	8.1	4.4	1.4	1.0	1.3
	40代	(1242)	17.6	38.5	20.8	19.9	11.2	15.2	9.9	9.1	8.8	8.0	9.8	7.3	6.1	8.1	3.6	5.0	2.6	1.9	1.8	1.5
	50代	(1301)	24.4	32.5	17.3	16.9	10.2	8.9	9.7	9.1	8.9	6.8	6.4	6.0	5.5	6.9	3.6	1.9	0.9	0.8	0.7	2.3
	60代	(1392)	43.4	20.4	13.5	14.3	10.9	5.2	8.8	8.2	7.5	6.0	4.2	6.0	4.8	3.8	2.2	0.6	0.4	0.3	0.2	2.0
	70代	(1585)	56.2	11.4	9.6	10.6	10.0	2.3	9.0	7.6	6.8	6.9	1.5	6.8	5.0	1.8	3.1	0.1	0.0	0.1	0.0	2.6
世帯年収別	100万円未満	(205)	34.6	22.4	6.3	11.2	8.8	5.9	7.8	4.9	5.9	10.7	7.3	3.4	3.4	2.9	1.5	3.9	0.5	0.0	0.0	3.9
	～300万円未満	(1008)	39.4	20.5	16.0	12.9	7.8	9.2	7.8	6.1	5.4	5.8	5.8	6.3	4.6	2.6	3.4	2.6	1.1	0.4	0.6	2.8
	～500万円未満	(1682)	34.2	25.1	17.4	13.5	10.6	9.4	9.6	8.0	7.3	7.8	8.0	6.8	5.5	4.3	3.0	3.6	2.1	0.5	0.8	1.8
	～1000万円未満	(2542)	27.7	31.4	18.3	17.3	10.8	9.3	10.7	9.7	8.5	9.9	9.0	8.9	7.1	5.8	3.4	5.3	2.6	1.5	1.5	1.4
	1000万円以上	(1045)	30.1	31.5	18.9	19.2	15.6	10.7	11.8	9.4	13.9	11.1	8.1	8.6	9.4	11.1	3.9	5.3	2.8	2.5	1.5	0.9

〔図 4-3〕

		n=	金融機関の人に勧められて	インターネットで見たり調べたりして	少額投資非課税制度があるから	投資信託に関する本や記事を見て	経済的に余裕ができたので	ポイントで投資/運用ができることを知って	投資信託の商品広告などを見て	家族などから話を聞いて	景気や市場の状況を見て	DMを見たり、電話案内を聞いて	YouTube等の動画配信を観て	友人・知人から話を聞いて	講演会やセミナーなどで話を聞いて	確定拠出年金で投資信託を選択したことで興味を持った	職場で勧められて	SNS X（旧Twitter）からの情報を通じて	SNS Instagramからの情報を通じて	SNS Facebookからの情報を通じて	SNS TikTokからの情報を通じて	その他
			(%)																			
TOTAL		(7295)	31.5	27.5	17.1	15.2	11.0	9.6	9.5	8.7	8.4	8.3	8.0	7.4	6.2	5.5	3.2	4.1	2.1	1.1	1.0	1.8
投資信託保有状況別	現在保有層	(5746)	28.8	31.6	20.4	16.5	11.4	10.7	9.4	9.3	9.2	8.2	9.5	7.4	7.0	6.1	2.7	4.7	2.5	1.2	1.2	1.6
	保有経験層(現在非保有)	(1549)	41.6	12.3	4.7	10.5	9.5	5.3	9.9	6.3	5.5	8.5	2.2	7.4	3.0	3.4	5.1	1.7	0.6	0.7	0.4	2.6

4. 投資信託購入者に聞いた投資信託

（2）購入目的（現在保有層・保有経験層）〔Q8:複数回答〕

〔図 4-4〕

	n=	老後の生活資金	資産のリスク分散	金融・経済・投資の勉強のため	不測の事態への備え	インフレ（物価上昇）に備えるため	結婚・住宅資金等、ライフイベントの支払いに備えるため	子供又は孫のための教育などの資金	レジャー資金	子供や孫に十分な資産を残したいため	FIREのため	退職金の運用	高額商品の購入資金	投資で社会を良くすることができるため	その他	目的はないが資金を増やしたい
																(%)
2024年	(7295)	55.5	28.2	15.5	10.7	10.2	9.6	8.3	7.9	6.4	5.6	5.5	4.1	2.4	0.9	14.3
2023年	(6454)	53.9	27.8	15.9	10.8	–	9.6	9.1	9.0	6.2	6.8	–	4.1	2.6	0.8	17.4
2022年	(7018)	54.6	29.8	15.2	11.7	–	9.4	8.3	6.8	6.3	5.8	–	3.9	2.6	1.0	17.1

※選択肢「インフレ（物価上昇）に備えるため」「退職金の運用」は2024年より聴取

〔図 4-5〕

		n=	老後の生活資金	資産のリスク分散	金融・経済・投資の勉強のため	不測の事態への備え	インフレ（物価上昇）に備えるため	結婚・住宅資金等、ライフイベントの支払いに備えるため	子供又は孫のための教育などの資金	レジャー資金	子供や孫に十分な資産を残したいため	FIREのため	退職金の運用	高額商品の購入資金	投資で社会を良くすることができるため	その他	目的はないが資金を増やしたい
TOTAL		(7295)	55.5	28.2	15.5	10.7	10.2	9.6	8.3	7.9	6.4	5.6	5.5	4.1	2.4	0.9	14.3
性別	男性	(4333)	53.7	30.9	17.4	10.5	11.7	10.8	8.4	9.1	6.9	7.3	6.3	5.4	2.6	0.9	13.5
	女性	(2962)	58.0	24.3	12.8	11.1	8.1	8.0	8.2	6.2	5.5	3.0	4.2	2.3	2.1	0.9	15.6
年代別	20代	(808)	41.5	30.6	23.8	12.9	14.6	22.9	13.0	14.7	7.5	13.2	4.3	10.8	6.1	0.1	12.1
	30代	(967)	49.4	32.7	23.8	14.8	16.8	18.3	16.0	10.7	7.3	12.3	3.3	8.0	3.9	0.2	11.2
	40代	(1242)	55.3	30.4	18.4	12.1	10.8	10.4	13.3	7.8	6.8	8.6	3.1	4.8	2.6	0.3	12.0
	50代	(1301)	61.9	25.7	15.1	9.8	9.7	7.5	5.3	6.6	4.0	3.7	1.5	2.8	1.9	0.8	13.5
	60代	(1392)	62.2	28.1	9.8	9.1	7.5	4.8	3.9	5.5	6.5	1.4	7.0	1.6	0.9	1.1	15.2
	70代	(1585)	55.3	24.9	9.5	8.3	6.4	3.0	3.8	6.1	6.6	0.4	11.1	1.1	1.1	2.1	19.1
世帯年収別	100万円未満	(205)	49.8	18.5	12.7	6.8	7.8	8.3	2.4	4.4	3.9	4.9	6.8	2.0	1.5	2.4	17.6
	～300万円未満	(1008)	51.5	22.1	13.1	9.7	8.0	7.1	3.5	5.5	3.5	3.9	6.3	2.4	1.8	1.8	18.5
	～500万円未満	(1682)	57.3	25.7	14.4	10.7	9.7	8.9	6.5	8.3	5.0	4.9	7.1	3.5	2.0	0.8	13.6
	～1000万円未満	(2542)	57.7	30.5	17.0	11.5	10.9	11.9	12.0	9.0	8.2	6.5	5.0	5.5	2.8	0.4	10.7
	1000万円以上	(1045)	54.9	36.3	19.3	12.3	13.9	11.0	12.1	11.5	8.9	7.8	4.2	5.8	3.9	0.8	10.7

〔図 4-6〕

		n=	老後の生活資金	資産のリスク分散	金融・経済・投資の勉強のため	不測の事態への備え	インフレ（物価上昇）に備えるため	結婚・住宅資金等、ライフイベントの支払いに備えるため	子供又は孫のための教育などの資金	レジャー資金	子供や孫に十分な資産を残したいため	FIREのため	退職金の運用	高額商品の購入資金	投資で社会を良くすることができるため	その他	目的はないが資金を増やしたい
TOTAL		(7295)	55.5	28.2	15.5	10.7	10.2	9.6	8.3	7.9	6.4	5.6	5.5	4.1	2.4	0.9	14.3
投資信託保有状況別	現在保有層	(5746)	60.6	30.6	16.5	11.7	12.1	10.3	9.0	7.8	7.2	6.6	5.8	4.3	2.9	0.6	11.2
	保有経験層(現在非保有)	(1549)	36.5	19.4	11.9	7.0	3.5	7.4	5.9	8.3	3.1	1.7	4.3	3.4	0.6	2.0	26.1

4. 投資信託購入者に聞いた投資信託

（3）購入時の参考情報（現在保有層・保有経験層）〔Q10:複数回答〕

〔図 4-7〕

	n=	投資信託を販売している会社のHP	目論見書・運用報告書	販売用資料	金融機関の担当者の話	投資信託を運用している会社のHP	投資に関する情報サイト	YouTube等の動画配信	投資信託や資産運用に関する本	その他のインターネットの情報サイト	親族や知人、友人の話	新聞	テレビ番組・雑誌	投資信託の評価機関	セミナーなど	SNS X（旧Twitter）からの情報	SNS Instagramからの情報	SNS TikTokからの情報	SNS Facebookからの情報	その他	特にない
		(%)																			
2024年	(7295)	27.4	26.5	23.0	18.7	14.9	14.4	11.8	10.6	10.2	9.4	9.2	7.7	6.9	4.8	5.3	2.7	1.5	1.1	0.4	15.4
2023年	(6454)	26.0	26.8	23.0	18.3	14.4	13.6	12.0	11.0	11.8	9.1	9.6	6.2	7.0	4.3	5.4 ※	3.8	1.1	1.5	0.3	14.8
2022年	(7018)	27.1	26.8	25.1	21.6	14.8	15.9	9.5	9.5	9.1	8.6	10.8	10.5	9.9	7.6	6.8	6.8	6.8	6.8	0.4	14.9

※選択肢「テレビ番組・雑誌」は2023年より「雑誌」「テレビ番組」を統合して聴取（2022年は合算のため参考値）
※「Facebookからの情報を通じて」「X（旧Twitter）からの情報を通じて」「Instagramからの情報を通じて」「TikTokからの情報を通じて」は2022年の「SNSからの情報を通じて」を分割して聴取のため同じ数値
※「セミナーなど」は2022年のみ「セミナーなど（会場開催）」「セミナーなど（オンライン開催）」に分割して聴取のため合算値
※「投資信託の評価機関（ウェルスアドバイザーなど）」は2022年「投資信託の評価機関（モーニングスターなど）」で聴取

〔図 4-8〕

		n=	投資信託を販売している会社のHP	目論見書・運用報告書	販売用資料	金融機関の担当者の話	投資信託を運用している会社のHP	投資に関する情報サイト	YouTube等の動画配信	投資信託や資産運用に関する本	その他のインターネットの情報サイト	親族や知人、友人の話	新聞	テレビ番組・雑誌	投資信託の評価機関	セミナーなど	SNS X（旧Twitter）からの情報	SNS Instagramからの情報	SNS TikTokからの情報	SNS Facebookからの情報	その他	特にない
TOTAL		(7295)	27.4	26.5	23.0	18.7	14.9	14.4	11.8	10.6	10.2	9.4	9.2	7.7	6.9	4.8	5.3	2.7	1.5	1.1	0.4	15.4
性別	男性	(4333)	29.9	30.4	23.9	12.6	17.5	16.5	12.6	11.5	10.5	5.5	10.1	7.3	8.4	4.5	5.8	2.3	1.5	1.3	0.4	16.4
	女性	(2962)	23.7	20.7	21.6	27.7	11.1	11.4	10.7	9.1	9.8	15.2	7.9	8.4	4.9	5.3	4.6	3.3	1.4	0.7	0.5	14.1
年代別	20代	(808)	29.6	25.9	20.4	6.8	19.8	13.6	22.0	12.1	9.8	10.5	10.3	6.7	10.4	5.2	15.3	9.3	4.3	2.2	0.2	12.0
	30代	(967)	27.3	28.3	18.2	7.4	15.7	16.6	23.8	15.1	14.4	11.9	5.9	8.6	9.2	5.3	14.1	6.3	2.8	2.2	0.1	15.0
	40代	(1242)	32.6	26.3	18.8	8.9	18.4	18.7	14.6	15.2	13.5	9.5	7.9	7.8	8.7	5.4	6.4	3.1	2.0	1.8	0.2	14.0
	50代	(1301)	29.7	26.9	22.6	14.5	15.0	16.1	10.5	10.7	12.7	9.0	7.7	7.8	5.6	4.5	2.0	1.2	1.0	0.5	0.4	14.8
	60代	(1392)	25.9	27.4	26.3	25.1	11.4	12.9	6.5	7.5	7.8	8.8	9.7	8.6	5.7	4.0	1.4	0.4	0.4	0.5	0.8	17.8
	70代	(1585)	21.5	24.5	27.8	37.2	12.2	10.2	2.8	5.9	5.4	8.1	12.6	6.8	4.6	4.9	0.2	0.2	0.0	0.2	0.7	17.1
世帯年収別	100万円未満	(205)	19.5	23.4	22.4	17.1	12.7	10.7	10.7	6.3	8.3	5.9	3.4	5.4	4.9	3.4	5.9	0.5	1.5	0.0	1.5	22.0
	～300万円未満	(1008)	23.7	22.2	23.3	23.0	10.9	9.3	7.8	8.5	7.5	7.0	8.5	8.0	4.4	3.3	2.6	1.1	1.2	0.4	0.9	18.3
	～500万円未満	(1682)	26.6	25.8	23.4	20.4	13.7	13.6	11.7	10.1	10.2	8.2	10.0	8.9	6.3	3.9	5.2	2.9	1.0	1.0	0.5	13.9
	～1000万円未満	(2542)	29.4	27.6	22.3	16.2	16.6	17.3	13.5	11.6	11.1	11.1	10.1	7.4	7.7	5.2	6.8	3.5	1.7	1.1	0.3	13.7
	1000万円以上	(1045)	34.9	32.2	27.8	18.5	20.5	16.6	11.4	12.4	11.8	10.0	9.8	8.2	11.4	8.3	6.0	3.6	2.8	2.5	0.1	12.2

〔図 4-9〕

		n=	投資信託を販売している会社のHP	目論見書・運用報告書	販売用資料	金融機関の担当者の話	投資信託を運用している会社のHP	投資に関する情報サイト	YouTube等の動画配信	投資信託や資産運用に関する本	その他のインターネットの情報サイト	親族や知人、友人の話	新聞	テレビ番組・雑誌	投資信託の評価機関	セミナーなど	SNS X（旧Twitter）からの情報	SNS Instagramからの情報	SNS TikTokからの情報	SNS Facebookからの情報	その他	特にない
TOTAL		(7295)	27.4	26.5	23.0	18.7	14.9	14.4	11.8	10.6	10.2	9.4	9.2	7.7	6.9	4.8	5.3	2.7	1.5	1.1	0.4	15.4
投資信託保有状況別	現在保有層	(5746)	29.1	27.8	22.6	18.1	15.8	14.9	14.0	11.9	11.0	9.2	8.6	8.2	7.5	5.4	6.2	3.2	1.7	1.3	0.4	13.7
	保有経験層(現在非保有)	(1549)	21.0	21.4	24.3	21.0	11.6	12.5	3.5	5.6	7.2	10.1	11.4	6.1	4.8	2.8	2.1	1.0	0.4	0.2	0.5	21.9

4. 投資信託購入者に聞いた投資信託

（4）購入商品を見直すきっかけ（現在保有層・保有経験層）〔Q11:複数回答〕

〔図 4-10〕

	n=	保有資産のバランスを考えて	ライフステージの変化があったため	景気や市場(相場)の影響を見て	年収が変化したため	保有商品の基準価額・分配金が下落したため	証券会社、銀行など金融機関の人に勧められて	経済的に余裕ができたので	インターネットで投資信託について見たり調べたりして	少額投資非課税制度の対象商品に合わせて	投資信託に関する本や記事などを見て	家族との投資信託に関する話を通じて	YouTube等の動画配信を観て	友人・知人との投資信託に関する話を通じて	投資信託に関する商品広告などを見て	講演会やセミナーなど投資信託に関する話を聞いて	SNS X（旧Twitter）からの情報を通じて	SNS Instagramからの情報を通じて	SNS TikTokからの情報を通じて	SNS Facebookからの情報を通じて	その他
		(%)																			
2024年	(7295)	29.6	20.8	20.3	15.9	15.1	12.7	12.4	12.1	11.9	6.9	6.4	6.0	5.3	4.6	4.0	2.5	1.5	1.1	0.7	2.0

〔図 4-11〕

		n=	保有資産のバランスを考えて	ライフステージの変化があったため	景気や市場(相場)の影響を見て	年収が変化したため	保有商品の基準価額・分配金が下落したため	証券会社、銀行など金融機関の人に勧められて	経済的に余裕ができたので	インターネットで投資信託について見たり調べたりして	少額投資非課税制度の対象商品に合わせて	投資信託に関する本や記事などを見て	家族との投資信託に関する話を通じて	YouTube等の動画配信を観て	友人・知人との投資信託に関する話を通じて	投資信託に関する商品広告などを見て	講演会やセミナーなど投資信託に関する話を聞いて	X（旧Twitter）からの情報を通じて	Instagramからの情報を通じて	TikTokからの情報を通じて	Facebookからの情報を通じて	その他
			(%)																			
TOTAL		(7295)	29.6	20.8	20.3	15.9	15.1	12.7	12.4	12.1	11.9	6.9	6.4	6.0	5.3	4.6	4.0	2.5	1.5	1.1	0.7	2.0
性別	男性	(4333)	32.6	21.6	21.7	17.3	15.0	10.0	13.6	12.9	11.2	7.0	3.4	6.8	4.4	5.0	4.0	2.9	1.5	1.3	0.8	2.0
	女性	(2962)	25.1	19.6	18.4	13.7	15.3	16.6	10.7	10.9	12.9	6.8	10.8	4.9	6.7	4.2	4.0	2.1	1.5	0.8	0.5	1.9
年代別	20代	(808)	32.2	24.9	22.3	22.3	17.6	11.8	13.6	10.8	12.1	7.4	6.8	11.6	8.7	5.6	8.3	8.0	4.5	3.8	2.0	1.0
	30代	(967)	34.0	21.7	21.4	20.8	14.2	6.1	14.4	14.7	12.0	7.3	6.0	12.6	5.1	4.3	6.3	5.8	3.3	1.7	1.0	0.7
	40代	(1242)	34.1	19.2	22.2	15.0	13.7	7.5	12.6	17.6	13.4	9.3	5.6	7.7	5.3	5.6	4.4	3.3	2.2	1.5	1.1	0.9
	50代	(1301)	30.0	19.4	20.8	14.9	12.8	8.1	12.5	13.3	12.7	6.8	6.3	4.8	5.5	4.7	2.0	1.0	0.7	0.8	0.3	2.2
	60代	(1392)	27.7	25.0	16.7	15.0	13.1	15.4	11.3	11.1	12.3	6.6	6.8	3.1	4.7	4.6	2.0	0.6	0.2	0.1	0.1	2.7
	70代	(1585)	23.2	16.7	20.1	11.9	19.2	22.7	11.4	6.7	9.7	5.0	6.8	1.3	4.4	3.6	3.3	0.1	0.1	0.0	0.1	3.3
世帯年収別	100万円未満	(205)	24.4	21.5	16.6	15.1	13.2	12.2	13.2	7.8	6.8	4.9	2.0	3.4	3.4	4.9	1.5	1.0	0.0	0.5	0.5	3.9
	～300万円未満	(1008)	21.8	18.2	18.0	17.1	15.1	14.1	9.0	10.2	12.2	7.0	5.0	5.1	3.9	4.0	3.5	1.5	0.9	0.8	0.7	3.5
	～500万円未満	(1682)	28.2	20.2	20.3	16.6	15.5	13.6	12.7	11.6	11.9	7.2	6.5	6.4	5.5	5.2	3.6	2.2	1.5	0.7	0.4	1.1
	～1000万円未満	(2542)	32.4	22.7	20.5	16.9	16.0	11.6	12.1	12.9	12.8	7.4	6.5	6.4	6.0	4.8	4.9	3.4	1.7	1.4	0.9	1.6
	1000万円以上	(1045)	37.7	22.7	25.1	14.5	15.1	12.7	16.4	14.3	11.1	8.3	7.0	6.5	6.1	5.6	5.3	3.5	2.4	1.9	0.9	1.5

〔図 4-12〕

		n=	保有資産のバランスを考えて	ライフステージの変化があったため	景気や市場(相場)の影響を見て	年収が変化したため	保有商品の基準価額・分配金が下落したため	証券会社、銀行など金融機関の人に勧められて	経済的に余裕ができたので	インターネットで投資信託について見たり調べたりして	少額投資非課税制度の対象商品に合わせて	投資信託に関する本や記事などを見て	家族との投資信託に関する話を通じて	YouTube等の動画配信を観て	友人・知人との投資信託に関する話を通じて	投資信託に関する商品広告などを見て	講演会やセミナーなど投資信託に関する話を聞いて	X（旧Twitter）からの情報を通じて	Instagramからの情報を通じて	TikTokからの情報を通じて	Facebookからの情報を通じて	その他
			(%)																			
TOTAL		(7295)	29.6	20.8	20.3	15.9	15.1	12.7	12.4	12.1	11.9	6.9	6.4	6.0	5.3	4.6	4.0	2.5	1.5	1.1	0.7	2.0
投資信託保有状況別	現在保有層	(5746)	32.6	21.0	20.8	14.9	14.2	13.4	12.8	13.7	13.9	7.6	6.5	7.3	5.4	4.9	4.4	3.1	1.8	1.2	0.8	1.6
	保有経験層(現在非保有)	(1549)	18.1	20.1	18.7	19.3	18.5	10.2	11.2	5.9	4.7	4.4	5.9	1.4	5.2	3.8	2.3	0.6	0.4	0.5	0.3	3.4

4. 投資信託購入者に聞いた投資信託

（5）購入時に重視した点（現在保有層・保有経験層）〔Q9:最大3項目回答〕

〔図 4-13〕

	n=	値上がりへの期待	過去の運用実績	手数料や運用管理費用の水準	少額から投資できる	値下がりの不安が少ない	商品内容のわかりやすさ	換金のしやすさ	分配頻度	純資産額の大きさ	過去の分配金額	商品コンセプト	評価会社による評価	社会性が高い企業が投資先	その他	わからない・特にない
																(%)
2024年	(7295)	35.4	31.2	23.8	22.2	20.7	12.4	9.9	9.6	8.6	8.6	6.0	4.9	3.2	0.6	9.7
2023年	(6454)	36.2	31.4	22.4	23.0	22.3	11.5	10.9	9.2	8.3	8.7	5.0	4.8	3.0	0.5	9.8
2022年	(7018)	36.5	31.3	22.4	21.5	21.8	13.0	10.7	10.7	7.4	9.3	5.7	5.4	3.0	0.6	9.1

〔図 4-14〕

		n=	値上がりへの期待	過去の運用実績	手数料や運用管理費用の水準	少額から投資できる	値下がりの不安が少ない	商品内容のわかりやすさ	換金のしやすさ	分配頻度	純資産額の大きさ	過去の分配金額	商品コンセプト	評価会社による評価	社会性が高い企業が投資先	その他	わからない・特にない
TOTAL		(7295)	35.4	31.2	23.8	22.2	20.7	12.4	9.9	9.6	8.6	8.6	6.0	4.9	3.2	0.6	9.7
性別	男性	(4333)	37.9	33.9	25.3	19.5	18.3	11.2	10.9	9.4	9.5	8.7	6.6	4.4	2.5	0.6	9.3
	女性	(2962)	31.7	27.3	21.5	26.2	24.3	14.0	8.5	9.8	7.3	8.5	5.2	5.7	4.2	0.5	10.3
年代別	20代	(808)	33.0	32.9	21.4	22.8	20.9	10.8	12.5	10.0	9.4	7.9	5.2	6.2	3.3	0.2	8.9
	30代	(967)	35.4	32.2	29.6	24.8	19.8	10.9	8.2	7.2	12.1	5.1	6.1	4.3	3.3	0.2	9.5
	40代	(1242)	36.8	30.9	28.1	25.1	18.9	12.0	7.9	8.1	10.6	6.8	6.0	4.3	1.5	0.3	8.8
	50代	(1301)	35.4	31.8	26.7	23.8	19.8	12.1	7.4	8.1	8.8	6.9	6.1	3.9	1.8	0.5	9.3
	60代	(1392)	35.2	33.7	23.0	18.8	20.5	12.7	8.2	9.3	7.0	10.3	7.3	5.6	3.6	0.7	10.3
	70代	(1585)	35.6	27.4	16.3	19.8	23.5	14.3	15.0	13.2	5.6	12.4	5.2	5.4	5.1	1.1	10.8
世帯年収別	100万円未満	(205)	28.3	31.2	16.1	18.5	18.5	11.2	8.3	10.2	4.4	10.2	6.3	3.4	2.0	1.5	13.2
	～300万円未満	(1008)	33.1	24.3	20.1	25.8	21.9	12.1	10.2	9.7	6.3	9.6	6.0	4.4	3.5	1.2	10.6
	～500万円未満	(1682)	35.6	30.1	23.5	21.8	21.2	12.6	10.9	10.0	7.3	9.0	6.4	4.8	3.2	0.3	9.9
	～1000万円未満	(2542)	38.0	34.1	24.8	23.3	21.4	12.2	10.0	9.1	10.1	8.5	5.3	4.4	3.0	0.4	7.3
	1000万円以上	(1045)	39.7	36.7	27.0	16.3	17.8	14.6	9.4	10.4	10.9	8.1	7.8	7.1	4.0	0.6	6.6

〔図 4-15〕

		n=	値上がりへの期待	過去の運用実績	手数料や運用管理費用の水準	少額から投資できる	値下がりの不安が少ない	商品内容のわかりやすさ	換金のしやすさ	分配頻度	純資産額の大きさ	過去の分配金額	商品コンセプト	評価会社による評価	社会性が高い企業が投資先	その他	わからない・特にない
TOTAL		(7295)	35.4	31.2	23.8	22.2	20.7	12.4	9.9	9.6	8.6	8.6	6.0	4.9	3.2	0.6	9.7
投資信託保有状況別	現在保有層	(5746)	36.1	32.9	25.7	23.0	19.1	12.4	8.4	9.6	10.1	8.5	6.6	5.3	3.2	0.5	8.7
	保有経験層(現在非保有)	(1549)	32.7	25.0	16.5	19.4	26.6	12.5	15.6	9.4	3.1	9.0	3.9	3.7	3.3	0.8	13.5

4. 投資信託購入者に聞いた投資信託

（6）分配金の特徴認知状況（現在保有層・保有経験層）〔Q13:複数回答〕

〔図 4-16〕

	n=	一般的に分配金額は、運用成績によって変動する	運用成績が良くない時は分配金額が下がったり、支払われない場合がある	分配金は投資信託の決算ごとに支払われる	分配金として元本の一部が払い戻されることもある	分配金が支払われた額だけ、基準価額が下がる	分配金の取扱いを「再投資」としても税金がかかる	この中で知っているものはない
								(%)
2024年	(7295)	57.3	50.9	45.1	34.9	30.5	22.5	17.0
2023年	(6454)	53.7	48.3	41.8	33.9	28.3	21.6	19.7
2022年	(7018)	59.0	53.6	46.1	37.4	31.1	23.9	16.5

〔図 4-17〕

TOTAL		(7295)	57.3	50.9	45.1	34.9	30.5	22.5	17.0
性別	男性	(4333)	57.4	52.1	48.6	37.5	32.8	24.8	15.7
	女性	(2962)	57.0	49.2	39.9	31.1	27.1	19.1	19.0
年代別	20代	(808)	40.7	42.5	39.0	31.7	23.9	20.7	17.6
	30代	(967)	46.2	46.0	45.1	32.2	29.9	24.5	22.9
	40代	(1242)	52.3	49.3	43.0	32.5	28.6	22.9	17.3
	50代	(1301)	58.0	49.3	44.9	34.2	30.1	24.4	18.4
	60代	(1392)	64.4	52.7	48.3	37.1	31.5	21.8	16.3
	70代	(1585)	69.5	59.1	47.3	38.9	35.3	20.9	12.4
世帯年収別	100万円未満	(205)	56.6	44.4	34.6	27.3	23.9	15.6	21.5
	～300万円未満	(1008)	60.2	49.4	41.6	32.7	29.0	17.1	18.6
	～500万円未満	(1682)	56.9	51.3	45.1	34.2	29.4	21.4	16.3
	～1000万円未満	(2542)	56.4	51.6	47.2	35.8	31.4	23.9	15.5
	1000万円以上	(1045)	60.5	57.0	52.9	41.4	37.5	30.2	12.1

〔図 4-18〕

TOTAL		(7295)	57.3	50.9	45.1	34.9	30.5	22.5	17.0
投資信託 保有状況別	現在保有層	(5746)	57.4	52.1	46.6	36.9	32.4	24.5	16.4
	保有経験層(現在非保有)	(1549)	56.6	46.2	39.6	27.8	23.4	15.0	19.5

〔図 4-19〕

毎月分配型投資信託 現在保有層 年代別	TOTAL	(1777)	61.5	58.0	55.9	46.8	40.3	27.9	5.7
	20代	(295)	42.7	44.7	45.4	35.6	24.4	21.7	6.1
	30代	(255)	48.6	51.4	58.0	39.6	35.3	24.7	7.8
	40代	(305)	54.4	55.4	49.8	41.3	33.1	23.6	7.5
	50代	(250)	62.0	52.0	58.8	45.2	40.4	28.4	6.8
	60代	(289)	76.1	67.5	65.4	56.7	48.8	35.6	3.5
	70代	(383)	78.6	71.5	58.2	58.0	55.1	32.1	3.4

4. 投資信託購入者に聞いた投資信託

（7）償還・売却資金の流出先（現在保有層・保有経験層）〔Q14:複数回答〕

〔図 4-20〕

	n=	預貯金・MRFなどにまわした	すぐに株式、債券を購入した	すぐに他の投資信託を購入した	生活資金として引き出した	まとまった支出にあてた ※生活資金にあてた場合を除く	その他	売却経験なし／償還でお金を得たことはない
		(%)						
2024年	(7295)	22.6	21.8	19.7	16.1	9.7	1.3	33.5
2023年	(6454)	22.1	20.6	18.9	18.1	8.5	0.9	34.0
2022年	(7018)	25.1	20.4	19.7	16.4	9.4	1.0	32.3

〔図 4-21〕

TOTAL		(7295)	22.6	21.8	19.7	16.1	9.7	1.3	33.5
性別	男性	(4333)	22.0	26.0	21.3	16.9	9.5	0.8	31.9
	女性	(2962)	23.4	15.7	17.4	15.1	10.0	2.0	36.0
年代別	20代	(808)	19.9	27.6	21.0	16.7	10.3	0.1	36.6
	30代	(967)	18.3	25.3	20.9	13.5	6.0	0.1	44.0
	40代	(1242)	20.4	22.4	21.8	13.3	8.5	0.6	40.2
	50代	(1301)	21.1	19.7	18.8	12.6	8.9	0.9	38.5
	60代	(1392)	24.7	20.0	17.6	17.4	9.6	1.7	31.3
	70代	(1585)	27.6	19.5	19.3	21.5	13.2	3.1	18.2
世帯年収別	100万円未満	(205)	20.0	15.1	16.1	22.0	3.9	1.5	34.1
	～300万円未満	(1008)	22.3	17.5	16.7	23.5	11.7	2.4	27.8
	～500万円未満	(1682)	23.1	21.0	17.5	18.8	8.7	1.2	32.8
	～1000万円未満	(2542)	22.0	23.6	22.1	12.9	9.7	0.8	35.0
	1000万円以上	(1045)	25.0	30.7	25.1	12.1	10.7	1.5	31.5

〔図 4-22〕

TOTAL		(7295)	22.6	21.8	19.7	16.1	9.7	1.3	33.5
投資信託保有状況別	現在保有層	(5746)	21.7	22.0	23.0	12.2	8.1	0.6	39.5
	保有経験層(現在非保有)	(1549)	25.7	21.0	7.4	30.8	15.4	3.7	11.3

4. 投資信託購入者に聞いた投資信託

（7）償還・売却資金の流出先（現在保有層・保有経験層）〔Q14:複数回答〕

〔図 4-23〕

			n=	預貯金・MRFなどにまわした	すぐに株式、債券を購入した	すぐに他の投資信託を購入した	生活資金として引き出した	まとまった支出にあてた ※生活資金にあてた場合を除く	その他	売却経験なし／償還でお金を得たことはない
										(%)
TOTAL			(7295)	22.6	21.8	19.7	16.1	9.7	1.3	33.5
年代×世帯年収別	20代	100万円未満	(37)	10.8	24.3	21.6	16.2	5.4	0.0	40.5
		～300万円未満	(72)	13.9	22.2	22.2	19.4	13.9	1.4	36.1
		～500万円未満	(224)	17.4	26.3	19.2	15.2	8.5	0.0	37.9
		～1000万円未満	(286)	24.1	31.1	22.7	17.8	12.6	0.0	31.5
		1000万円以上	(103)	25.2	37.9	28.2	20.4	10.7	0.0	27.2
	30代	100万円未満	(16)	31.3	12.5	25.0	6.3	0.0	0.0	37.5
		～300万円未満	(62)	14.5	24.2	14.5	24.2	8.1	0.0	45.2
		～500万円未満	(193)	17.1	24.9	17.1	13.0	5.7	0.0	46.6
		～1000万円未満	(445)	19.3	24.5	21.3	12.8	5.4	0.0	43.1
		1000万円以上	(155)	23.2	40.6	30.3	14.2	9.0	0.6	31.6
	40代	100万円未満	(18)	22.2	16.7	11.1	27.8	5.6	0.0	27.8
		～300万円未満	(103)	24.3	27.2	21.4	13.6	5.8	1.0	36.9
		～500万円未満	(227)	18.9	18.9	18.9	18.9	6.2	0.4	40.5
		～1000万円未満	(556)	19.4	23.0	22.5	11.0	9.9	0.4	40.5
		1000万円以上	(229)	25.3	27.9	26.6	14.4	10.9	0.4	34.9
	50代	100万円未満	(40)	15.0	22.5	20.0	22.5	5.0	2.5	30.0
		～300万円未満	(144)	24.3	20.1	18.1	13.2	16.7	0.7	34.7
		～500万円未満	(196)	20.4	18.9	20.4	18.4	6.1	0.5	36.2
		～1000万円未満	(499)	19.0	20.6	19.8	12.6	8.0	1.0	37.5
		1000万円以上	(277)	22.0	20.6	20.6	6.9	7.9	1.4	42.2
	60代	100万円未満	(62)	24.2	6.5	11.3	27.4	3.2	0.0	38.7
		～300万円未満	(248)	21.4	14.1	13.7	27.8	8.9	3.2	29.0
		～500万円未満	(337)	28.5	18.1	13.6	17.2	9.2	1.2	31.8
		～1000万円未満	(410)	23.9	22.7	22.7	11.5	8.0	1.2	33.9
		1000万円以上	(177)	26.6	33.3	23.7	11.9	14.7	2.8	24.9
	70代	100万円未満	(32)	21.9	12.5	12.5	21.9	3.1	6.3	25.0
		～300万円未満	(379)	24.5	14.0	16.1	28.0	13.5	3.4	17.4
		～500万円未満	(505)	27.3	20.8	17.6	24.0	11.9	2.8	21.0
		～1000万円未満	(346)	30.1	22.3	24.3	14.2	16.8	2.6	16.2
		1000万円以上	(104)	31.7	37.5	25.0	9.6	13.5	4.8	10.6

4. 投資信託購入者に聞いた投資信託

（8）優れていると感じる点（現在保有層・保有経験層）〔Q15:複数回答〕

〔図 4-24〕

	n=	少額でも分散投資ができる	積立投資ができる	専門知識や時間がなくても投資ができる	少額でも投資の面白味がある	購入手続きが簡単である	種類が豊富で目的に応じたものが選べる	比較的高い利回りが期待できる	手数料が比較的安い	定期的に分配金が受け取れる	分配金が自動的に再投資される商品がある	外国への投資が手軽にできる	購入後の運用に関する情報が多い	その他	わからない・特にない
		(%)													
2024年	(7295)	53.4	34.4	32.2	25.5	24.1	19.9	19.7	19.5	19.4	18.6	16.4	6.8	0.1	13.0
2023年	(6454)	52.5	32.6	32.2	25.9	24.7	18.9	19.0	18.2	19.9	19.0	16.5	6.4	0.2	15.1
2022年	(7018)	51.1	31.0	32.5	25.3	24.2	19.7	19.4	17.6	21.8	18.2	16.1	7.2	0.3	14.5

〔図 4-25〕

		n=	少額でも分散投資ができる	積立投資ができる	専門知識や時間がなくても投資ができる	少額でも投資の面白味がある	購入手続きが簡単である	種類が豊富で目的に応じたものが選べる	比較的高い利回りが期待できる	手数料が比較的安い	定期的に分配金が受け取れる	分配金が自動的に再投資される商品がある	外国への投資が手軽にできる	購入後の運用に関する情報が多い	その他	わからない・特にない
			(%)													
TOTAL		(7295)	53.4	34.4	32.2	25.5	24.1	19.9	19.7	19.5	19.4	18.6	16.4	6.8	0.1	13.0
性別	男性	(4333)	55.6	33.7	31.8	27.3	22.8	21.2	19.4	19.1	17.9	18.8	17.4	7.1	0.1	12.6
	女性	(2962)	50.2	35.3	32.8	23.0	26.0	17.9	20.1	20.2	21.7	18.4	15.0	6.5	0.1	13.5
年代別	20代	(808)	55.7	33.7	33.4	31.9	19.8	21.0	18.4	19.6	9.4	15.1	15.1	8.7	0.1	8.3
	30代	(967)	65.4	42.2	33.4	34.5	26.4	18.6	17.3	24.9	10.7	16.1	18.2	5.8	0.0	9.4
	40代	(1242)	59.9	40.7	33.7	31.2	24.5	19.4	19.0	25.1	13.8	17.4	18.5	7.0	0.1	9.3
	50代	(1301)	55.7	37.0	30.6	23.4	23.5	19.4	18.9	22.6	16.2	16.4	16.7	6.2	0.2	12.5
	60代	(1392)	48.6	28.7	29.0	19.5	23.6	18.8	21.0	16.4	23.1	19.8	14.5	6.2	0.3	16.9
	70代	(1585)	42.1	27.8	33.9	19.4	25.4	21.8	21.9	12.2	33.7	23.6	16.0	7.5	0.1	17.5
世帯年収別	100万円未満	(205)	45.4	27.3	23.4	21.0	18.0	14.6	13.7	17.6	16.6	14.6	11.2	4.4	0.0	20.5
	～300万円未満	(1008)	50.0	29.8	30.2	22.4	23.8	17.4	15.4	18.3	24.7	17.5	14.4	5.3	0.1	16.1
	～500万円未満	(1682)	53.2	33.1	34.8	25.9	23.7	19.9	21.0	19.1	20.8	19.5	15.8	6.1	0.2	12.7
	～1000万円未満	(2542)	56.9	37.3	32.3	28.6	24.3	20.5	20.5	20.3	17.5	18.0	16.7	7.7	0.0	9.9
	1000万円以上	(1045)	56.4	37.2	35.2	27.8	27.8	25.4	23.5	21.9	17.7	22.4	20.8	8.8	0.2	8.7

〔図 4-26〕

		n=	少額でも分散投資ができる	積立投資ができる	専門知識や時間がなくても投資ができる	少額でも投資の面白味がある	購入手続きが簡単である	種類が豊富で目的に応じたものが選べる	比較的高い利回りが期待できる	手数料が比較的安い	定期的に分配金が受け取れる	分配金が自動的に再投資される商品がある	外国への投資が手軽にできる	購入後の運用に関する情報が多い	その他	わからない・特にない
			(%)													
TOTAL		(7295)	53.4	34.4	32.2	25.5	24.1	19.9	19.7	19.5	19.4	18.6	16.4	6.8	0.1	13.0
投資信託保有状況別	現在保有層	(5746)	57.1	38.0	34.0	27.0	25.7	21.0	21.0	21.6	19.0	20.5	18.4	7.4	0.1	10.1
	保有経験層(現在非保有)	(1549)	39.8	20.7	25.6	20.1	18.1	15.7	14.8	11.8	21.0	11.6	9.1	4.7	0.3	23.9

4. 投資信託購入者に聞いた投資信託

（9）不満に感じる点（現在保有層・保有経験層）〔Q16:複数回答〕

〔図 4-27〕

	n=	リターンが低い	手数料が比較的高い	仕組みや運用手法がわかりにくい	専門知識がないと商品を選びにくい	株式に比べて面白さに欠ける	種類が多く選択に迷う	高い利回りを期待できる一方で元本保証がない	公社債に比べてリスクが高い	金融機関によって取り扱っていない商品がある	購入後の運用に関する情報が少ない	手続きがわずらわしい	クローズド期間がある	その他	わからない・特にない
															(%)
2024年	(7295)	23.2	21.9	21.1	20.5	18.9	17.4	15.7	12.1	11.9	10.7	8.2	6.3	0.5	20.1
2023年	(6454)	23.7	22.3	20.6	20.9	18.9	19.1	16.1	11.7	12.8	10.3	8.7	6.4	0.5	21.5
2022年	(7018)	25.7	25.6	23.6	22.6	18.6	19.1	18.7	14.2	12.3	10.5	7.6	7.0	0.6	18.2

〔図 4-28〕

TOTAL		(7295)	23.2	21.9	21.1	20.5	18.9	17.4	15.7	12.1	11.9	10.7	8.2	6.3	0.5	20.1
性別	男性	(4333)	25.2	22.2	18.3	16.5	21.6	14.6	11.4	11.1	11.0	9.8	7.5	6.4	0.7	21.9
	女性	(2962)	20.3	21.5	25.1	26.4	15.1	21.4	22.0	13.5	13.3	12.0	9.1	6.2	0.3	17.5
年代別	20代	(808)	27.2	12.1	15.5	17.2	19.8	13.9	7.9	15.1	7.8	11.3	14.0	7.1	0.4	20.2
	30代	(967)	23.8	10.9	17.0	18.4	19.5	16.1	9.3	8.5	10.9	8.3	9.7	5.8	0.7	25.1
	40代	(1242)	25.6	15.9	18.8	17.8	19.3	15.9	8.1	8.1	12.0	10.0	9.6	5.3	0.6	21.6
	50代	(1301)	22.0	20.2	21.8	19.4	16.3	18.1	14.0	8.4	13.1	9.0	7.8	5.8	0.5	21.8
	60代	(1392)	22.5	29.0	24.7	21.7	15.9	17.2	20.4	13.6	11.9	9.3	6.8	7.2	0.7	18.0
	70代	(1585)	20.6	33.6	24.5	25.5	22.6	20.6	26.7	17.5	13.7	14.9	4.7	6.7	0.4	16.5
世帯年収別	100万円未満	(205)	22.9	22.0	21.5	21.0	14.1	10.7	12.7	9.3	11.2	8.3	7.8	5.4	2.0	20.5
	～300万円未満	(1008)	23.6	26.0	22.6	21.4	18.6	16.6	19.7	12.8	12.3	12.1	6.0	6.1	0.6	20.1
	～500万円未満	(1682)	22.8	24.4	22.3	21.3	18.5	18.0	18.4	12.6	12.6	13.0	8.0	6.0	0.5	18.8
	～1000万円未満	(2542)	24.5	20.7	20.5	20.9	19.5	17.7	12.9	11.9	11.3	9.0	9.2	6.3	0.3	18.5
	1000万円以上	(1045)	24.0	20.3	19.4	17.3	23.3	16.5	13.8	14.3	12.5	11.9	9.3	7.6	0.9	19.4

〔図 4-29〕

TOTAL		(7295)	23.2	21.9	21.1	20.5	18.9	17.4	15.7	12.1	11.9	10.7	8.2	6.3	0.5	20.1
投資信託保有状況別	現在保有層	(5746)	22.4	20.3	19.6	20.0	18.5	17.8	14.8	11.2	13.2	9.7	7.7	5.8	0.6	21.2
	保有経験層(現在非保有)	(1549)	26.1	27.9	26.7	22.5	20.7	15.6	19.0	15.6	7.3	14.3	10.1	8.3	0.3	16.3

5. 保有未経験者が考える投資信託

【サマリー】

①購入しない理由(Q25)

・全体では、「投資の知識がないので」（46.0%）が最も高く、「そもそも興味がないので（38.3%）が続く。「投資の知識がないので」は前年より5.0ポイント減少。「損をしそうで怖い」「まとまった資金がない」「元本保証がない」もそれぞれ２割以上で上位。(図5-1)

・エリア別では「投資の知識がないので」「投資信託の仕組みがよくわからないので」が、全てのエリアで前年より減少しており、知識不足が解消され始めている様子。(図5-2、図5-3)

②魅力と感じる点(Q26)

・全体では、「少額でも分散投資ができる」（24.2%）が最も高く２割を超える。ついで「少額でも投資の面白味がある」（11.7%）、「手数料が比較的安い」（10.6%）が続くが、時系列変化は見られない。(図5-6)

・「少額でも分散投資ができる」「少額でも投資の面白味がある」「手数料が比較的安い」は、20～40代がやや高い傾向。(図5-7)

③購入を検討するきっかけ(Q27)

・全体では、「保有しているポイントで投資／運用ができるなら」（31.3%）が最も高く、これに続いて「金融や投資を勉強して理解できたら」「手取り収入が増えたら」が1割半ばで上位。(図5-9)

・「保有しているポイントで投資／運用ができるなら」は、20～30代では４割弱で他の年代より高い。「友人・知人に勧められたら」「手取り収入が増えたら」「家族に勧められたら」は、年代が下がるほど高くなる傾向。(図5-10)

5. 保有未経験者が考える投資信託

（1）購入しない理由〔Q25:複数回答〕

〔図 5-1〕

	n=	投資の知識がない	そもそも興味がない	損をしそうで怖い	まとまった資金がない	元本保証がない	投資信託の仕組みがよくわからない	手数料など費用が高い	なんとなく機会がなかった	商品の種類が多く自分では選択できない	購入するのに手間がかかる	投資信託を買うよりも自分で株などを運用した方がいい	投資信託の存在を知らなかった	友人・知人から投資について良い話を聞かないから	家族から投資について良い話を聞かないから	その他
		(%)														
2024年	(12705)	46.0	38.3	25.9	22.7	20.2	15.0	11.4	8.1	5.9	3.7	3.0	2.6	2.1	2.1	0.4
2023年	(13546)	51.0	35.8	25.9	22.8	18.5	17.0	10.9	8.4	6.3	4.0	2.8	3.2	2.4	2.1	0.7
2022年	(12982)	51.4	35.2	27.1	22.1	20.9	16.3	12.6	6.9	6.2	4.1	3.2	2.7	2.5	2.4	0.7

〔図 5-2〕2024年度結果

		n=	投資の知識がない	そもそも興味がない	損をしそうで怖い	まとまった資金がない	元本保証がない	投資信託の仕組みがよくわからない	手数料など費用が高い	なんとなく機会がなかった	商品の種類が多く自分では選択できない	購入するのに手間がかかる	投資信託を買うよりも自分で株などを運用した方がいい	投資信託の存在を知らなかった	友人・知人から投資について良い話を聞かないから	家族から投資について良い話を聞かないから	その他
			(%)														
2024年 TOTAL		(12705)	46.0	38.3	25.9	22.7	20.2	15.0	11.4	8.1	5.9	3.7	3.0	2.6	2.1	2.1	0.4
エリア別	北海道・東北	(1693)	46.1	39.5	25.3	25.3	19.6	13.9	11.6	7.6	5.5	3.2	2.2	2.9	2.1	1.9	0.4
	関東	(4433)	44.9	37.1	25.7	22.2	19.9	14.5	11.8	8.8	6.2	4.2	3.6	2.6	2.2	2.0	0.5
	中部・北陸	(2284)	47.1	37.8	27.0	22.1	21.9	15.2	11.8	8.0	6.2	3.6	3.2	2.3	2.1	2.2	0.3
	近畿	(2002)	46.3	38.8	25.2	21.1	21.8	15.7	11.3	7.4	5.3	3.5	2.7	3.1	2.2	2.0	0.4
	中国・四国・九州	(2293)	46.7	39.9	26.4	23.7	18.1	15.7	9.9	7.6	5.9	3.5	2.4	2.4	1.8	2.2	0.5

〔図 5-3〕2023年度結果

		n=	投資の知識がない	そもそも興味がない	損をしそうで怖い	まとまった資金がない	元本保証がない	投資信託の仕組みがよくわからない	手数料など費用が高い	なんとなく機会がなかった	商品の種類が多く自分では選択できない	購入するのに手間がかかる	投資信託を買うよりも自分で株などを運用した方がいい	投資信託の存在を知らなかった	友人・知人から投資について良い話を聞かないから	家族から投資について良い話を聞かないから	その他
			(%)														
2023年 TOTAL		(13546)	51.0	35.8	25.9	22.8	18.5	17.0	10.9	8.4	6.3	4.0	2.8	3.2	2.4	2.1	0.7
エリア別	北海道・東北	(1712)	51.5	35.2	25.1	25.1	18.3	16.6	10.7	7.7	6.0	4.1	1.9	3.2	2.6	2.2	0.8
	関東	(4859)	50.6	34.9	26.1	22.7	18.3	16.9	12.0	9.0	6.3	4.5	3.4	3.1	2.3	2.2	0.7
	中部・北陸	(2301)	49.8	37.4	25.6	21.7	17.8	16.8	9.1	8.6	5.7	3.6	2.5	3.4	2.0	1.9	0.3
	近畿	(2149)	50.1	35.0	25.5	22.4	19.4	17.0	10.6	7.9	6.7	3.6	3.1	2.8	2.0	1.8	0.6
	中国・四国・九州	(2525)	52.9	37.0	26.7	22.6	18.7	17.7	11.2	7.8	6.9	3.6	2.3	3.4	3.2	2.5	1.0

〔図 5-4〕

		n=	投資の知識がない	そもそも興味がない	損をしそうで怖い	まとまった資金がない	元本保証がない	投資信託の仕組みがよくわからない	手数料など費用が高い	なんとなく機会がなかった	商品の種類が多く自分では選択できない	購入するのに手間がかかる	投資信託を買うよりも自分で株などを運用した方がいい	投資信託の存在を知らなかった	友人・知人から投資について良い話を聞かないから	家族から投資について良い話を聞かないから	その他
			(%)														
TOTAL		(12705)	46.0	38.3	25.9	22.7	20.2	15.0	11.4	8.1	5.9	3.7	3.0	2.6	2.1	2.1	0.4
性別	男性	(5634)	38.4	39.5	22.3	22.6	18.5	12.3	11.4	8.1	4.5	3.5	4.5	2.8	2.2	1.8	0.6
	女性	(7071)	52.1	37.3	28.8	22.8	21.5	17.1	11.3	8.1	7.1	3.9	1.8	2.5	2.1	2.2	0.3
年代別	20代	(1814)	41.8	40.4	21.7	21.4	8.5	14.9	7.7	11.1	4.7	3.7	1.6	3.8	2.6	2.5	0.3
	30代	(1945)	47.1	35.8	25.3	24.8	13.1	16.2	8.8	8.6	6.1	4.5	2.5	3.9	1.6	1.8	0.3
	40代	(2533)	47.8	33.2	26.7	25.0	17.7	15.9	10.9	8.6	6.4	4.6	3.2	2.9	2.5	2.5	0.2
	50代	(2545)	48.5	35.6	27.8	24.0	24.6	16.0	13.8	6.7	5.7	4.4	2.4	2.2	1.6	1.8	0.4
	60代	(1870)	45.7	40.6	27.1	20.5	27.2	11.9	13.5	5.9	5.7	2.8	3.3	1.8	1.4	1.6	0.9
	70代	(1998)	43.5	46.7	25.7	19.2	28.6	14.2	12.7	7.9	6.8	2.0	4.8	1.3	3.1	2.3	0.8
世帯年収別	100万円未満	(729)	44.0	42.7	26.5	28.9	19.6	13.4	12.3	6.6	4.8	2.3	1.6	2.7	2.5	2.1	0.1
	～300万円未満	(2253)	49.2	37.8	27.5	29.2	22.6	15.8	13.6	7.8	6.4	4.3	2.8	2.4	1.9	2.0	0.5
	～500万円未満	(2665)	49.9	34.5	29.1	24.1	22.7	15.3	12.1	8.1	6.8	4.2	3.5	2.7	1.8	2.6	0.6
	～1000万円未満	(3203)	48.3	30.5	27.4	21.4	21.5	17.6	11.9	8.7	6.9	3.9	3.6	3.0	2.4	1.7	0.2
	1000万円以上	(776)	41.6	29.8	23.8	13.1	20.4	15.1	12.1	10.7	5.5	4.0	4.9	3.0	3.1	2.7	0.4

〔図 5-5〕

			n=	投資の知識がない	そもそも興味がない	損をしそうで怖い	まとまった資金がない	元本保証がない	投資信託の仕組みがよくわからない	手数料など費用が高い	なんとなく機会がなかった	商品の種類が多く自分では選択できない	購入するのに手間がかかる	投資信託を買うよりも自分で株などを運用した方がいい	投資信託の存在を知らなかった	友人・知人から投資について良い話を聞かないから	家族から投資について良い話を聞かないから	その他
				(%)														
TOTAL			(12705)	46.0	38.3	25.9	22.7	20.2	15.0	11.4	8.1	5.9	3.7	3.0	2.6	2.1	2.1	0.4
保有投資信託状況別	保有未経験層	金融資産保有経験有	(2545)	41.9	26.6	25.3	18.5	24.1	19.0	16.0	11.0	7.6	3.9	10.8	2.6	2.3	2.2	0.8
		金融資産保有経験無	(10160)	47.0	41.3	26.0	23.7	19.2	14.0	10.2	7.3	5.5	3.7	1.0	2.6	2.1	2.0	0.3

5. 保有未経験者が考える投資信託

（2）魅力と感じる点〔Q26:複数回答〕

〔図 5-6〕

	n=	少額でも分散投資ができる	少額でも投資の面白味がある	手数料が比較的安い	専門知識や時間がなくても投資ができる	比較的高い利回りが期待できる	定期的に分配金が受け取れる	積立投資ができる	購入手続きが簡単である	種類が豊富で目的に応じたものが選べる	分配金が自動的に再投資される商品がある	外国への投資が手軽にできる	購入後の運用に関する情報が多い	その他	わからない・特にない
															(%)
2024年	(12705)	24.2	11.7	10.6	9.8	9.6	9.2	8.9	8.5	5.5	2.9	2.5	2.2	0.1	58.3
2023年	(13546)	24.4	12.5	10.8	10.6	9.6	8.9	9.4	9.0	5.1	2.8	2.6	2.2	0.1	56.9

〔図 5-7〕

			少額でも分散投資ができる	少額でも投資の面白味がある	手数料が比較的安い	専門知識や時間がなくても投資ができる	比較的高い利回りが期待できる	定期的に分配金が受け取れる	積立投資ができる	購入手続きが簡単である	種類が豊富で目的に応じたものが選べる	分配金が自動的に再投資される商品がある	外国への投資が手軽にできる	購入後の運用に関する情報が多い	その他	わからない・特にない
TOTAL		(12705)	24.2	11.7	10.6	9.8	9.6	9.2	8.9	8.5	5.5	2.9	2.5	2.2	0.1	58.3
性別	男性	(5634)	25.6	13.3	9.5	10.2	9.4	8.8	8.6	7.5	5.9	3.2	2.9	2.3	0.1	57.0
	女性	(7071)	23.2	10.5	11.5	9.5	9.7	9.4	9.1	9.3	5.2	2.6	2.2	2.1	0.1	59.4
年代別	20代	(1814)	25.2	13.5	12.1	11.4	8.8	7.1	7.4	8.4	7.1	2.2	2.0	2.4	0.1	54.1
	30代	(1945)	28.9	15.0	13.4	12.5	9.7	8.7	9.1	10.0	6.8	2.9	3.0	3.1	0.0	53.8
	40代	(2533)	28.6	14.4	12.4	11.0	10.9	9.9	10.5	9.7	6.6	3.8	3.3	2.8	0.0	52.2
	50代	(2545)	23.2	11.5	11.4	9.3	10.4	9.4	9.4	8.1	4.8	2.6	2.4	1.9	0.0	57.2
	60代	(1870)	19.5	7.3	7.5	6.5	9.3	8.3	7.6	7.3	3.6	2.1	1.7	1.6	0.0	66.7
	70代	(1998)	18.9	8.0	6.6	8.2	7.8	11.3	8.4	7.0	4.2	3.6	2.2	1.3	0.3	67.8
世帯年収別	100万円未満	(729)	20.0	8.8	9.3	7.8	7.4	7.5	6.4	7.0	5.2	2.3	2.1	1.6	0.0	65.8
	～300万円未満	(2253)	24.6	10.7	10.7	9.9	8.7	10.1	8.4	9.4	5.6	3.1	2.9	2.1	0.1	60.3
	～500万円未満	(2665)	26.6	13.6	11.0	10.6	10.4	10.2	9.9	9.1	6.1	3.3	2.8	2.3	0.0	55.9
	～1000万円未満	(3203)	29.8	14.9	12.8	12.2	12.8	10.6	11.5	10.0	6.6	3.5	3.0	2.6	0.0	48.3
	1000万円以上	(776)	31.2	15.7	12.4	11.6	12.9	10.2	10.8	10.4	6.6	3.7	2.7	3.0	0.0	45.1

〔図 5-8〕

				少額でも分散投資ができる	少額でも投資の面白味がある	手数料が比較的安い	専門知識や時間がなくても投資ができる	比較的高い利回りが期待できる	定期的に分配金が受け取れる	積立投資ができる	購入手続きが簡単である	種類が豊富で目的に応じたものが選べる	分配金が自動的に再投資される商品がある	外国への投資が手軽にできる	購入後の運用に関する情報が多い	その他	わからない・特にない
TOTAL			(12705)	24.2	11.7	10.6	9.8	9.6	9.2	8.9	8.5	5.5	2.9	2.5	2.2	0.1	58.3
投資信託保有状況別	保有未経験層	金融資産保有経験有	(2545)	34.6	14.9	13.0	14.2	15.5	14.3	13.8	12.3	7.2	5.3	5.4	3.3	0.1	45.2
		金融資産保有経験無	(10160)	21.6	10.9	10.1	8.8	8.1	7.9	7.6	7.5	5.1	2.3	1.8	1.9	0.1	61.6

5．保有未経験者が考える投資信託

（3）購入を検討するきっかけ〔Q27:複数回答〕

〔図 5-9〕

	n=	保有しているポイントで投資/運用ができるなら	金融や投資を勉強して理解できたら	手取り収入が増えたら	家族に勧められたら	貯蓄が一定額に達したら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	少額で積立てができる商品が充実してきたら	金融機関などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	初心者向けセミナーなど、説明してもらえる機会があれば	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	経済が上向き、値上がりが期待できる様になったら	友人・知人に勧められたら	税制上の優遇措置が、より拡充してきたら	退職金・相続などでの臨時収入があったら	職場で勧められたら	YouTube等の動画配信で有益な情報を目にしたら	SNSで有益な情報を目にしたら	職場で確定拠出年金・つみたてNISA等が整備されたら	その他
		(%)																		
2024年	(12705)	31.3	15.2	14.8	12.4	11.7	10.0	9.7	9.5	8.9	7.9	7.5	6.4	5.3	2.8	2.7	2.5	2.4	2.1	8.1
2022年	(12982)	27.0	17.1	16.8	10.9	14.5	11.6	10.6	9.4	9.6	8.9	8.8	6.0	6.8	3.5	－	－	－	2.6	9.0

※選択肢「職場で勧められたら」は2024年より聴取
※「SNS（X（旧Twitter）、Instagram、Facebook、TikTok等）で有益な情報を目にしたら」「YouTube等の動画配信で有益な情報を目にしたら」は2023年より聴取
※ 2023年は選択肢変更があったため、時系列比較表から割愛

〔図 5-10〕

			保有しているポイントで投資/運用ができるなら	金融や投資を勉強して理解できたら	手取り収入が増えたら	家族に勧められたら	貯蓄が一定額に達したら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	少額で積立てができる商品が充実してきたら	金融機関などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	初心者向けセミナーなど、説明してもらえる機会があれば	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	経済が上向き、値上がりが期待できる様になったら	友人・知人に勧められたら	税制上の優遇措置が、より拡充してきたら	退職金・相続などでの臨時収入があったら	職場で勧められたら	YouTube等の動画配信で有益な情報を目にしたら	SNSで有益な情報を目にしたら	職場で確定拠出年金・つみたてNISA等が整備されたら	その他
TOTAL		(12705)	31.3	15.2	14.8	12.4	11.7	10.0	9.7	9.5	8.9	7.9	7.5	6.4	5.3	2.8	2.7	2.5	2.4	2.1	8.1
性別	男性	(5634)	31.5	13.9	15.7	8.7	13.3	8.6	8.4	8.4	7.6	7.8	7.3	6.3	6.5	3.1	3.9	3.1	2.6	2.4	8.6
	女性	(7071)	31.2	16.2	14.0	15.3	10.4	11.2	10.7	10.3	9.9	8.0	7.7	6.5	4.3	2.5	1.8	2.1	2.1	1.9	7.7
年代別	20代	(1814)	38.1	16.0	16.0	18.1	12.5	6.2	6.1	10.3	9.9	3.4	5.6	10.3	2.9	1.7	5.0	4.4	5.8	3.4	3.4
	30代	(1945)	38.5	15.8	18.8	16.1	13.8	8.5	8.8	10.9	10.3	6.4	6.3	8.7	3.9	1.8	3.9	4.0	3.7	2.9	2.4
	40代	(2533)	34.1	16.4	19.2	12.8	13.9	10.3	9.7	10.4	10.3	8.8	8.7	7.0	5.5	2.8	3.9	3.4	2.6	2.4	4.5
	50代	(2545)	31.4	15.7	16.1	10.3	11.5	11.3	10.2	8.0	8.2	9.5	7.1	5.7	5.9	3.3	2.3	1.5	1.3	1.9	6.6
	60代	(1870)	26.1	13.2	9.7	9.0	10.1	11.5	10.6	8.0	7.1	9.2	8.7	3.4	5.9	3.9	0.6	1.4	0.6	0.9	13.7
	70代	(1998)	19.5	13.6	7.3	9.0	7.8	11.8	12.4	9.3	7.7	9.2	8.4	3.5	7.3	3.1	0.5	0.8	0.6	1.1	19.6
世帯年収別	100万円未満	(729)	38.1	11.2	15.4	10.4	11.1	7.3	7.4	6.7	7.4	6.3	6.9	5.5	3.2	1.8	1.4	2.3	2.5	1.9	9.1
	～300万円未満	(2253)	28.4	15.1	16.7	9.9	13.5	10.1	11.2	9.4	7.8	8.1	7.7	5.2	5.1	3.3	1.5	2.9	1.8	1.7	10.8
	～500万円未満	(2665)	27.6	16.4	16.4	12.5	13.3	10.6	10.4	10.0	10.1	8.6	7.6	7.3	5.4	3.5	3.0	2.7	2.9	1.8	8.4
	～1000万円未満	(3203)	28.3	17.3	15.7	15.5	11.8	11.1	10.9	11.7	10.9	8.6	9.0	8.6	6.1	2.8	4.0	3.1	3.1	2.7	5.0
	1000万円以上	(776)	27.2	15.3	10.6	16.9	11.1	12.1	9.8	13.0	10.3	11.1	8.6	9.1	8.9	4.5	5.5	3.2	2.3	3.6	2.8

〔図 5-11〕

			保有しているポイントで投資/運用ができるなら	金融や投資を勉強して理解できたら	手取り収入が増えたら	家族に勧められたら	貯蓄が一定額に達したら	低リスクの投資信託商品が充実してきたら	少額で積立てができる商品が充実してきたら	金融機関などで、専門知識を持つ人に教えてもらえたら	初心者向けセミナーなど、説明してもらえる機会があれば	手数料の低い投資信託商品が充実してきたら	経済が上向き、値上がりが期待できる様になったら	友人・知人に勧められたら	税制上の優遇措置が、より拡充してきたら	退職金・相続などでの臨時収入があったら	職場で勧められたら	YouTube等の動画配信で有益な情報を目にしたら	SNSで有益な情報を目にしたら	職場で確定拠出年金・つみたてNISA等が整備されたら	その他
TOTAL			(12705)	31.3	15.2	14.8	12.4	11.7	10.0	9.7	9.5	8.9	7.9	7.5	6.4	5.3	2.8	2.7	2.5	2.4	2.1	8.1
保有状況別投資信託	保有未経験層	金融資産保有経験有	(2545)	22.4	19.3	14.5	11.7	13.8	13.9	12.3	10.1	10.3	13.5	10.6	6.8	9.7	3.6	3.0	2.8	1.9	2.5	8.1
		金融資産保有経験無	(10160)	33.6	14.2	14.8	12.6	11.1	9.1	9.1	9.3	8.6	6.5	6.8	6.3	4.2	2.6	2.7	2.5	2.5	2.0	8.2

6. 投資信託に関する認識

【サマリー】

①特徴の認知状況(Q12)

・全体では、「元本の保証はない」（50.9%）が最も高く、半数を占める。ついで「リスクとリターンは表裏一体の関係にある（高いリターンを得ようとすれば、高いリスクを伴う）」（42.3%）、「価格の変動と、その他に外国に投資するものには為替リスクがある」（41.6%）が４割以上で上位。(図6-1)

・「価格の変動と、その他に外国に投資するものには為替リスクがある」は前回より12.0ポイントの大幅な増加。「過去の実績は将来のリターンを保証するものではない」は7.6ポイント増加、「リスクとリターンは表裏一体の関係にある（高いリターンを得ようとすれば、高いリスクを伴う）」は6.7ポイント増加。(図6-1)

・上位項目では年代が上がるほど認知率が高くなる傾向。20代では認知率が高い項目でも３割程度で、上位項目での認知率の年代差が大きい。(図6-2)

②運用会社選択の際に重視する点(Q17)

・全体では、「運用実績・成績が高い」（36.8%）が最も高く、「知名度が高い」「資本力が大きい」「運用体制が充実している」が続く。(図6-18)

・「運用実績・成績が高い」は、年代が上がるほどが高くなる傾向。(図6-19)

③積立投資プランの認知状況(Q20)

・全体での積立投資プラン認知率は56.9%。「積立投資プランがあることを知らない」（43.1%）は、過去3年間の中では最も低くなった。(図6-15)

・プランの認知内容については、全体では「少額から利用できること」（42.7%）が最も高い。「長い時間をかけて資産運用したい人に向いていること」「ドル・コスト平均法の効果が得られること」は前年よりやや増加。(図6-15)

④コストの特徴認知(Q24)

・全体では、「投資信託を購入するときに、購入時手数料がかかる」（38.3%）が最も高い。一方、「色々なコストがあり、内容がよくわからない／この中で知っているものはない」も約5割と半数を占める。コストの特徴は、上位項目を中心に前年より微増。(図6-21)

・多くの項目で、若年層ほどコストの特徴認知が低い傾向。(図6-22)

・現在保有層でも「投資信託を購入するときに、購入時手数料がかかる」以外は、認知率が50%を超えている項目はない。(図6-23)

6. 投資信託に関する認識

（1）特徴の認知状況〔Q12:複数回答〕

〔図 6-1〕

	n=	元本の保証はない	リスクとリターンは表裏一体の関係にある	価格変動と、外国に投資するものには為替リスクがある	過去の実績は、将来のリターンを保証するものではない	銀行など、証券会社以外の金融機関でも購入できる	NISAやDCで投資信託が購入できる	投資信託は、運用会社が運用している	ポイントで投資信託に投資/運用できる	販売手数料とは別に運用管理費用がかかる	1社の株を買うよりも、株式投資信託を買う方が分散効果が期待できる	投資信託の評価を行う会社がある	投資信託は、信託銀行で分別管理されている	投資信託は投資初心者に適した金融商品である	インフレ率より投資信託の収益率が高ければ、そのお金で1年後に今より多くの物が購入できる	金利が上がると公社債投資信託の基準価額は下がる	この中で知っているものはない
																	(%)
2024年	(20000)	50.9	42.3	41.6	34.7	30.8	26.4	24.8	23.3	21.8	20.7	11.5	11.4	11.3	11.1	8.8	30.4
2023年	(20000)	44.0	35.6	29.6	27.1	26.1	22.6	20.5	20.4	17.6	16.4	9.2	8.2	9.6	7.5	6.4	39.9
2022年	(20000)	48.2	38.4	32.3	30.4	29.0	24.6	24.8	22.5	20.4	19.2	11.1	9.1	–	8.6	7.1	36.7

※選択肢「投資信託は投資初心者に適した金融商品である」は、2023年より聴取

〔図 6-2〕

		n=	元本の保証はない	リスクとリターンは表裏一体の関係にある	価格変動と、外国に投資するものには為替リスクがある	過去の実績は、将来のリターンを保証するものではない	銀行など、証券会社以外の金融機関でも購入できる	NISAやDCで投資信託が購入できる	投資信託は、運用会社が運用している	ポイントで投資信託に投資/運用できる	販売手数料とは別に運用管理費用がかかる	1社の株を買うよりも、株式投資信託を買う方が分散効果が期待できる	投資信託の評価を行う会社がある	投資信託は、信託銀行で分別管理されている	投資信託は投資初心者に適した金融商品である	インフレ率より投資信託の収益率が高ければ、そのお金で1年後に今より多くの物が購入できる	金利が上がると公社債投資信託の基準価額は下がる	この中で知っているものはない
TOTAL		(20000)	50.9	42.3	41.6	34.7	30.8	26.4	24.8	23.3	21.8	20.7	11.5	11.4	11.3	11.1	8.8	30.4
性別	男性	(9967)	52.7	45.1	45.3	39.5	32.6	29.1	30.0	23.9	25.4	24.5	15.0	15.3	13.3	15.3	11.8	27.5
	女性	(10033)	49.2	39.4	37.8	29.9	29.0	23.8	19.6	22.7	18.2	16.9	8.1	7.6	9.4	6.9	5.7	33.4
年代別	20代	(2622)	28.5	32.0	30.1	23.5	18.7	19.4	13.8	21.8	11.9	14.0	7.4	10.2	9.6	8.6	6.4	39.7
	30代	(2912)	40.0	37.6	34.4	29.4	23.5	24.7	20.6	26.3	17.5	17.6	10.3	11.3	12.2	11.2	7.1	36.8
	40代	(3775)	47.8	40.4	39.3	33.7	27.8	25.6	23.9	26.9	20.5	19.8	12.1	11.8	11.7	11.7	7.7	31.8
	50代	(3846)	55.4	44.0	43.4	37.0	31.2	27.9	25.5	26.3	23.2	21.7	12.6	12.2	11.7	11.3	9.3	29.0
	60代	(3262)	62.4	48.5	48.5	40.3	38.3	30.0	31.1	23.3	27.5	24.6	13.9	12.4	12.3	13.1	11.0	24.2
	70代	(3583)	64.2	47.9	49.9	40.7	41.4	28.9	30.4	15.0	27.0	24.5	11.7	10.3	10.3	10.2	10.3	24.2
世帯年収別	100万円未満	(934)	38.0	29.9	30.8	25.8	20.1	15.3	15.1	15.7	13.2	12.4	6.4	6.3	6.3	5.4	3.7	44.6
	～300万円未満	(3261)	52.1	39.9	40.3	31.8	29.4	23.1	22.2	19.7	19.4	18.5	8.4	8.0	9.0	8.4	6.4	32.3
	～500万円未満	(4347)	55.3	46.6	44.6	37.4	33.0	27.1	26.8	23.4	23.1	22.2	11.3	11.4	11.8	11.2	9.0	25.5
	～1000万円未満	(5745)	55.9	47.2	46.5	39.0	34.3	31.7	28.8	28.0	25.5	24.0	13.7	13.9	13.6	13.4	10.0	21.7
	1000万円以上	(1821)	60.8	55.1	54.8	50.9	43.9	39.1	38.7	32.5	34.8	33.7	24.0	23.9	20.4	24.5	20.5	17.3

〔図 6-3〕

			n=	元本の保証はない	リスクとリターンは表裏一体の関係にある	価格変動と、外国に投資するものには為替リスクがある	過去の実績は、将来のリターンを保証するものではない	銀行など、証券会社以外の金融機関でも購入できる	NISAやDCで投資信託が購入できる	投資信託は、運用会社が運用している	ポイントで投資信託に投資/運用できる	販売手数料とは別に運用管理費用がかかる	1社の株を買うよりも、株式投資信託を買う方が分散効果が期待できる	投資信託の評価を行う会社がある	投資信託は、信託銀行で分別管理されている	投資信託は投資初心者に適した金融商品である	インフレ率より投資信託の収益率が高ければ、そのお金で1年後に今より多くの物が購入できる	金利が上がると公社債投資信託の基準価額は下がる	この中で知っているものはない
TOTAL			(20000)	50.9	42.3	41.6	34.7	30.8	26.4	24.8	23.3	21.8	20.7	11.5	11.4	11.3	11.1	8.8	30.4
投資信託保有状況別	保有層・保有経験層	現在保有層	(5746)	72.6	65.4	62.9	60.5	53.4	51.2	49.0	42.0	45.3	42.0	25.7	25.6	26.2	25.1	19.5	5.0
		保有経験層(現在非保有)	(1549)	73.4	58.4	60.0	54.6	49.2	32.2	39.2	21.8	35.2	29.1	18.6	16.5	14.4	14.1	13.6	5.6
	保有未経験層	金融資産保有経験有	(2545)	55.8	42.3	42.5	33.4	30.8	24.4	23.6	19.0	18.3	19.2	8.4	7.9	7.7	8.6	6.1	28.4
		金融資産保有経験無	(10160)	34.0	26.7	26.4	17.4	15.2	12.0	9.2	14.0	7.2	7.8	3.2	3.5	3.4	3.3	2.6	49.1

6. 投資信託に関する認識

（1）特徴の認知状況〔Q12:複数回答〕

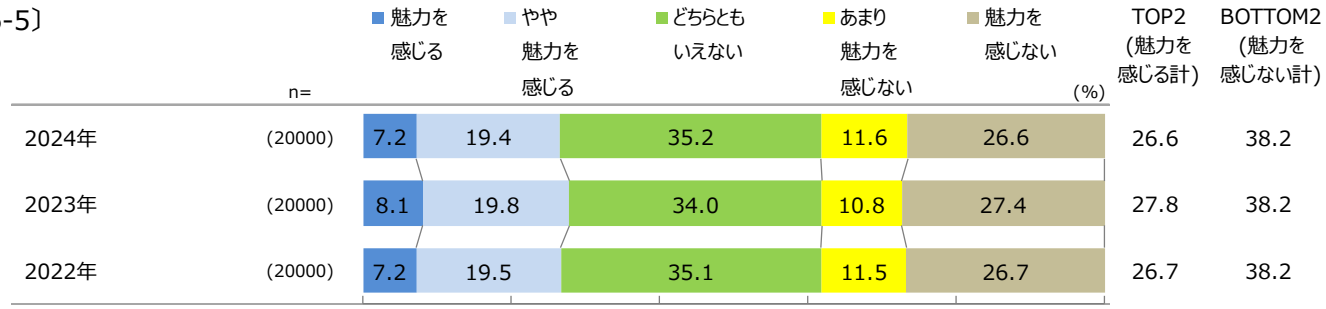
〔図 6-4〕

			n=	元本の保証はない	リスクとリターンは表裏一体の関係にある	価格変動と、外国に投資するものには為替リスクがある	過去の実績は、将来のリターンを保証するものではない	銀行など、証券会社以外の金融機関でも購入できる	NISAやDCで投資信託が購入できる	投資信託は、運用会社が運用している	ポイントで投資信託に投資/運用できる	販売手数料とは別に運用管理費用がかかる	1社の株を買うよりも、株式投資信託を買う方が分散効果が期待できる	投資信託の評価を行う会社がある	投資信託は、信託銀行で分別管理されている	投資信託は投資初心者に適した金融商品である	インフレ率より投資信託の収益率が高ければ、そのお金で1年後に今より多くの物が購入できる	金利が上がると公社債投資信託の基準価額は下がる	この中で知っているものはない
																			(%)
TOTAL			(20000)	50.9	42.3	41.6	34.7	30.8	26.4	24.8	23.3	21.8	20.7	11.5	11.4	11.3	11.1	8.8	30.4
年代×世帯年収別	20代	100万円未満	(175)	24.0	21.7	30.3	16.0	8.0	13.1	6.9	14.9	5.7	7.4	3.4	6.3	4.0	3.4	2.9	44.0
		～300万円未満	(315)	23.5	29.5	26.3	19.7	16.8	14.6	12.1	19.7	8.9	12.7	7.0	7.3	9.8	7.3	5.4	44.4
		～500万円未満	(570)	34.9	39.3	35.1	31.1	24.0	23.7	17.7	27.4	16.3	18.1	8.2	13.3	12.5	11.4	7.9	30.2
		～1000万円未満	(626)	37.4	39.0	37.7	31.6	25.4	26.4	19.6	26.8	15.3	17.4	9.7	13.7	10.5	11.8	8.9	23.3
		1000万円以上	(202)	40.1	47.5	41.1	36.6	32.2	31.7	25.2	31.7	23.8	27.7	17.8	24.3	21.3	19.8	15.3	20.3
	30代	100万円未満	(132)	28.0	24.2	22.7	19.7	12.1	14.4	14.4	16.7	12.1	7.6	6.8	7.6	8.3	6.8	3.8	55.3
		～300万円未満	(340)	35.3	30.6	26.2	21.8	15.3	15.9	13.5	22.9	10.0	12.1	6.8	5.6	7.9	7.4	4.4	43.5
		～500万円未満	(588)	42.5	40.3	35.4	31.5	24.0	23.5	21.6	26.5	16.8	15.5	7.8	9.4	11.7	9.0	5.8	32.3
		～1000万円未満	(1007)	47.1	43.3	41.8	34.3	28.4	32.1	24.4	31.2	22.5	21.8	11.9	14.4	14.7	13.7	8.0	25.4
		1000万円以上	(262)	49.6	54.2	48.5	46.2	38.2	35.1	35.1	32.8	30.9	31.3	26.0	25.2	22.1	26.7	21.0	21.0
	40代	100万円未満	(138)	34.8	23.9	26.8	23.9	15.9	12.3	13.0	15.9	7.2	9.4	4.3	5.1	6.5	5.1	3.6	52.2
		～300万円未満	(454)	43.2	33.9	34.8	25.3	18.7	20.9	19.2	23.6	13.9	15.6	6.4	7.0	9.3	7.5	5.3	38.1
		～500万円未満	(744)	52.4	45.8	42.9	34.9	28.4	26.7	23.5	26.9	21.5	20.8	11.3	10.9	11.4	10.9	6.5	28.6
		～1000万円未満	(1412)	51.3	44.8	42.7	36.8	32.1	29.2	27.1	30.2	23.8	22.0	13.8	13.7	12.7	13.7	7.8	23.9
		1000万円以上	(385)	56.1	50.9	50.9	50.4	41.6	36.1	37.7	34.3	33.0	32.2	25.2	24.4	21.0	23.4	21.8	19.7
	50代	100万円未満	(181)	41.4	30.4	29.3	29.8	23.2	15.5	14.9	22.1	14.9	12.7	7.2	6.1	5.0	5.0	2.8	43.1
		～300万円未満	(495)	56.2	39.2	41.8	34.5	30.3	25.5	24.0	25.1	21.2	19.2	11.1	9.1	10.5	8.7	8.1	32.1
		～500万円未満	(662)	53.0	45.0	42.3	33.7	27.9	23.9	23.0	24.6	19.9	20.1	11.3	10.7	11.0	10.3	7.9	28.9
		～1000万円未満	(1281)	60.0	46.3	47.1	39.0	33.0	30.7	27.3	27.6	25.0	23.3	12.9	12.7	12.9	11.6	9.7	22.6
		1000万円以上	(532)	68.4	58.6	58.3	55.1	46.6	43.0	40.2	35.9	37.4	35.9	23.7	22.7	18.8	24.2	19.5	16.5
	60代	100万円未満	(179)	53.6	42.5	37.4	34.6	33.0	19.0	23.5	14.0	21.2	20.1	10.1	6.7	8.4	7.3	5.0	38.5
		～300万円未満	(683)	59.7	44.2	43.8	36.7	32.9	25.5	26.4	19.8	22.7	19.3	9.2	8.9	8.9	9.8	6.9	27.5
		～500万円未満	(757)	64.1	50.7	50.3	39.2	40.0	30.4	33.4	23.8	28.5	25.9	15.2	13.9	12.0	13.3	11.8	22.5
		～1000万円未満	(813)	70.2	57.1	55.7	47.5	43.5	36.3	36.9	28.2	33.3	30.1	17.5	14.3	16.4	16.1	13.8	15.3
		1000万円以上	(295)	71.9	60.0	63.4	56.3	53.9	45.8	45.8	31.5	42.7	39.0	25.4	24.1	22.0	27.8	23.4	12.9
	70代	100万円未満	(129)	44.2	34.9	37.2	29.5	27.1	17.1	17.8	9.3	17.1	16.3	6.2	6.2	6.2	4.7	4.7	37.2
		～300万円未満	(974)	63.9	46.5	49.2	37.3	40.5	26.6	26.0	14.1	25.4	23.0	8.5	8.3	8.3	8.5	6.9	25.3
		～500万円未満	(1026)	71.2	52.8	53.7	47.0	44.5	31.0	34.9	15.9	29.7	27.9	12.1	10.3	12.0	11.4	12.1	16.7
		～1000万円未満	(606)	72.6	56.3	58.6	48.2	48.7	38.8	41.6	19.1	35.1	32.0	17.5	15.3	15.0	13.7	15.3	15.3
		1000万円以上	(145)	71.7	55.9	64.8	54.5	46.9	36.6	46.2	17.2	35.9	31.0	24.1	24.1	17.2	24.1	20.7	11.7

6. 投資信託に関する認識

（2）毎月分配型の魅力度〔Q22:単数回答〕

〔図 6-5〕



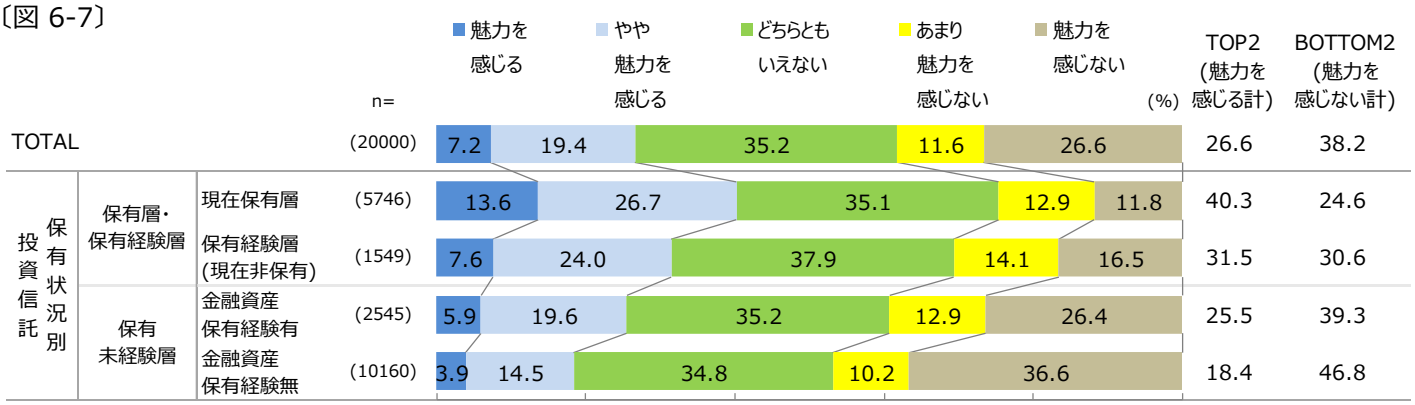
〔図 6-6〕

		n=	魅力を感じる	やや魅力を感じる	どちらともいえない	あまり魅力を感じない	魅力を感じない	TOP2（魅力を感じる計）	BOTTOM2（魅力を感じない計）
TOTAL		(20000)	7.2	19.4	35.2	11.6	26.6	26.6	38.2
性別	男性	(9967)	7.8	19.9	34.3	11.8	26.1	27.8	37.9
	女性	(10033)	6.6	18.8	36.0	11.4	27.1	25.4	38.5
年代別	20代	(2622)	11.1	26.4	30.5	8.7	23.3	37.5	32.0
	30代	(2912)	8.1	22.5	32.8	11.1	25.5	30.6	36.6
	40代	(3775)	7.4	21.1	35.1	11.0	25.4	28.5	36.3
	50代	(3846)	6.2	17.1	37.3	10.9	28.5	23.3	39.4
	60代	(3262)	5.0	15.2	37.3	13.5	29.0	20.2	42.5
	70代	(3583)	6.6	16.1	36.4	13.8	27.1	22.7	40.9
世帯年収別	100万円未満	(934)	7.7	13.2	31.4	11.1	36.6	20.9	47.8
	～300万円未満	(3261)	6.5	17.7	35.4	11.7	28.7	24.1	40.4
	～500万円未満	(4347)	7.8	20.1	34.1	12.5	25.5	27.9	38.0
	～1000万円未満	(5745)	8.5	24.3	35.1	11.9	20.1	32.9	32.0
	1000万円以上	(1821)	11.2	25.4	31.2	11.6	20.5	36.6	32.2

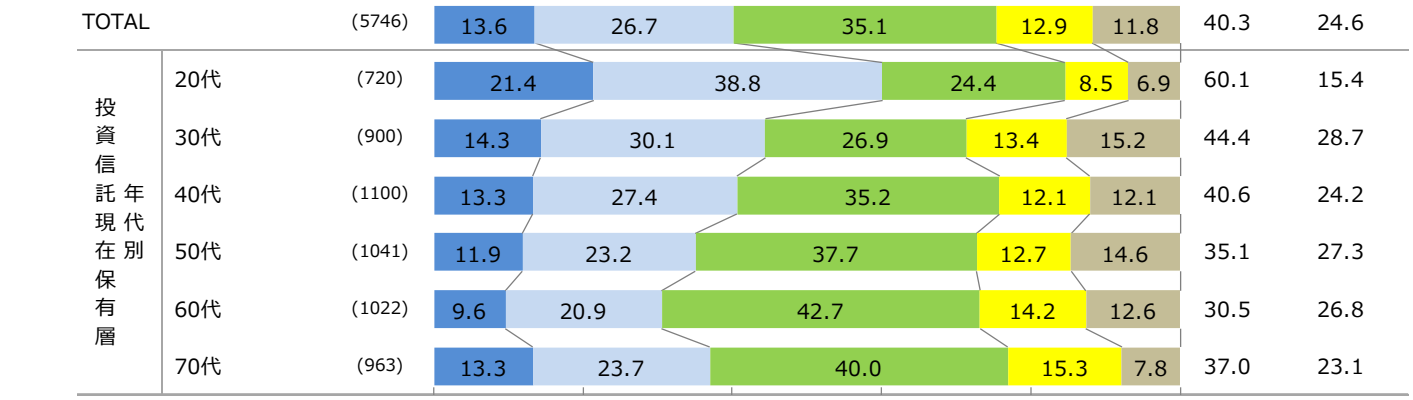
6. 投資信託に関する認識

（2）毎月分配型の魅力度〔Q22:単数回答〕

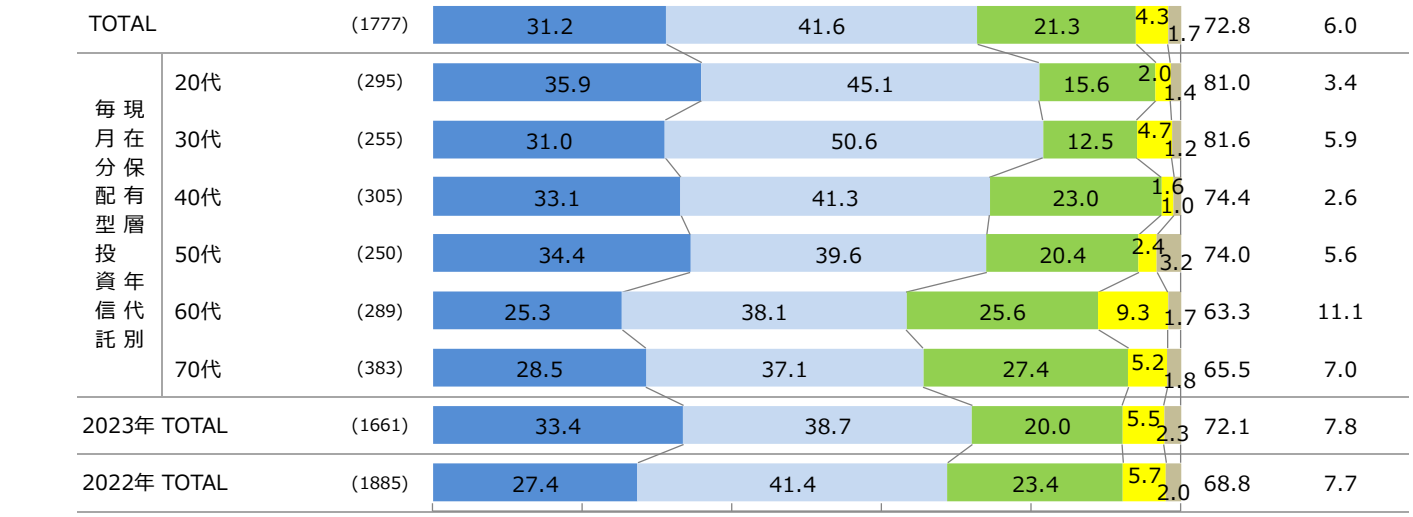
〔図 6-7〕



〔図 6-8〕



〔図 6-9〕



6. 投資信託に関する認識

（3）毎月分配型に魅力を感じる理由(毎月分配型魅力者)〔Q23:複数回答〕

〔図 6-10〕

		n=	分配金を受け取ることで安心できるので	毎月利益を確定したいので	一部払戻し分配金で年金収入を補完する上で活用できる	毎月分配型投資信託の他に魅力的な商品がなかった	その他
							(%)
	2024年	(5320)	61.9	51.0	21.6	6.1	0.4
	2023年	(5569)	59.4	53.9	19.0	5.0	0.3
	2022年	(5334)	61.5	52.0	20.6	5.3	0.3

〔図 6-11〕

		n=	分配金を受け取ることで安心できるので	毎月利益を確定したいので	一部払戻し分配金で年金収入を補完する上で活用できる	毎月分配型投資信託の他に魅力的な商品がなかった	その他
							(%)
TOTAL		(5320)	61.9	51.0	21.6	6.1	0.4
性別	男性	(2768)	63.3	49.5	24.9	6.7	0.4
	女性	(2552)	60.3	52.7	18.1	5.4	0.4
年代別	20代	(983)	54.7	50.8	20.9	7.3	0.2
	30代	(890)	62.4	52.6	19.7	5.6	0.2
	40代	(1077)	62.2	53.6	21.3	7.2	0.4
	50代	(898)	63.3	50.8	20.4	5.7	0.3
	60代	(658)	64.9	50.9	24.2	4.7	0.3
	70代	(814)	65.5	46.4	24.4	5.2	0.9
世帯年収別	100万円未満	(195)	57.9	51.8	22.6	5.6	0.0
	～300万円未満	(787)	62.1	53.9	20.7	5.5	0.3
	～500万円未満	(1212)	61.5	51.7	21.1	5.4	0.6
	～1000万円未満	(1888)	63.6	49.2	22.1	6.1	0.3
	1000万円以上	(666)	62.5	50.6	25.5	6.9	0.2

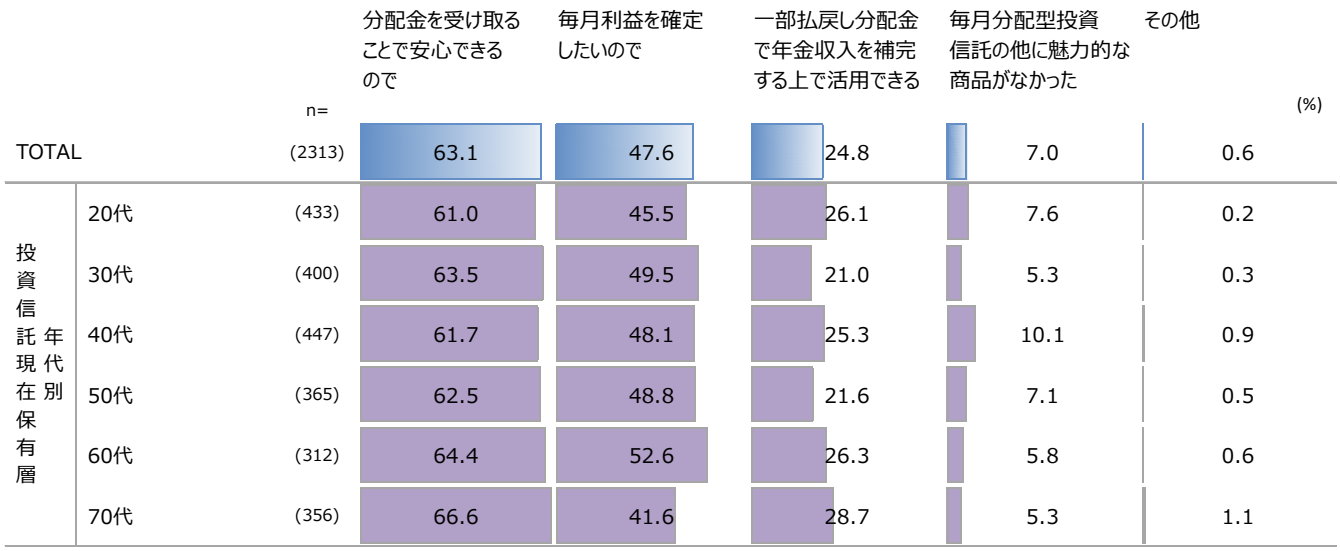
〔図 6-12〕

			n=	分配金を受け取ることで安心できるので	毎月利益を確定したいので	一部払戻し分配金で年金収入を補完する上で活用できる	毎月分配型投資信託の他に魅力的な商品がなかった	その他
								(%)
TOTAL			(5320)	61.9	51.0	21.6	6.1	0.4
投資信託保有状況別	保有層・保有経験層	現在保有層	(2313)	63.1	47.6	24.8	7.0	0.6
		保有経験層(現在非保有)	(488)	63.1	45.3	24.2	5.1	0.4
	保有未経験層	金融資産保有経験有	(649)	65.0	56.5	21.3	4.9	0.3
		金融資産保有経験無	(1870)	58.9	54.8	17.2	5.6	0.1

6. 投資信託に関する認識

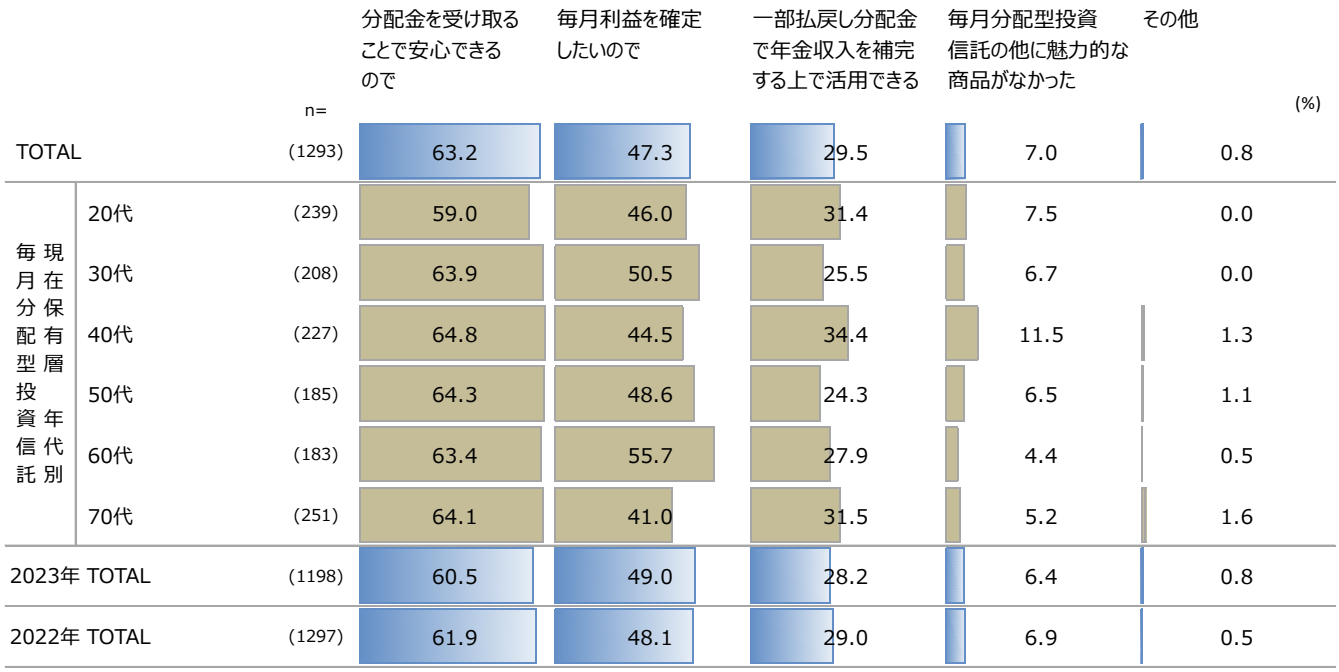
（3）毎月分配型に魅力を感じる理由(毎月分配型魅力者)〔Q23:複数回答〕

〔図 6-13〕



		n=	分配金を受け取ることで安心できるので	毎月利益を確定したいので	一部払戻し分配金で年金収入を補完する上で活用できる	毎月分配型投資信託の他に魅力的な商品がなかった	その他
							(%)
TOTAL		(2313)	63.1	47.6	24.8	7.0	0.6
投資信託現在保有層 年代別	20代	(433)	61.0	45.5	26.1	7.6	0.2
	30代	(400)	63.5	49.5	21.0	5.3	0.3
	40代	(447)	61.7	48.1	25.3	10.1	0.9
	50代	(365)	62.5	48.8	21.6	7.1	0.5
	60代	(312)	64.4	52.6	26.3	5.8	0.6
	70代	(356)	66.6	41.6	28.7	5.3	1.1

〔図 6-14〕

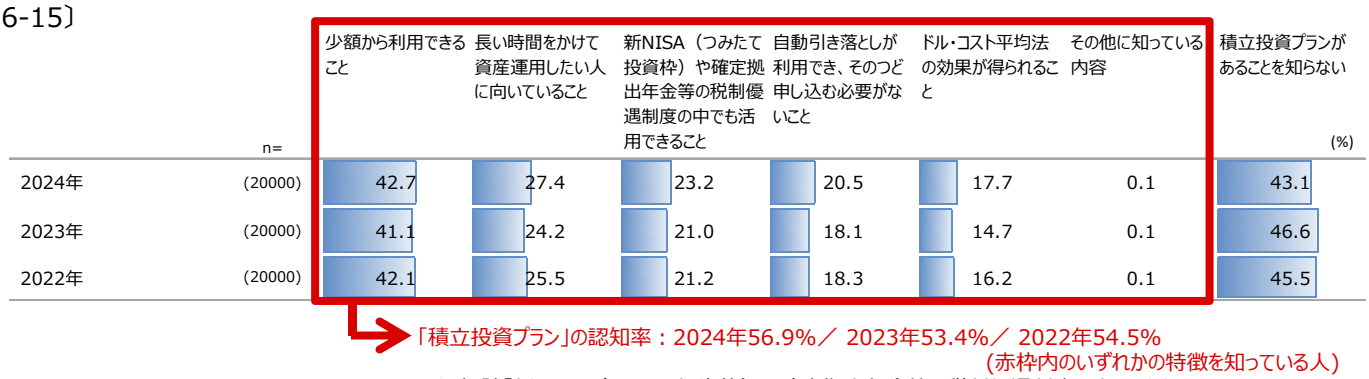


		n=	分配金を受け取ることで安心できるので	毎月利益を確定したいので	一部払戻し分配金で年金収入を補完する上で活用できる	毎月分配型投資信託の他に魅力的な商品がなかった	その他
							(%)
TOTAL		(1293)	63.2	47.3	29.5	7.0	0.8
毎月分配型投資信託 現在保有層 年代別	20代	(239)	59.0	46.0	31.4	7.5	0.0
	30代	(208)	63.9	50.5	25.5	6.7	0.0
	40代	(227)	64.8	44.5	34.4	11.5	1.3
	50代	(185)	64.3	48.6	24.3	6.5	1.1
	60代	(183)	63.4	55.7	27.9	4.4	0.5
	70代	(251)	64.1	41.0	31.5	5.2	1.6
2023年 TOTAL		(1198)	60.5	49.0	28.2	6.4	0.8
2022年 TOTAL		(1297)	61.9	48.1	29.0	6.9	0.5

6. 投資信託に関する認識

（4）積立投資プランの認知状況〔Q20:複数回答〕

〔図 6-15〕



「積立投資プラン」の認知率：2024年56.9%／ 2023年53.4%／ 2022年54.5%
(赤枠内のいずれかの特徴を知っている人)

※選択肢「新NISA（つみたて投資枠）や確定拠出年金等の税制優遇制度の中でも活用できること」は
2023年まで「つみたてNISA・確定拠出年金等の税制優遇制度でも活用できる」で聴取

〔図 6-16〕

			少額から利用できること	長い時間をかけて資産運用したい人に向いていること	新NISA（つみたて投資枠）や確定拠出年金等の税制優遇制度の中でも活用できること	自動引き落としが利用でき、そのつど申し込む必要がないこと	ドル・コスト平均法の効果が得られること	その他に知っている内容	積立投資プランがあることを知らない
TOTAL		(20000)	42.7	27.4	23.2	20.5	17.7	0.1	43.1
性別	男性	(9967)	44.3	30.1	25.8	23.3	24.0	0.1	39.1
	女性	(10033)	41.1	24.7	20.6	17.7	11.4	0.1	47.1
年代別	20代	(2622)	37.7	22.4	21.3	17.2	17.5	0.1	43.3
	30代	(2912)	39.9	26.4	22.8	19.4	21.4	0.0	45.1
	40代	(3775)	41.7	27.1	23.4	20.8	21.0	0.0	43.4
	50代	(3846)	42.3	26.9	23.1	21.0	18.2	0.0	44.3
	60代	(3262)	46.1	29.2	23.7	22.0	17.2	0.2	41.5
	70代	(3583)	47.1	31.0	24.2	21.5	11.1	0.1	41.2
世帯年収別	100万円未満	(934)	30.6	17.0	14.3	12.0	10.0	0.0	57.0
	～300万円未満	(3261)	42.5	24.7	19.7	17.0	12.1	0.1	46.6
	～500万円未満	(4347)	45.5	29.4	23.9	22.0	18.2	0.1	40.1
	～1000万円未満	(5745)	48.6	32.9	28.1	25.3	23.6	0.0	33.4
	1000万円以上	(1821)	52.4	38.9	34.5	31.3	31.4	0.1	27.6

〔図 6-17〕

				少額から利用できること	長い時間をかけて資産運用したい人に向いていること	新NISA（つみたて投資枠）や確定拠出年金等の税制優遇制度の中でも活用できること	自動引き落としが利用でき、そのつど申し込む必要がないこと	ドル・コスト平均法の効果が得られること	その他に知っている内容	積立投資プランがあることを知らない
TOTAL			(20000)	42.7	27.4	23.2	20.5	17.7	0.1	43.1
投資信託保有状況別	保有層・保有経験層	現在保有層	(5746)	67.1	52.2	44.2	42.8	40.9	0.1	9.6
		保有経験層(現在非保有)	(1549)	56.6	39.0	28.5	25.4	23.5	0.1	21.4
	保有未経験層	金融資産保有経験有	(2545)	42.5	25.0	21.5	16.7	12.3	0.1	45.5
		金融資産保有経験無	(10160)	26.9	12.2	10.9	8.1	5.0	0.0	64.8

6. 投資信託に関する認識

（5）運用会社選択の際に重視する点〔Q17:複数回答〕

〔図 6-18〕

	n=	運用実績・成績が高い	知名度が高い	資本力が大きい	運用体制が充実している	提供している資料や情報が分かりやすく充実している	アフターサービスが充実している	顧客対応が公平である	商品開発力がある	倫理観が高い	販売会社などのグループ企業である	販売会社を通さずに、直接購入できる	ESG・SDGsに力を入れている	販売会社の系列ではなく、独立系企業である	外資系企業である	その他	わからない・特にない
																	(%)
2024年	(20000)	36.8	22.9	21.6	18.8	12.3	10.3	9.7	8.0	7.8	4.8	3.7	1.9	1.9	1.8	0.2	42.9
2023年	(20000)	34.7	22.7	20.6	17.8	12.6	10.6	9.5	7.2	7.3	4.5	3.6	1.8	1.6	1.7	0.3	45.9
2022年	(20000)	36.8	22.1	21.1	19.4	12.8	10.9	10.5	8.0	8.0	4.5	3.8	2.2	1.8	1.6	0.2	44.2

〔図 6-19〕

TOTAL		(20000)	36.8	22.9	21.6	18.8	12.3	10.3	9.7	8.0	7.8	4.8	3.7	1.9	1.9	1.8	0.2	42.9
性別	男性	(9967)	38.8	22.8	22.9	18.8	11.6	8.7	9.5	8.9	8.6	4.5	3.9	1.8	2.3	2.0	0.3	39.3
	女性	(10033)	34.7	22.9	20.4	18.8	12.9	11.9	10.0	7.0	7.0	5.0	3.4	2.0	1.4	1.6	0.1	46.5
年代別	20代	(2622)	28.5	28.3	22.8	17.1	9.7	9.6	7.1	6.4	7.7	4.2	3.1	2.6	2.4	3.5	0.1	43.2
	30代	(2912)	34.7	26.0	22.8	18.1	11.8	9.4	7.6	6.6	7.4	4.1	3.5	1.8	1.8	2.5	0.1	44.2
	40代	(3775)	36.8	24.2	22.3	19.3	12.3	12.6	9.4	8.3	8.4	5.0	3.7	2.3	2.1	1.8	0.2	41.5
	50代	(3846)	38.8	19.3	20.1	20.0	12.2	10.6	9.9	7.4	7.8	3.8	3.5	1.5	1.4	1.3	0.2	42.8
	60代	(3262)	39.6	19.8	20.8	18.2	12.4	10.1	11.5	8.4	8.0	4.4	3.4	1.5	1.6	1.1	0.3	43.4
	70代	(3583)	39.8	21.5	21.6	19.5	14.4	9.0	12.1	9.9	7.4	6.8	4.5	1.8	1.9	1.1	0.3	42.9
世帯年収別	100万円未満	(934)	23.8	19.5	15.3	13.0	8.4	8.6	7.5	4.5	6.4	3.1	2.9	2.0	1.0	1.5	0.1	55.2
	～300万円未満	(3261)	33.8	20.6	19.6	16.7	12.7	10.2	10.4	6.7	7.3	4.6	3.5	1.6	1.6	1.3	0.2	47.6
	～500万円未満	(4347)	39.2	25.4	23.1	20.6	13.2	10.9	10.8	8.7	8.1	5.2	3.6	1.8	1.7	1.6	0.2	39.5
	～1000万円未満	(5745)	43.8	27.1	25.6	21.6	13.3	11.5	10.2	9.6	8.8	5.5	4.5	2.2	2.6	2.5	0.2	32.7
	1000万円以上	(1821)	46.6	25.3	27.8	25.4	14.9	11.2	11.0	14.0	11.0	5.7	5.3	3.7	3.2	2.5	0.4	27.0

〔図 6-20〕

TOTAL			(20000)	36.8	22.9	21.6	18.8	12.3	10.3	9.7	8.0	7.8	4.8	3.7	1.9	1.9	1.8	0.2	42.9
投資信託保有状況別	保有層・保有経験層	現在保有層	(5746)	51.2	30.8	32.2	24.6	15.1	8.4	8.8	12.6	7.5	6.9	5.0	2.8	2.9	2.9	0.4	18.4
		保有経験層(現在非保有)	(1549)	51.5	26.2	24.9	21.4	14.8	9.4	10.4	10.5	6.9	7.0	5.1	1.4	2.5	1.9	0.3	23.2
	保有未経験層	金融資産保有経験有	(2545)	43.3	23.6	23.9	22.2	15.7	12.7	14.1	9.3	11.7	4.4	4.5	2.3	1.4	1.1	0.3	40.9
		金融資産保有経験無	(10160)	24.8	17.7	14.6	14.3	9.4	10.9	9.0	4.6	7.1	3.3	2.4	1.3	1.3	1.3	0.1	60.3

6. 投資信託に関する認識

（6）コストの特徴認知〔Q24:複数回答〕

〔図 6-21〕

	n=	購入時手数料				運用管理費用		信託財産留保額			色々なコストがあり、内容がよくわからない／この中で知っているものはない
		投資信託を購入するときに、購入時手数料がかかる	購入時手数料は証券会社・銀行等の販売会社に支払われる	購入時手数料がかからない投資信託がある（ノーロードファンド）	販売会社によって購入時手数料が異なる場合がある	投資信託の保有中、運用管理費用（信託報酬）がかかる	運用管理費用（信託報酬）は投資信託財産から日々差し引かれる	解約時に信託財産留保額がかかる投資信託がある	信託財産留保額はファンドの運用の安定性確保、短期間での換金を抑制することを目的に徴収され、信託財産に留保される	信託財産留保額は販売会社や運用会社などが受け取る手数料ではない	
		(%)									
2024年	(20000)	38.3	20.2	19.0	18.4	21.9	12.0	10.5	6.6	4.6	49.1
2023年	(20000)	36.7	18.1	16.7	16.4	19.4	10.7	9.4	5.6	4.1	50.9
2022年	(20000)	40.3	21.1	19.0	18.5	22.5	12.5	11.5	7.3	4.9	48.0

※選択肢「信託財産留保額はファンドの運用の安定性確保、短期間での換金を抑制することを目的に徴収され、信託財産に留保される」は2022年「信託財産留保額は換金事務手数料を賄う意味で徴収、信託財産に留保される」で聴取

〔図 6-22〕

			購入時手数料				運用管理費用		信託財産留保額			色々なコストがあり、内容がよくわからない／この中で知っているものはない
			投資信託を購入するときに、購入時手数料がかかる	購入時手数料は証券会社・銀行等の販売会社に支払われる	購入時手数料がかからない投資信託がある（ノーロードファンド）	販売会社によって購入時手数料が異なる場合がある	投資信託の保有中、運用管理費用（信託報酬）がかかる	運用管理費用（信託報酬）は投資信託財産から日々差し引かれる	解約時に信託財産留保額がかかる投資信託がある	信託財産留保額はファンドの運用の安定性確保、短期間での換金を抑制することを目的に徴収され、信託財産に留保される	信託財産留保額は販売会社や運用会社などが受け取る手数料ではない	
TOTAL		(20000)	38.3	20.2	19.0	18.4	21.9	12.0	10.5	6.6	4.6	49.1
性別	男性	(9967)	42.2	24.1	24.2	21.0	27.2	15.4	13.3	9.1	6.2	42.9
	女性	(10033)	34.4	16.4	13.7	15.8	16.7	8.7	7.8	4.2	2.9	55.3
年代別	20代	(2622)	25.2	14.0	17.0	13.0	15.1	8.9	7.5	7.2	4.5	55.8
	30代	(2912)	31.6	16.1	22.0	15.5	18.7	11.5	9.0	6.5	5.2	54.1
	40代	(3775)	35.1	19.0	20.6	18.2	21.3	12.6	9.9	7.2	4.3	50.4
	50代	(3846)	38.4	20.2	19.2	19.3	22.7	12.1	11.0	6.5	4.7	49.5
	60代	(3262)	45.8	24.0	19.9	20.8	25.0	13.4	12.4	6.6	4.7	44.6
	70代	(3583)	49.5	26.0	15.0	21.7	26.5	12.7	12.4	6.0	4.3	42.6
世帯年収別	100万円未満	(934)	24.4	11.7	11.7	11.2	12.3	6.9	5.6	3.0	2.8	65.6
	～300万円未満	(3261)	38.5	18.1	14.1	15.7	19.9	9.3	8.8	4.4	3.0	52.3
	～500万円未満	(4347)	41.6	21.7	19.1	19.2	23.1	12.5	10.9	6.4	4.6	45.6
	～1000万円未満	(5745)	43.6	24.2	24.7	22.0	26.2	14.7	12.3	8.5	5.7	39.8
	1000万円以上	(1821)	51.5	32.9	32.6	30.4	35.3	21.9	19.8	14.5	10.5	29.3

〔図 6-23〕

			購入時手数料				運用管理費用		信託財産留保額			色々なコストがあり、内容がよくわからない／この中で知っているものはない
			投資信託を購入するときに、購入時手数料がかかる	購入時手数料は証券会社・銀行等の販売会社に支払われる	購入時手数料がかからない投資信託がある（ノーロードファンド）	販売会社によって購入時手数料が異なる場合がある	投資信託の保有中、運用管理費用（信託報酬）がかかる	運用管理費用（信託報酬）は投資信託財産から日々差し引かれる	解約時に信託財産留保額がかかる投資信託がある	信託財産留保額はファンドの運用の安定性確保、短期間での換金を抑制することを目的に徴収され、信託財産に留保される	信託財産留保額は販売会社や運用会社などが受け取る手数料ではない	
TOTAL		(20000)	38.3	20.2	19.0	18.4	21.9	12.0	10.5	6.6	4.6	49.1
投資信託保有状況別	保有層・保有経験層	(7295)	62.4	38.6	39.9	33.3	43.5	24.7	21.5	13.6	9.6	17.1
	現在保有層	(5746)	63.0	39.5	43.7	35.0	46.2	26.8	22.8	14.9	10.5	15.8
	保有経験層（現在非保有）	(1549)	60.2	35.1	26.1	26.9	33.3	17.1	16.6	8.8	6.2	22.0
	保有未経験層	(12705)	24.4	9.7	6.9	9.8	9.6	4.7	4.2	2.6	1.7	67.5
	金融資産保有経験有	(2545)	40.0	17.2	10.6	17.0	18.1	8.3	7.6	3.5	2.3	51.0
	金融資産保有経験無	(10160)	20.5	7.8	6.0	8.0	7.4	3.8	3.4	2.4	1.6	71.7

7. 投資意識

【サマリー】

①ESG･SDGs関連への投資意向(Q28)

・全体では、「『医療・福祉の充実』に取り組む企業」、「『環境問題の改善』に取り組む企業」、「『再生エネルギーの普及』に取り組む企業」の順に高く、いずれも2割強。一方、「購入したいと思うものはない」が約半数を占める。(図7-1)

・ 年代別では、「『貧困・飢餓問題』に取り組む企業」、「『教育格差の是正』に取り組む企業」、「『ジェンダーフリー・女性活躍の推進』に取り組む企業」、「『働き方改革』に取り組む企業」は、若年層ほど高い傾向。「『環境問題の改善』に取り組む企業」、「『再生エネルギーの普及』に取り組む企業」は、高齢層ほど高い傾向。(図7-2)

②お金の話についてふれた機会(Q29①)

・全体では「動画サイト（YouTube等）の動画配信」（14.9%）が最も高く、「勤め先の企業での確定拠出年金の導入／継続／教育」（12.4%）。「金融機関が主催のセミナー」（7.7%）、「専門家（ファイナンシャルプランナー等）への個別相談」（6.4%）など続く。(図7-4)

・全体では、「お金の話にふれたことがある計」は3割半。若年層ほど「お金の話にふれたことがある計」が高い。(図7-6)

・年代別では、20代は「高校や大学での講義（13.7%）、20～30代は「動画サイト（YouTube等）の動画配信」が20%台、70代は「金融機関が主催のセミナー」（13.0%）が他の年代より高い。(図7-6)

・お金の話にふれたことがある計は、関東、近畿がやや高く、北海道・東北、中国・四国・九州がやや低い傾向。投資信託の現在保有率(Q2)は、お金の話にふれたことがある計と比例している。(図3-3、図7-5)

③最も良いと思う金融教育(Q29②)

・お金について触れた機会がある人の中で、全体では「動画サイト（YouTube等）の動画配信」（29.4%）で最も高く、「勤め先の企業での確定拠出年金の導入／継続／教育」（18.8%）が続く。(図7-8)

④知りたいテーマ(Q30①)

・全体では「NISA」が3割で最も高く、２位以下の「今後の経済動向」「投資する商品の選び方・資産配分の方法」「商品売買のタイミング」（いずれも1割台）と大きく差がついている。(図7-11)

・20～40代では「NISA」が３割～4割台、「iDeCo（個人型確定拠出年金）／iDeCo＋」が2割程度と、他の年代に比べて高い。「今後の経済動向」「投資する商品の選び方・資産配分の方法」「商品売買のタイミング」は、年代問わず、知りたいテーマにあがっている。(図7-12)

7. 投資意識

（1）ESG･SDGs関連への投資意向〔Q28:複数回答〕

〔図 7-1〕

	n=	「医療･福祉の充実」に取り組む企業	「環境問題の改善」に取り組む企業	「再生エネルギーの普及」に取り組む企業	「貧困･飢餓問題」に取り組む企業	「働き方改革」に取り組む企業	「教育格差の是正」に取り組む企業	「ジェンダーフリー･女性活躍の推進」に取り組む企業	その他	購入したいと思うものはない
										(%)
2024年	(20000)	23.8	23.2	22.4	15.3	12.4	11.2	9.1	0.2	51.4
2023年	(20000)	25.0	23.9	22.9	17.5	13.8	12.2	9.8	0.3	49.0
2022年	(20000)	26.1	26.4	24.7	17.3	－	12.8	10.6	0.2	50.1

※選択肢「「働き方改革」に取り組む企業」は2023年より聴取

〔図 7-2〕

		n=	「医療･福祉の充実」に取り組む企業	「環境問題の改善」に取り組む企業	「再生エネルギーの普及」に取り組む企業	「貧困･飢餓問題」に取り組む企業	「働き方改革」に取り組む企業	「教育格差の是正」に取り組む企業	「ジェンダーフリー･女性活躍の推進」に取り組む企業	その他	購入したいと思うものはない
TOTAL		(20000)	23.8	23.2	22.4	15.3	12.4	11.2	9.1	0.2	51.4
性別	男性	(9967)	22.2	21.3	22.6	14.5	12.0	11.9	8.2	0.2	51.8
	女性	(10033)	25.3	25.0	22.2	16.1	12.7	10.5	10.0	0.3	51.0
年代別	20代	(2622)	21.8	17.1	16.4	17.4	18.3	16.2	14.6	0.1	46.8
	30代	(2912)	24.1	19.4	18.4	17.4	16.5	13.4	10.9	0.2	50.9
	40代	(3775)	24.1	23.3	21.9	17.1	13.3	13.8	10.8	0.2	48.5
	50代	(3846)	22.5	23.0	22.2	13.8	10.7	8.9	7.2	0.2	53.0
	60代	(3262)	23.3	25.4	25.1	12.7	9.0	8.0	7.0	0.4	54.8
	70代	(3583)	26.4	28.6	28.2	14.2	8.7	8.4	6.0	0.4	53.3
世帯年収別	100万円未満	(934)	17.5	17.1	14.1	13.8	9.6	7.6	7.5	0.5	61.9
	～300万円未満	(3261)	23.1	22.3	21.4	15.9	11.4	9.3	8.2	0.3	54.1
	～500万円未満	(4347)	26.6	25.5	23.9	16.4	13.3	11.7	8.9	0.2	48.9
	～1000万円未満	(5745)	27.5	26.1	26.1	16.8	14.5	14.2	11.3	0.2	42.6
	1000万円以上	(1821)	28.0	30.4	29.2	17.9	14.8	15.5	13.0	0.0	39.4

〔図 7-3〕

			n=	「医療･福祉の充実」に取り組む企業	「環境問題の改善」に取り組む企業	「再生エネルギーの普及」に取り組む企業	「貧困･飢餓問題」に取り組む企業	「働き方改革」に取り組む企業	「教育格差の是正」に取り組む企業	「ジェンダーフリー･女性活躍の推進」に取り組む企業	その他	購入したいと思うものはない
TOTAL			(20000)	23.8	23.2	22.4	15.3	12.4	11.2	9.1	0.2	51.4
投資信託保有状況別	保有層･保有経験層	現在保有層	(5746)	33.6	34.5	34.4	20.1	15.2	16.9	12.8	0.2	33.7
		保有経験層(現在非保有)	(1549)	29.1	29.1	29.2	15.0	9.8	11.6	9.3	0.5	42.5
	保有未経験層	金融資産保有経験有	(2545)	22.5	25.0	25.0	14.8	12.2	9.9	7.9	0.2	51.6
		金融資産保有経験無	(10160)	17.7	15.3	13.9	12.7	11.2	8.3	7.3	0.2	62.7

7. 投資意識

（2）お金の話についてふれた機会〔Q29①:複数回答〕

〔図 7-4〕

		動画サイト(YouTube等)の動画配信	勤め先の企業での確定拠出年金の導入/継続/教育	金融機関が主催のセミナー	専門家（ファイナンシャルプランナー等）への個別相談	勤め先の企業が行った資産運用セミナー	高校や大学での講義	金融機関以外が主催のセミナー	その他	あてはまるものはない／お金の話にふれたことがない	お金の話にふれたことがある計
											(%)
2024年	(20000)	14.9	12.4	7.7	6.4	5.8	4.8	4.4	0.7	65.5	34.5
2023年	(20000)	13.7	13.5	6.7	6.1	5.9	5.0	3.9	0.7	65.8	34.2
2022年	(20000)	–	13.4	8.4	8.4	–	5.9	5.3	1.1	71.9	28.1

※選択肢「勤め先の企業が行った資産運用セミナー（確定拠出年金に関する内容を除く）」「動画サイト（YouTube等）の動画配信」は、2023年より聴取
※「専門家（ファイナンシャルプランナー等）への個別相談」は、2022年「ファイナンシャルプランナー（FP）への相談」で聴取

〔図 7-5〕

			動画サイト(YouTube等)の動画配信	勤め先の企業での確定拠出年金の導入/継続/教育	金融機関が主催のセミナー	専門家（ファイナンシャルプランナー等）への個別相談	勤め先の企業が行った資産運用セミナー	高校や大学での講義	金融機関以外が主催のセミナー	その他	あてはまるものはない／お金の話にふれたことがない	お金の話にふれたことがある計
TOTAL		(20000)	14.9	12.4	7.7	6.4	5.8	4.8	4.4	0.7	65.5	34.5
エリア別	北海道・東北	(2397)	13.1	11.0	5.5	4.0	5.0	4.1	3.6	0.9	69.0	31.0
	関東	(7313)	15.6	14.0	8.6	6.9	6.7	5.2	4.9	0.8	63.4	36.6
	中部・北陸	(3578)	13.7	12.6	7.1	6.3	5.5	4.0	4.1	0.5	66.6	33.4
	近畿	(3234)	15.0	12.1	8.5	7.3	6.1	5.4	5.1	0.5	64.7	35.3
	中国・四国・九州	(3478)	15.7	10.0	7.1	6.3	4.7	4.4	3.5	0.5	67.3	32.7

〔図 7-6〕

			動画サイト(YouTube等)の動画配信	勤め先の企業での確定拠出年金の導入/継続/教育	金融機関が主催のセミナー	専門家（ファイナンシャルプランナー等）への個別相談	勤め先の企業が行った資産運用セミナー	高校や大学での講義	金融機関以外が主催のセミナー	その他	あてはまるものはない／お金の話にふれたことがない	お金の話にふれたことがある計
TOTAL		(20000)	14.9	12.4	7.7	6.4	5.8	4.8	4.4	0.7	65.5	34.5
性別	男性	(9967)	17.7	16.8	8.7	6.7	8.4	6.1	5.1	0.7	59.4	40.6
	女性	(10033)	12.1	7.9	6.7	6.1	3.3	3.5	3.7	0.7	71.6	28.4
年代別	20代	(2622)	20.5	16.5	5.1	7.6	8.0	13.7	4.4	0.5	54.3	45.7
	30代	(2912)	20.1	15.3	5.3	6.9	7.0	6.0	3.7	0.9	61.0	39.0
	40代	(3775)	17.4	12.9	6.2	7.4	6.1	4.6	4.2	0.6	64.7	35.3
	50代	(3846)	13.5	12.2	6.7	5.2	5.4	2.6	4.8	0.7	68.4	31.6
	60代	(3262)	12.0	10.6	9.0	6.4	5.2	2.3	4.5	0.8	68.9	31.1
	70代	(3583)	7.9	8.1	13.0	5.3	4.2	1.9	4.6	0.6	72.1	27.9
世帯年収別	100万円未満	(934)	11.1	8.5	3.5	3.2	3.1	5.0	2.4	0.5	74.8	25.2
	～300万円未満	(3261)	12.5	7.8	6.6	4.2	3.1	3.3	3.0	0.6	72.4	27.6
	～500万円未満	(4347)	15.9	11.4	8.7	6.3	5.0	5.0	4.2	0.7	64.0	36.0
	～1000万円未満	(5745)	18.4	17.5	9.4	9.0	8.9	5.7	5.5	0.7	56.0	44.0
	1000万円以上	(1821)	20.8	24.3	14.1	13.1	13.1	7.9	9.8	0.7	47.2	52.8

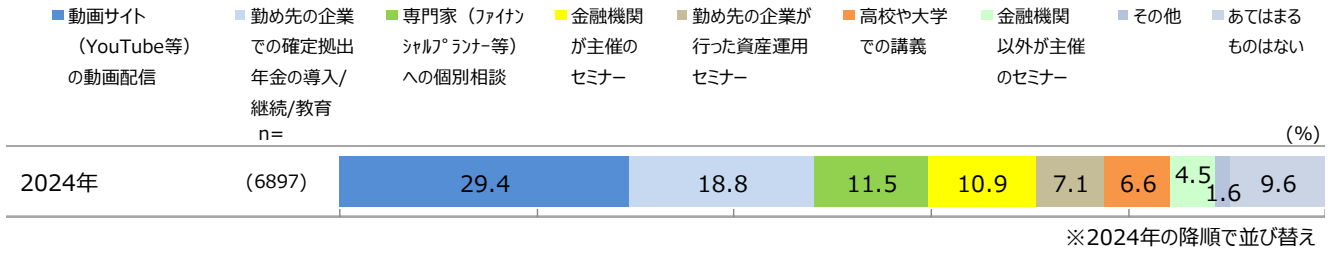
〔図 7-7〕

				動画サイト(YouTube等)の動画配信	勤め先の企業での確定拠出年金の導入/継続/教育	金融機関が主催のセミナー	専門家（ファイナンシャルプランナー等）への個別相談	勤め先の企業が行った資産運用セミナー	高校や大学での講義	金融機関以外が主催のセミナー	その他	あてはまるものはない／お金の話にふれたことがない	お金の話にふれたことがある計
TOTAL			(20000)	14.9	12.4	7.7	6.4	5.8	4.8	4.4	0.7	65.5	34.5
保有状況別投資信託	保有層・保有経験層	現在保有層	(5746)	28.2	21.6	16.8	13.1	11.5	6.7	9.5	1.0	39.8	60.2
		保有経験層(現在非保有)	(1549)	16.7	18.7	15.8	9.2	9.9	5.7	8.2	0.9	51.1	48.9
	保有未経験層	金融資産保有経験有	(2545)	15.1	11.4	5.3	4.8	4.2	4.6	3.3	1.1	67.3	32.7
		金融資産保有経験無	(10160)	7.0	6.4	2.0	2.6	2.4	3.5	1.2	0.3	81.8	18.2

7. 投資意識

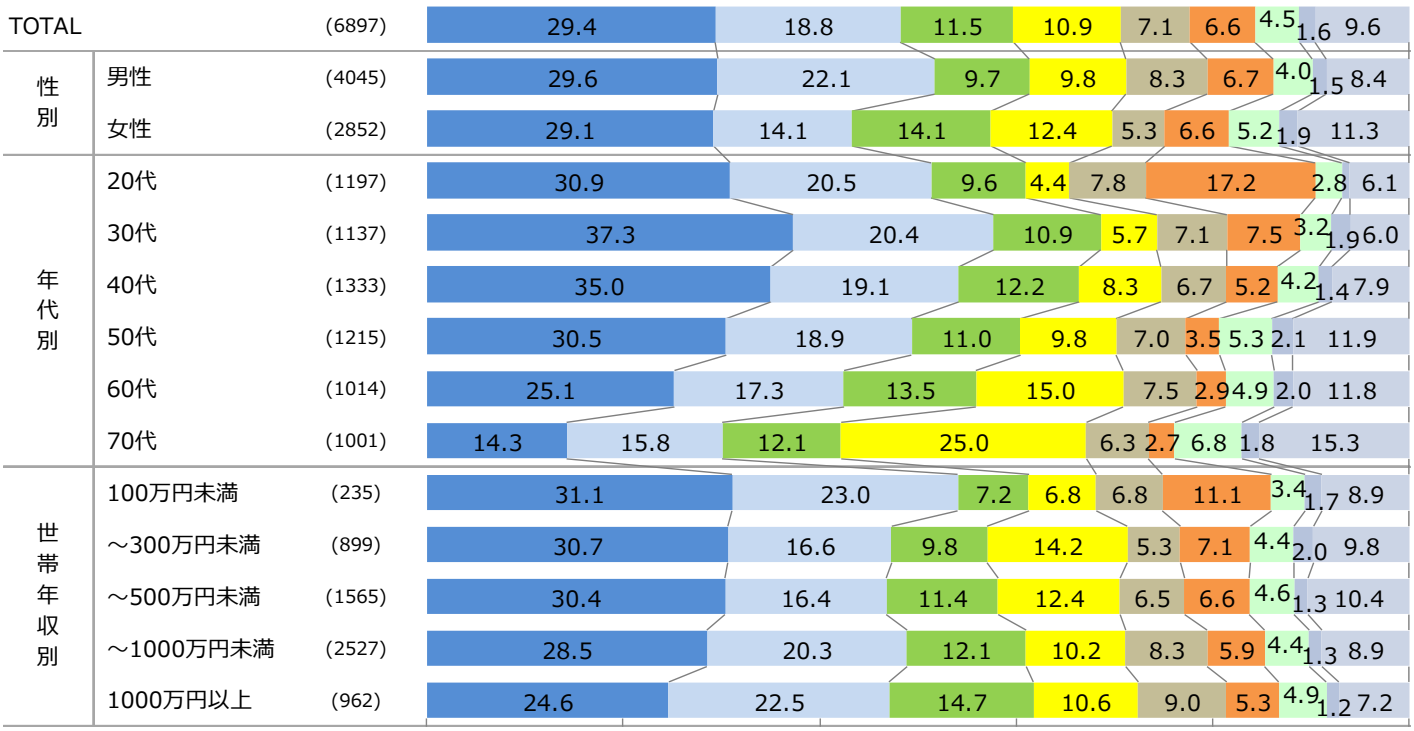
（3）最も良いと思う金融教育(金融教育経験者)〔Q29②:単数回答〕

〔図 7-8〕

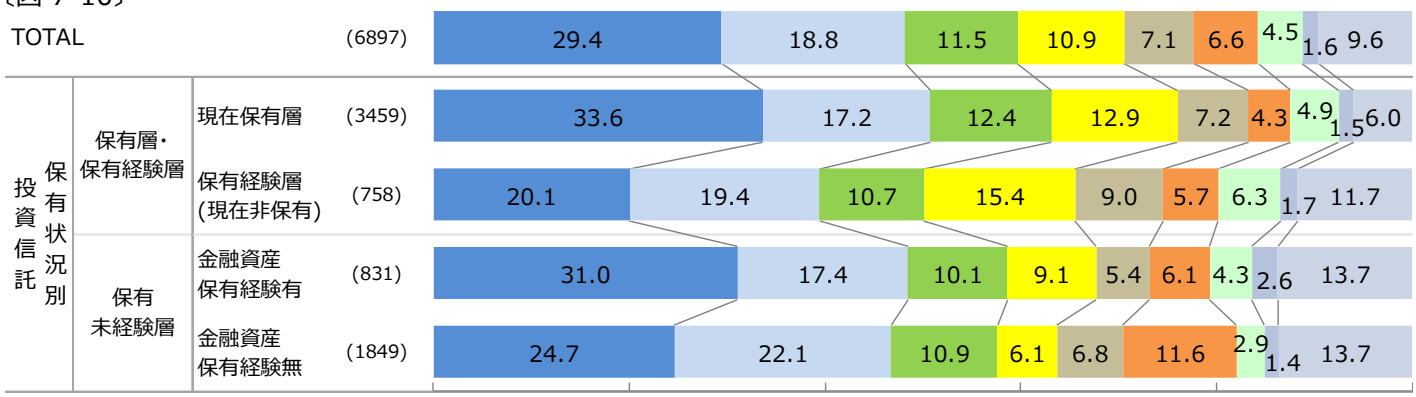


※2024年の降順で並び替え

〔図 7-9〕



〔図 7-10〕



※1%未満は非表示

7. 投資意識

（4）知りたいテーマ〔Q30①:複数回答〕

〔図 7-11〕

		NISA	今後の経済動向	投資する商品の選び方・資産配分の方法	商品売買のタイミング	iDeCo（個人型確定拠出年金）／iDeCo＋	税制優遇制度（NISA・iDeCoなど）の使い分け	定年後のライフプラン	資産の取り崩し方	一括投資と積立投資の違い	企業型DC（企業型確定拠出年金）	その他	あてはまるものはない／知りたいテーマはない
													(%)
2024年	(20000)	29.9	18.1	16.2	13.5	13.3	11.7	11.4	9.7	7.0	5.6	0.1	48.7

〔図 7-12〕

			NISA	今後の経済動向	投資する商品の選び方・資産配分の方法	商品売買のタイミング	iDeCo（個人型確定拠出年金）／iDeCo＋	税制優遇制度（NISA・iDeCoなど）の使い分け	定年後のライフプラン	資産の取り崩し方	一括投資と積立投資の違い	企業型DC（企業型確定拠出年金）	その他	あてはまるものはない／知りたいテーマはない
TOTAL		(20000)	29.9	18.1	16.2	13.5	13.3	11.7	11.4	9.7	7.0	5.6	0.1	48.7
性別	男性	(9967)	29.6	19.6	15.7	13.7	14.0	12.4	10.1	10.2	7.0	7.2	0.1	47.3
	女性	(10033)	30.1	16.6	16.7	13.4	12.7	10.9	12.7	9.2	7.1	4.0	0.1	50.2
年代別	20代	(2622)	41.5	16.4	14.1	12.8	20.3	15.5	9.8	8.2	8.6	9.4	0.1	43.3
	30代	(2912)	39.7	18.4	16.3	13.9	19.8	14.9	12.4	10.7	8.7	8.3	0.1	43.4
	40代	(3775)	34.6	18.3	17.1	14.7	18.4	14.4	12.8	10.3	8.8	8.2	0.1	44.5
	50代	(3846)	28.5	16.5	15.9	12.6	14.7	11.8	14.1	9.7	6.0	5.4	0.2	48.9
	60代	(3262)	21.8	18.4	16.6	13.0	5.3	6.9	12.2	10.3	5.0	1.9	0.2	53.3
	70代	(3583)	17.2	20.3	16.7	13.9	3.5	7.5	6.8	8.5	5.7	1.4	0.1	57.2
世帯年収別	100万円未満	(934)	22.3	10.8	10.6	8.9	8.2	8.5	5.4	6.3	5.1	2.4	0.1	63.2
	～300万円未満	(3261)	25.1	16.1	13.9	12.6	8.8	8.2	8.4	7.9	5.5	2.9	0.1	54.9
	～500万円未満	(4347)	31.4	20.2	17.3	14.1	12.9	11.3	10.5	10.3	7.2	4.3	0.1	45.9
	～1000万円未満	(5745)	37.4	21.2	19.6	16.3	18.2	15.7	15.6	11.6	9.0	8.6	0.1	37.2
	1000万円以上	(1821)	37.0	25.5	21.8	18.2	21.1	18.6	18.7	14.1	9.3	12.7	0.2	32.8

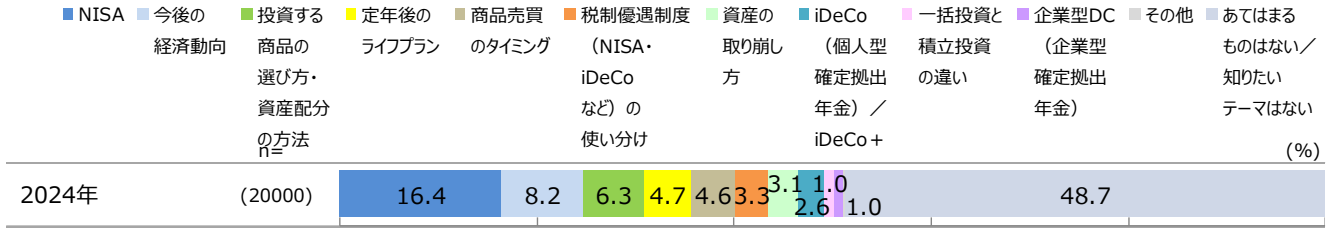
〔図 7-13〕

				NISA	今後の経済動向	投資する商品の選び方・資産配分の方法	商品売買のタイミング	iDeCo（個人型確定拠出年金）／iDeCo＋	税制優遇制度（NISA・iDeCoなど）の使い分け	定年後のライフプラン	資産の取り崩し方	一括投資と積立投資の違い	企業型DC（企業型確定拠出年金）	その他	あてはまるものはない／知りたいテーマはない
TOTAL			(20000)	29.9	18.1	16.2	13.5	13.3	11.7	11.4	9.7	7.0	5.6	0.1	48.7
投資信託保有状況別	保有層・保有経験層	現在保有層	(5746)	42.6	32.3	28.1	24.7	19.0	19.1	16.9	20.3	11.1	10.3	0.2	21.2
		保有経験層(現在非保有)	(1549)	28.2	26.2	19.2	17.8	10.8	11.9	13.6	11.4	7.7	6.0	0.1	40.0
	保有未経験層	金融資産保有経験有	(2545)	30.4	18.0	16.6	12.9	13.9	12.5	12.3	8.0	7.4	4.8	0.2	48.0
		金融資産保有経験無	(10160)	22.8	8.9	8.9	6.7	10.4	7.2	7.8	3.8	4.5	3.1	0.1	65.8

7. 投資意識

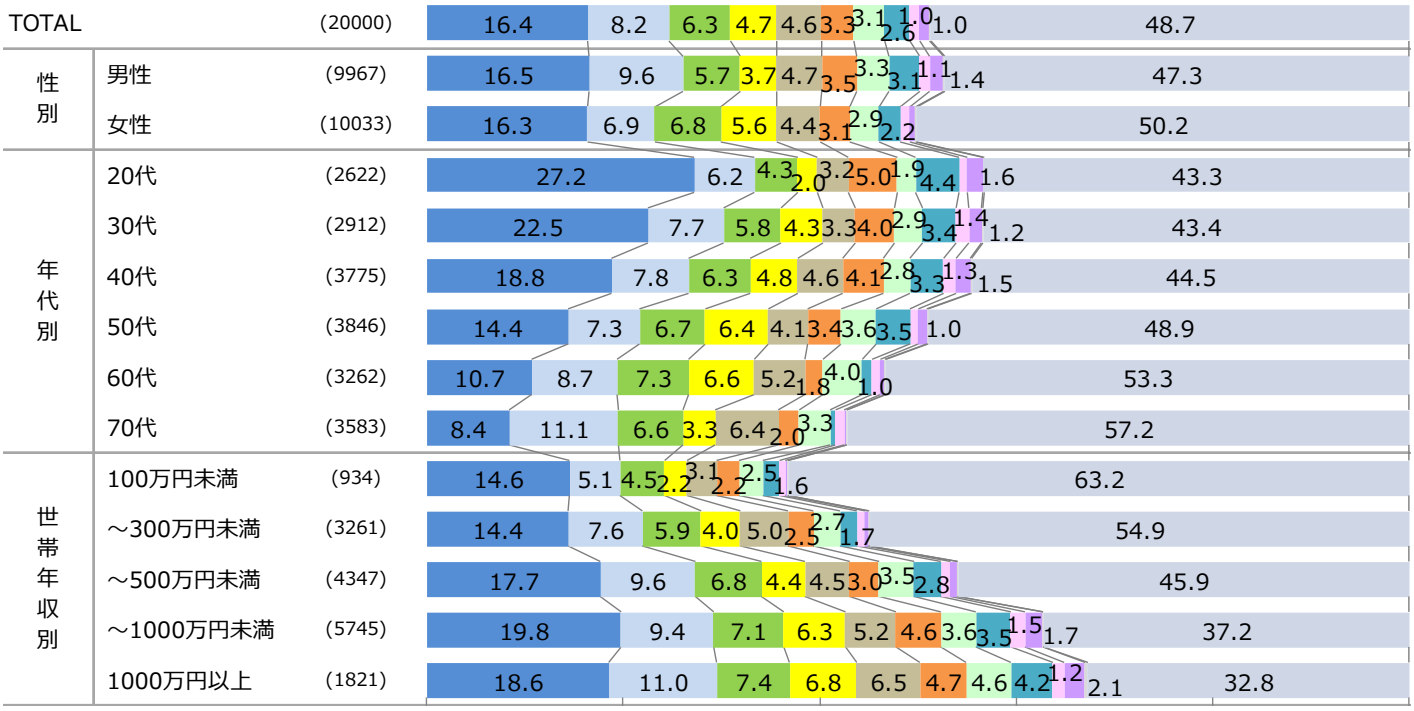
（5）一番知りたいテーマ〔Q30②:単数回答〕

〔図 7-14〕

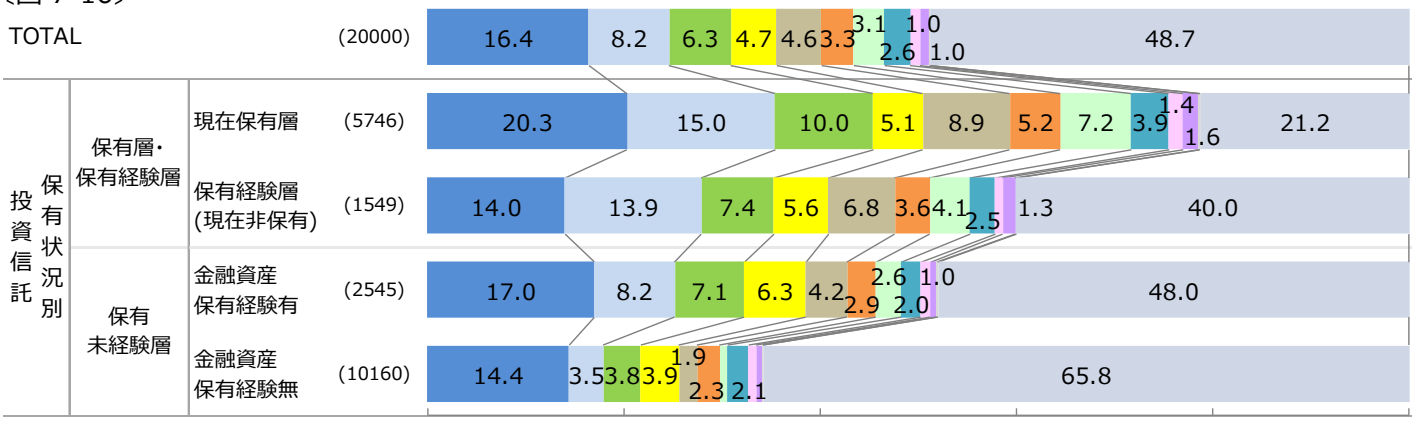


※2024年の降順で並び替え

〔図 7-15〕



〔図 7-16〕



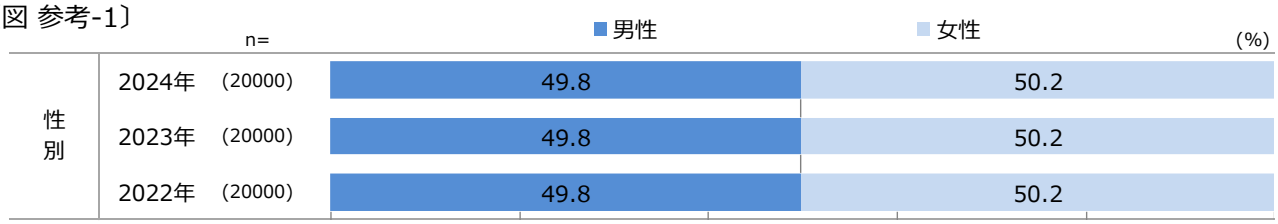
※1%未満は非表示

参考．回答者の属性

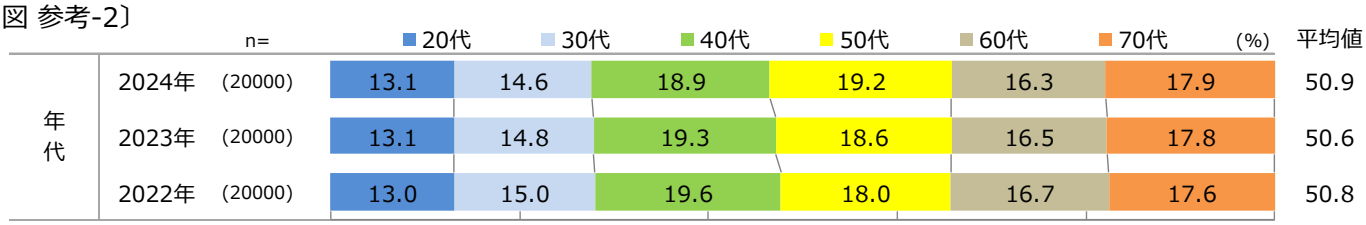
参考．回答者の属性

（1）性別・年代〔F1:単数回答・F2:自由記述回答〕

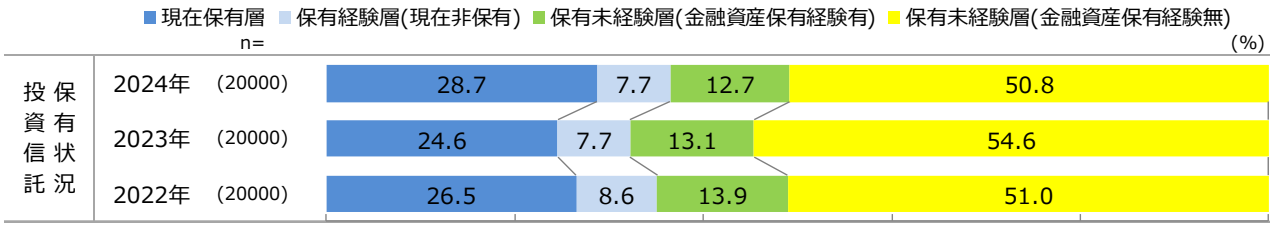
〔図 参考-1〕



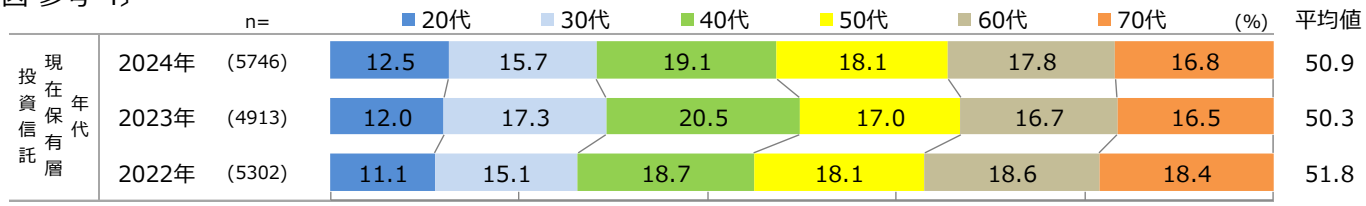
〔図 参考-2〕



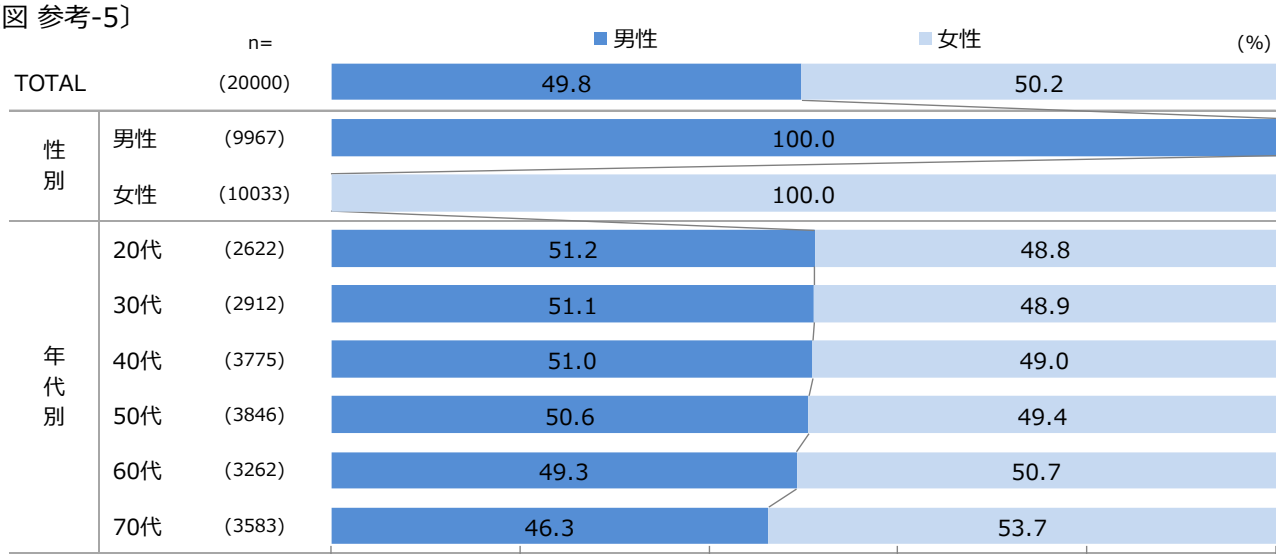
〔図 参考-3〕



〔図 参考-4〕



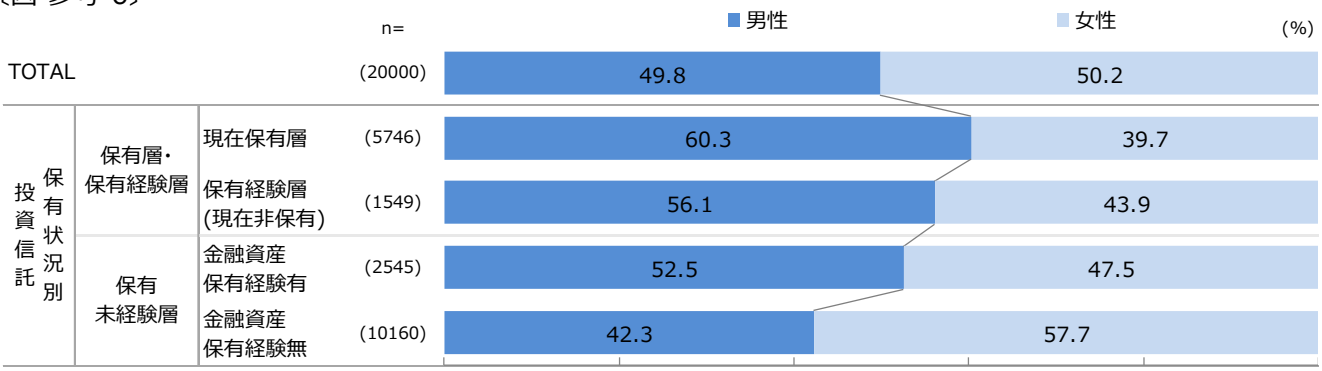
〔図 参考-5〕



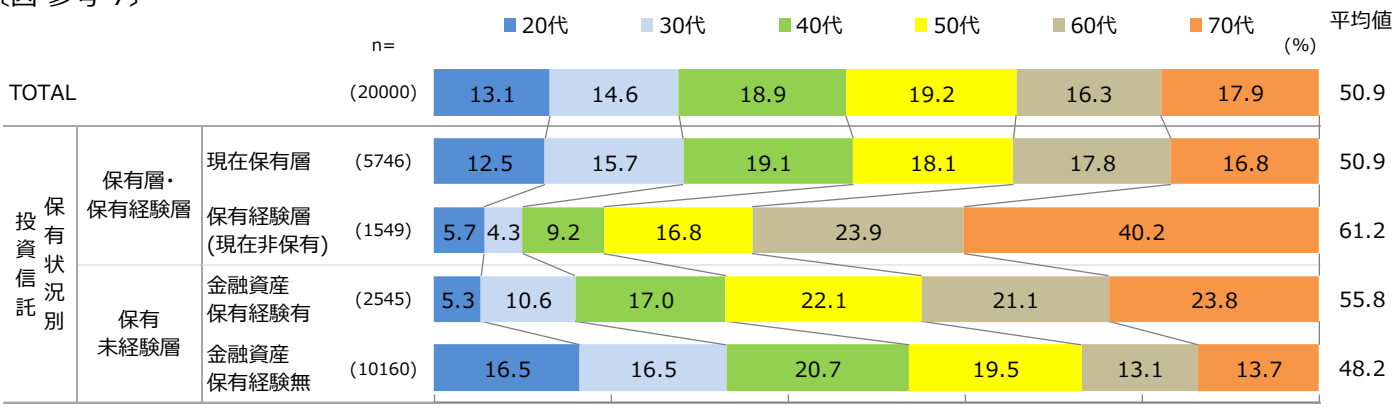
参考．回答者の属性

（1）性別・年代〔F1:単数回答・F2:自由記述回答〕

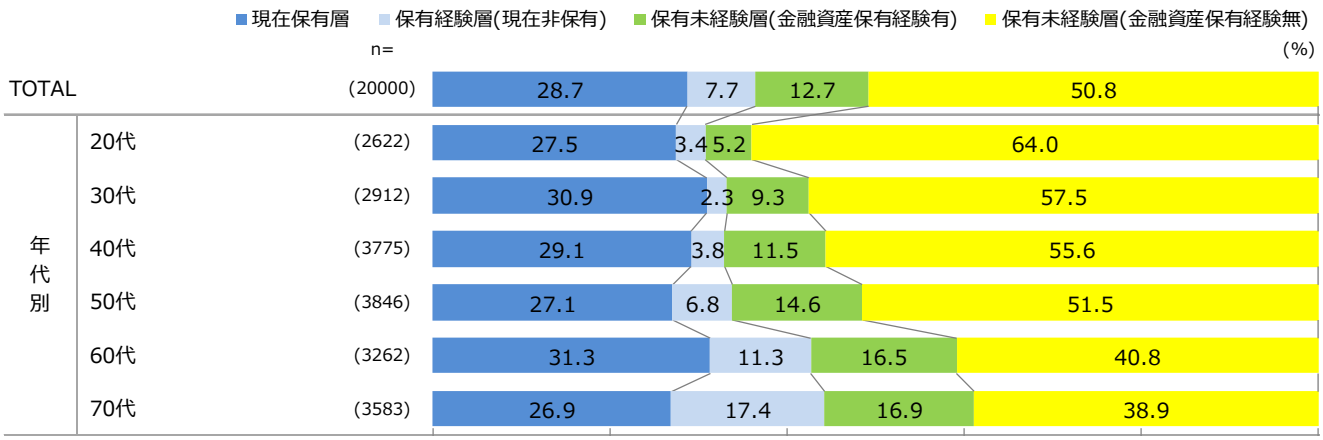
〔図 参考-6〕



〔図 参考-7〕



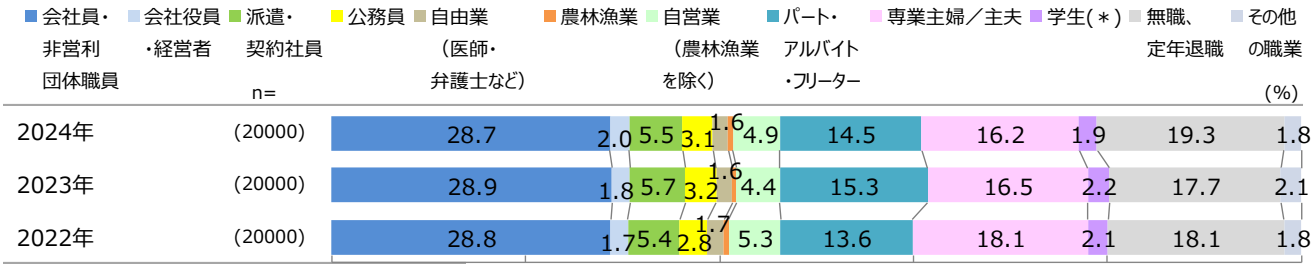
〔図 参考-8〕



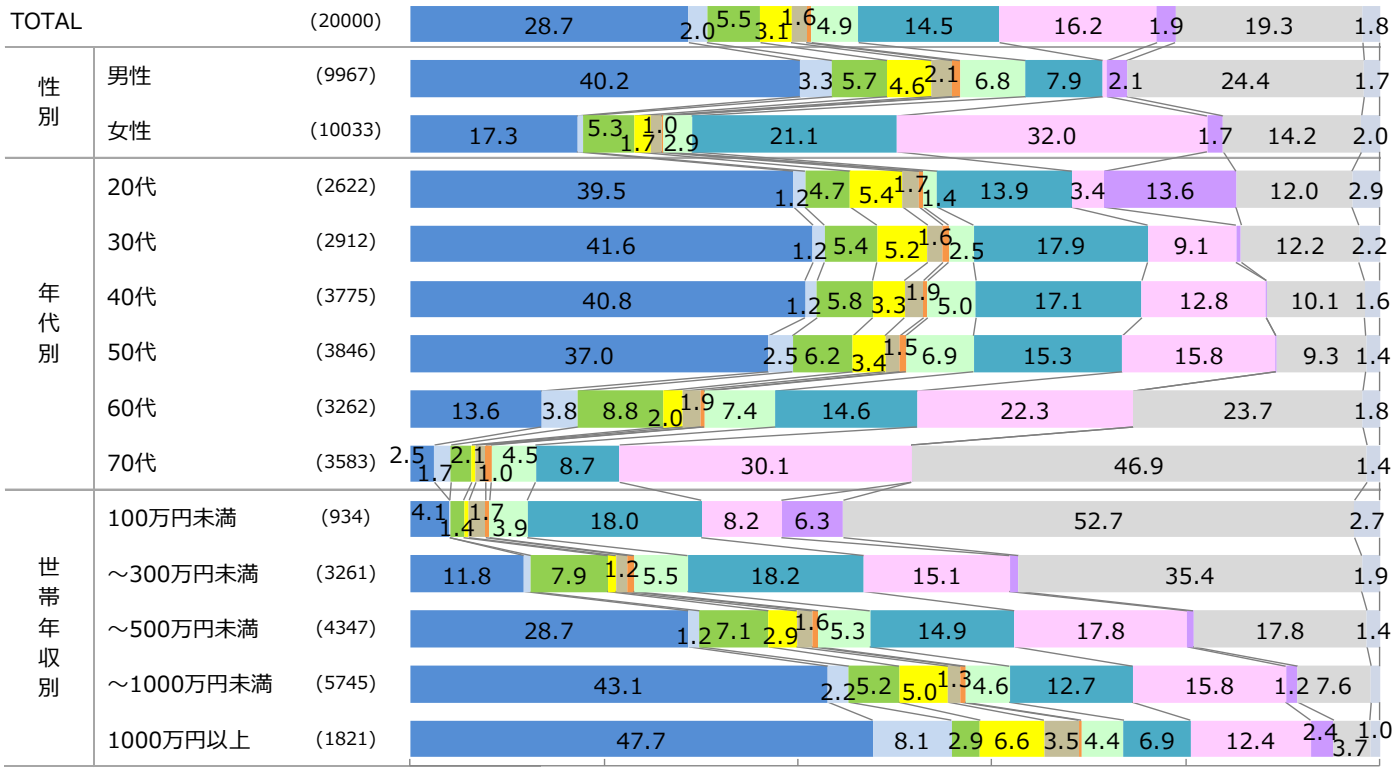
参考．回答者の属性

（2）職業〔F3:単数回答〕

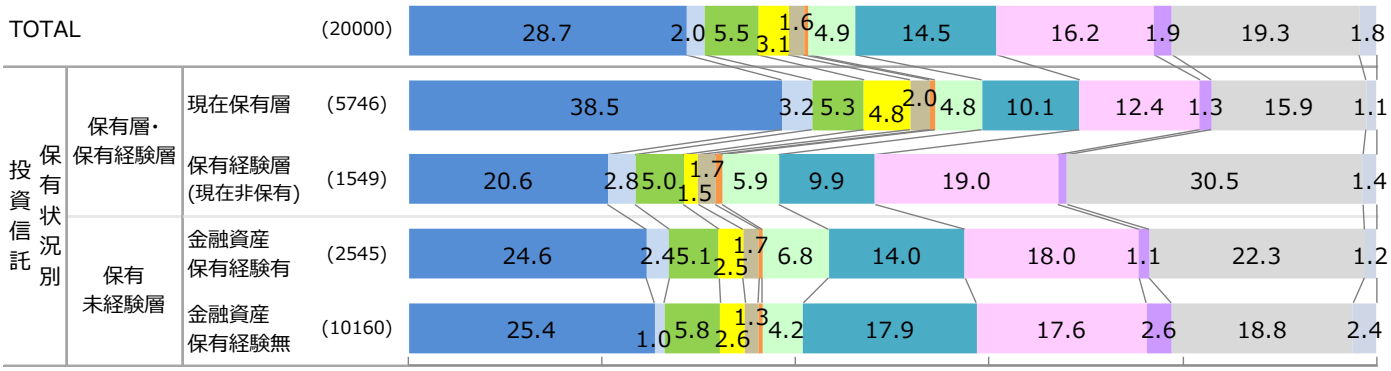
〔図 参考-9〕



〔図 参考-10〕



〔図 参考-11〕



※1%未満は非表示

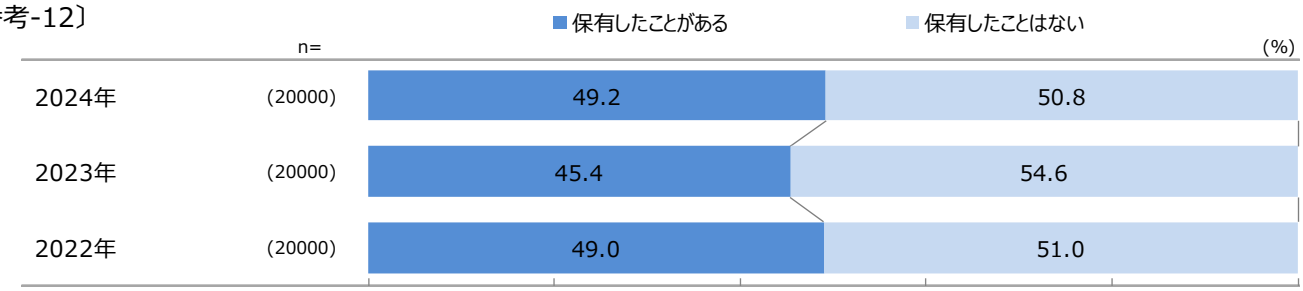
＊学生=大学生、大学院生、専門学校生、短大生、予備校生

参考．回答者の属性

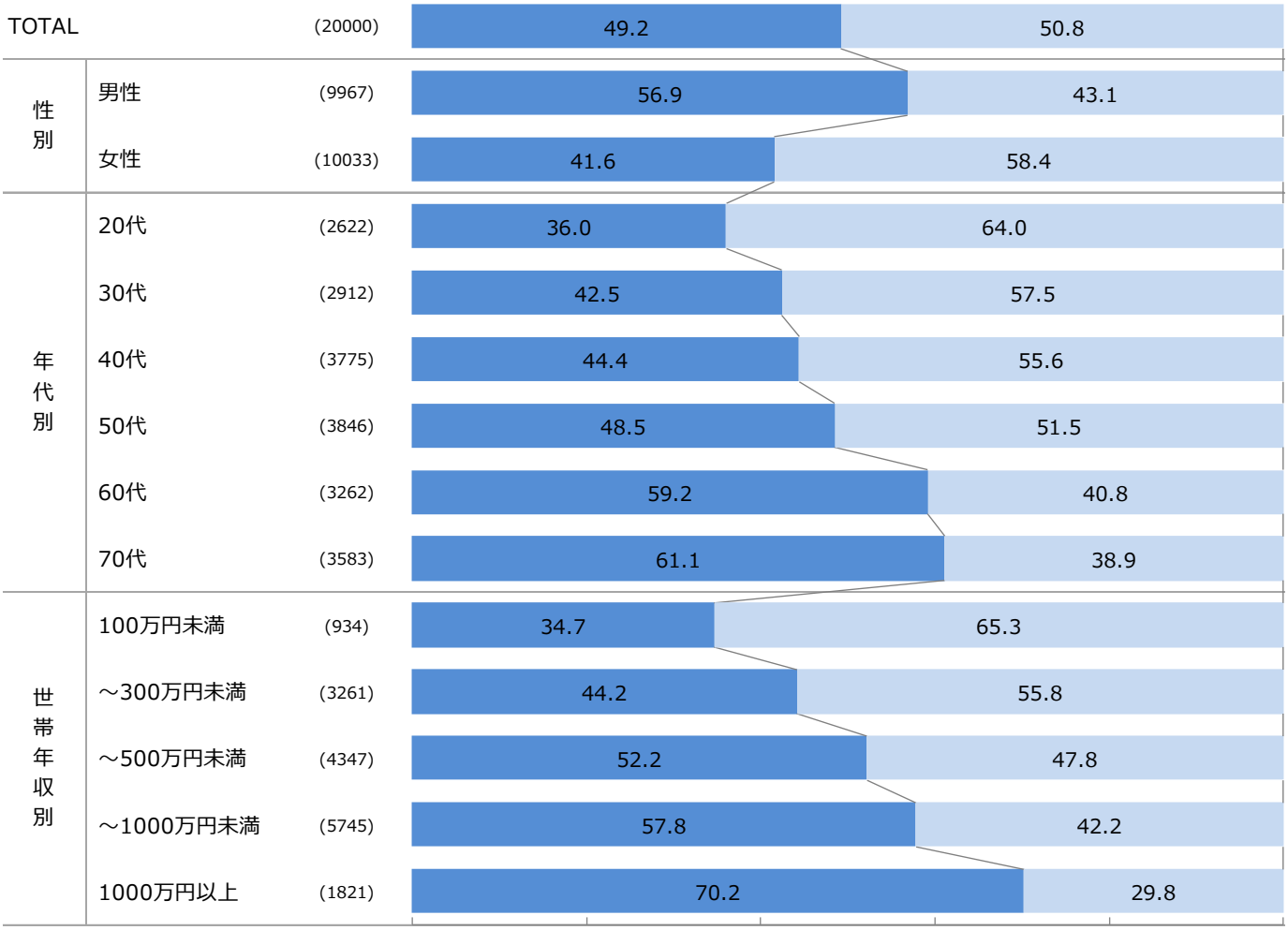
（3）金融資産の保有経験〔Q1:単数回答〕

※　金融資産･･･外貨預金、株式、債券（国債･公社債など）、投資信託、ＦＸ、
ＥＴＦ、ＲＥＩＴなど。現金や円での預貯金、土地や不動産、保険は除く。

〔図 参考-12〕



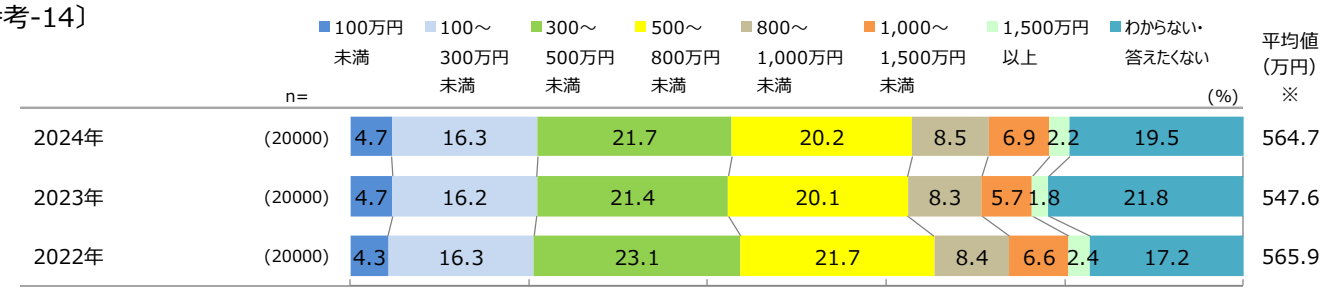
〔図 参考-13〕



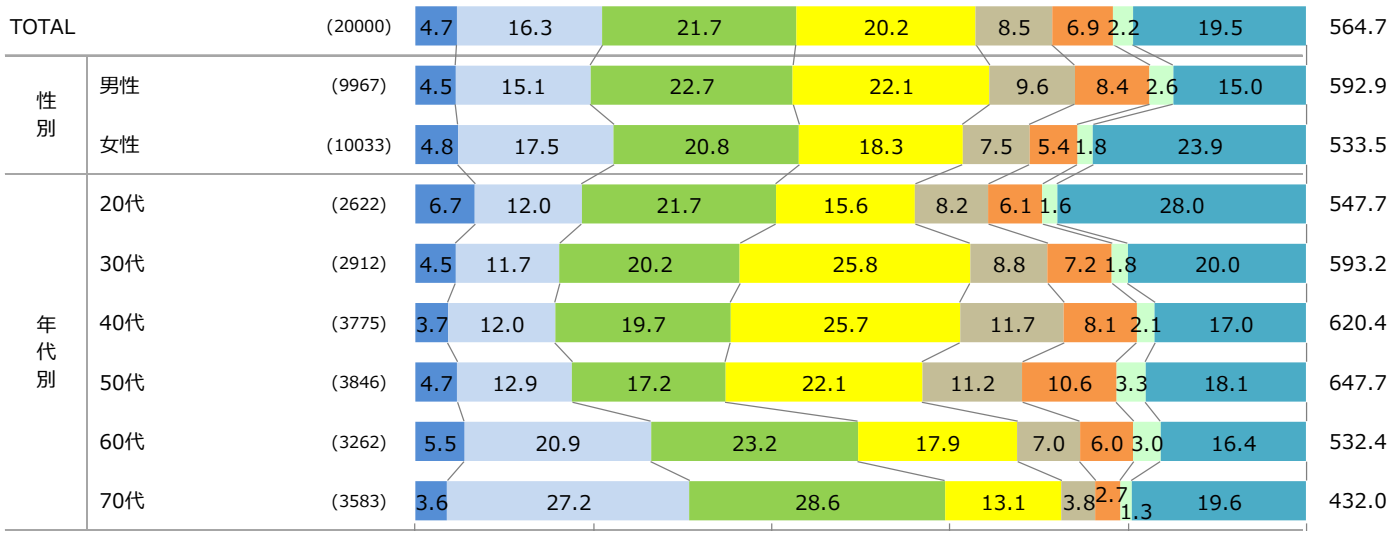
参考．回答者の属性

（4）世帯年収〔F4①:単数回答〕

〔図 参考-14〕



〔図 参考-15〕



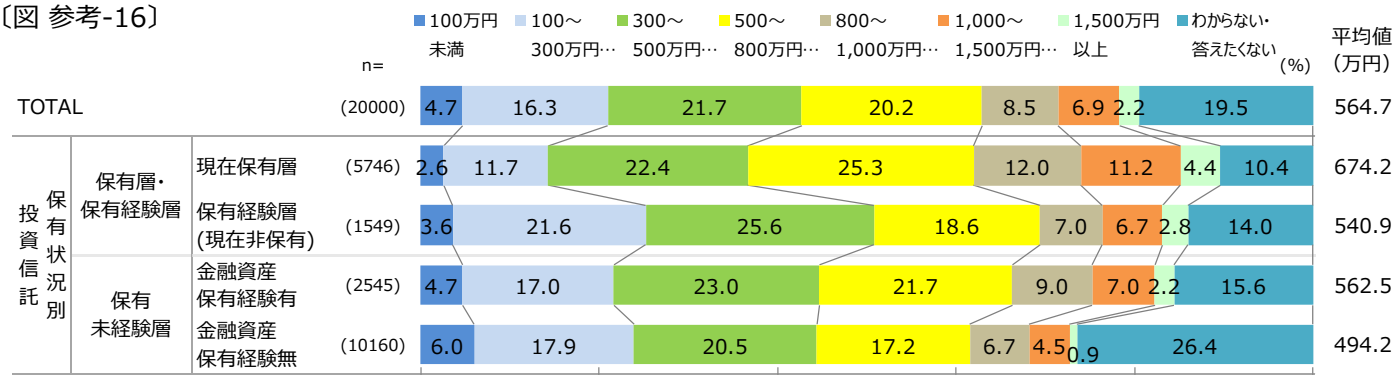
※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 ／ 100～300万円未満：200万円 ／ 300～500万円未満：400万円 ／ 500～800万円未満：650万円
800万円～1000万円未満：900万円 ／ 1000～1500万円未満：1250万円 ／ 1500万円以上：1750万円

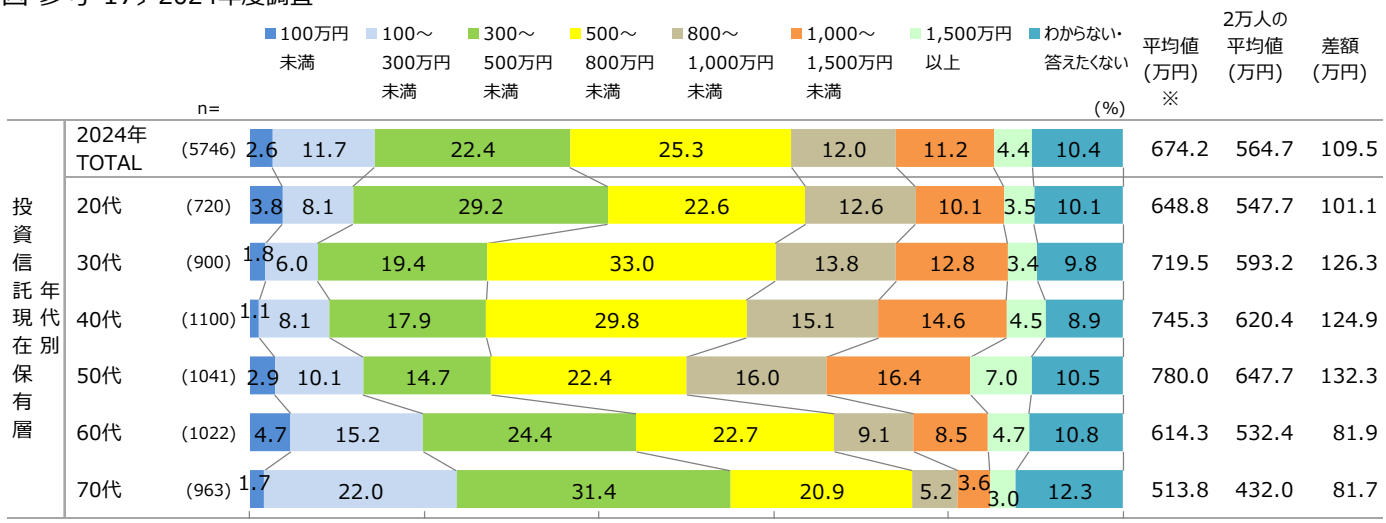
参考．回答者の属性

（4）世帯年収〔F4①:単数回答〕

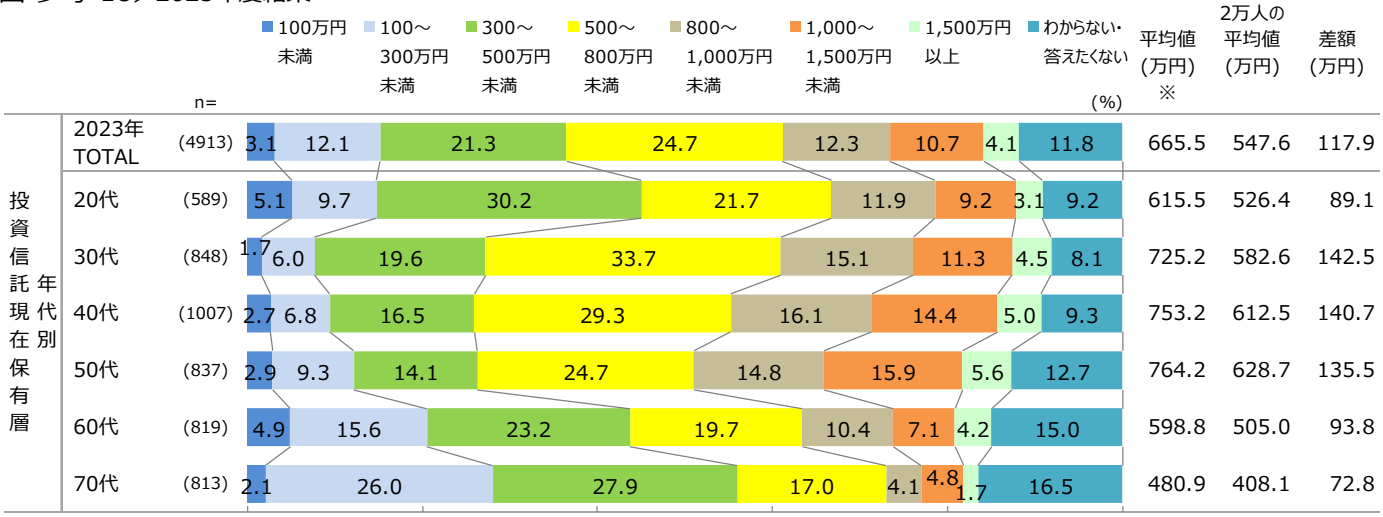
〔図 参考-16〕



〔図 参考-17〕2024年度調査



〔図 参考-18〕2023年度結果



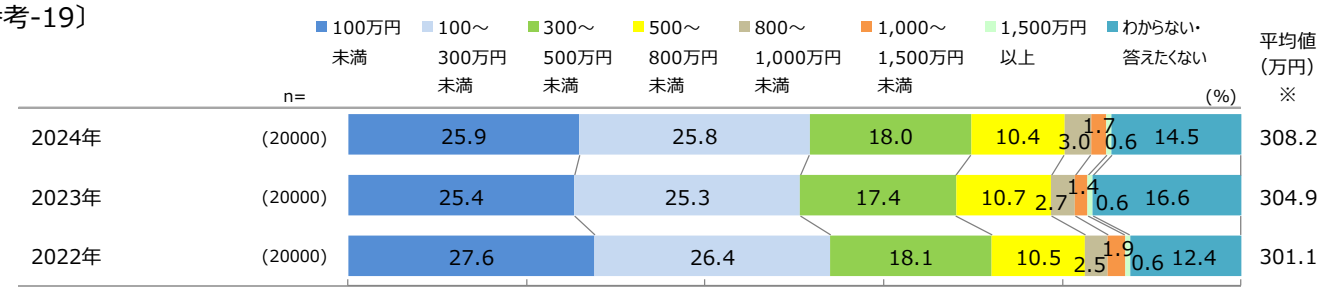
※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 ／ 100～300万円未満：200万円 ／ 300～500万円未満：400万円 ／ 500～800万円未満：650万円
800万円～1000万円未満：900万円 ／ 1000～1500万円未満：1250万円 ／ 1500万円以上：1750万円

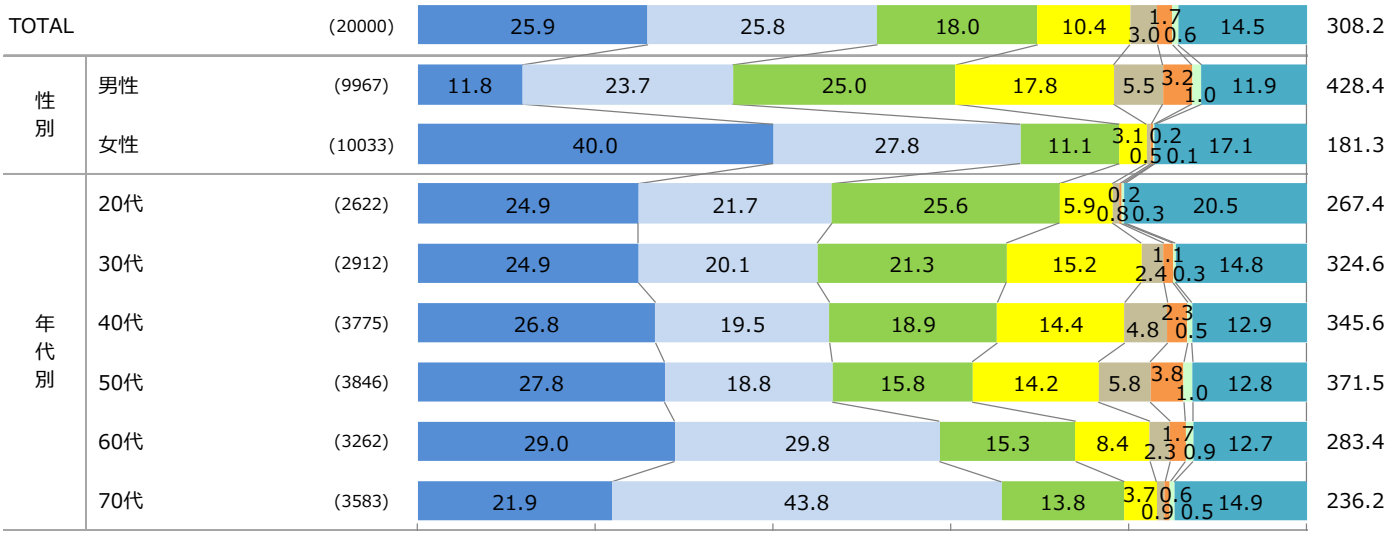
参考．回答者の属性

（5）個人年収〔F4②:単数回答〕

〔図 参考-19〕



〔図 参考-20〕



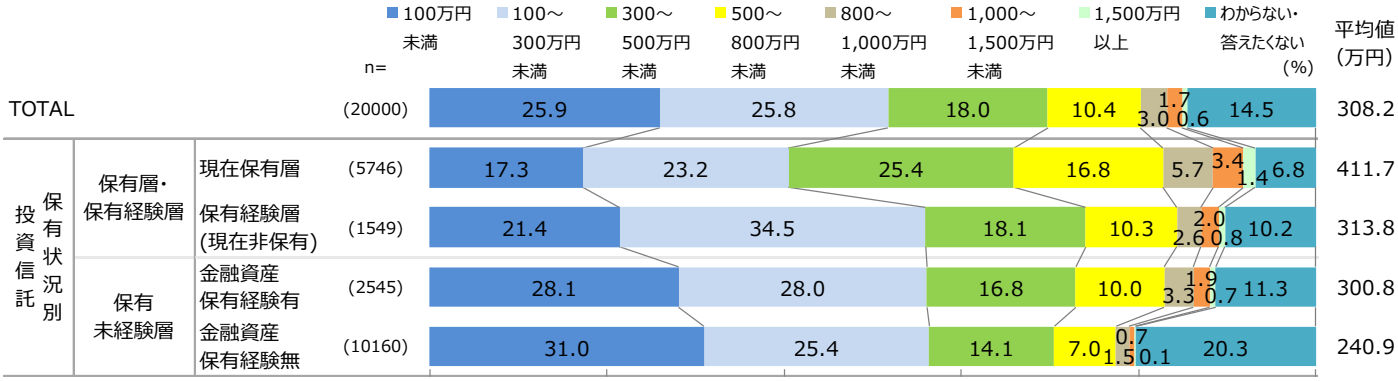
※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 ／ 100～300万円未満：200万円 ／ 300～500万円未満：400万円 ／ 500～800万円未満：650万円
800万円～1000万円未満：900万円 ／ 1000～1500万円未満：1250万円 ／ 1500万円以上：1750万円

参考．回答者の属性

（5）個人年収〔F4②:単数回答〕

〔図 参考-21〕



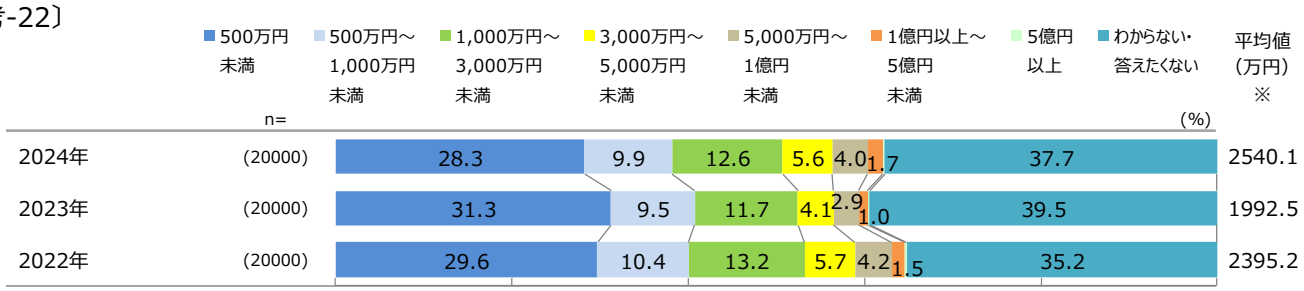
※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 ／ 100～300万円未満：200万円 ／ 300～500万円未満：400万円 ／ 500～800万円未満：650万円
800万円～1000万円未満：900万円 ／ 1000～1500万円未満：1250万円 ／ 1500万円以上：1750万円

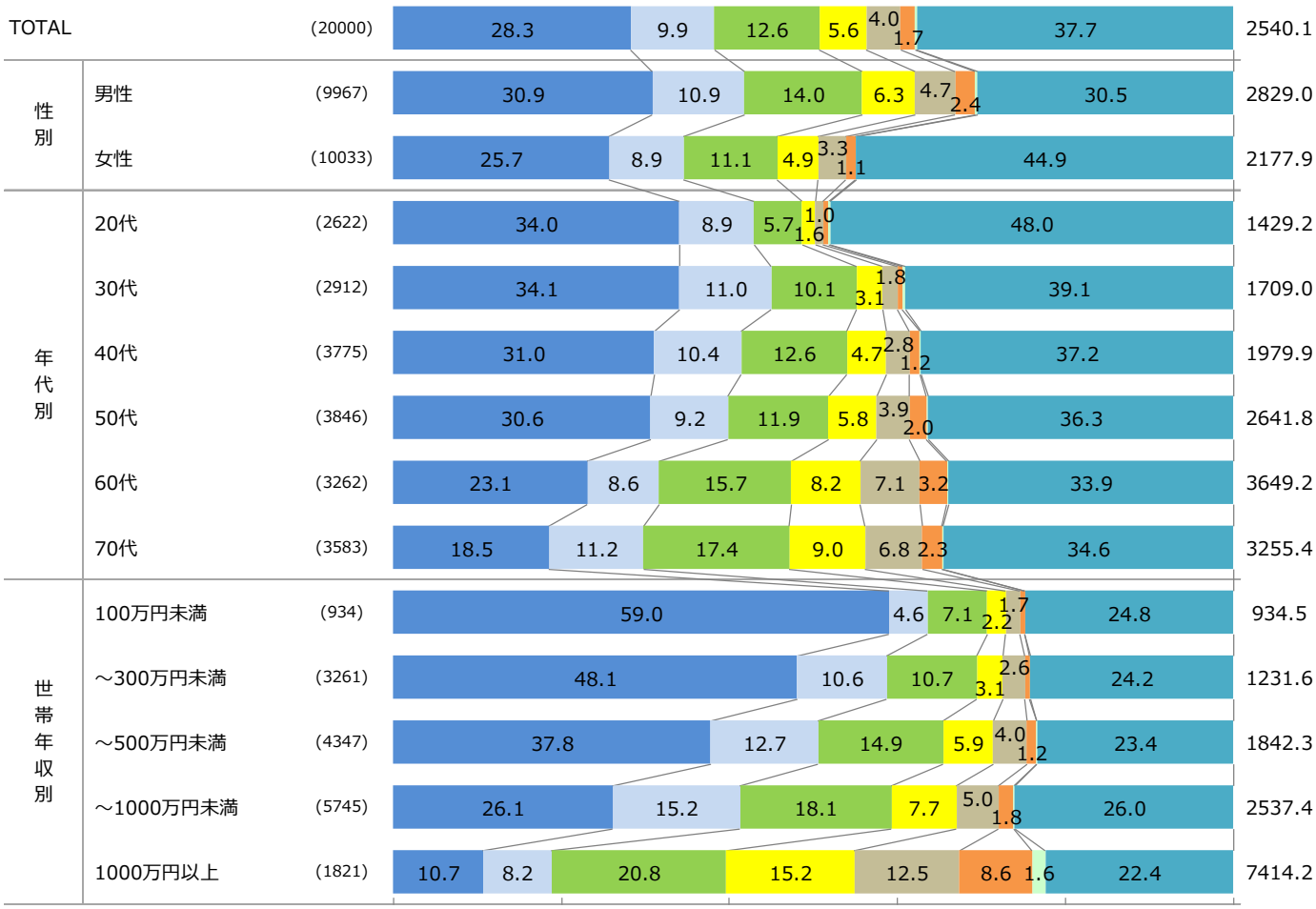
参考．回答者の属性

（6）保有金融資産額〔F5:単数回答〕

〔図 参考-22〕



〔図 参考-23〕



※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

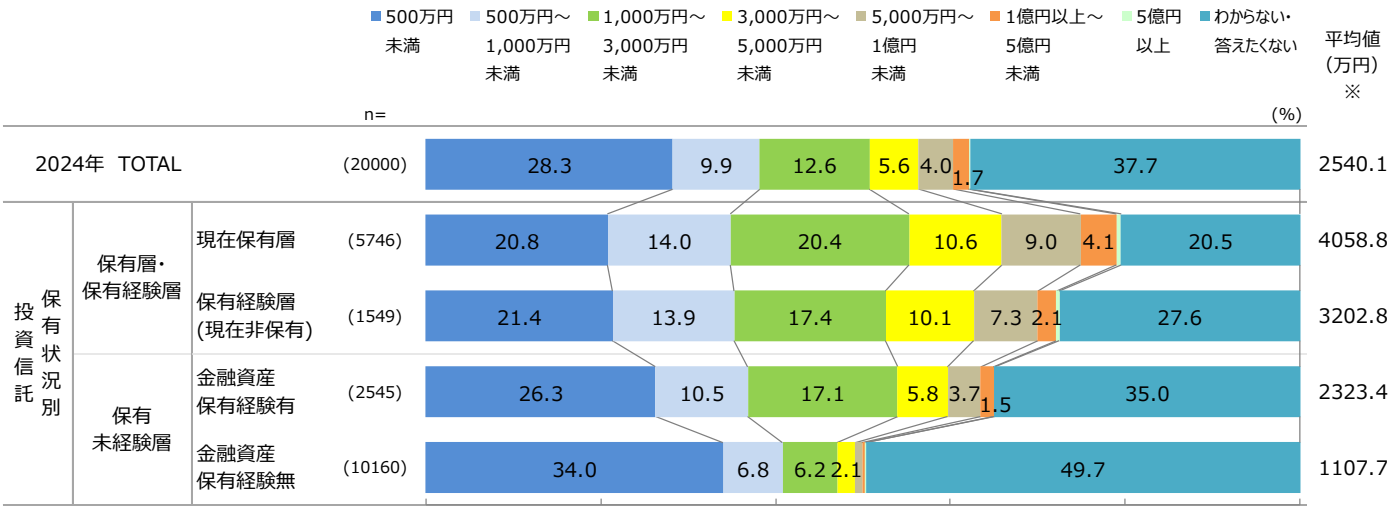
500万円未満：250万円 ／ 500～1000万円未満：750万円 ／ 1000～3000万円未満：2000万円 ／ 3000～5000万円未満：4000万円 ／ 5000万円～1億円未満：7500万円 ／ 1億円～5億円未満：3億円 ／ 5億円以上：7億円

※1%未満は非表示

参考．回答者の属性

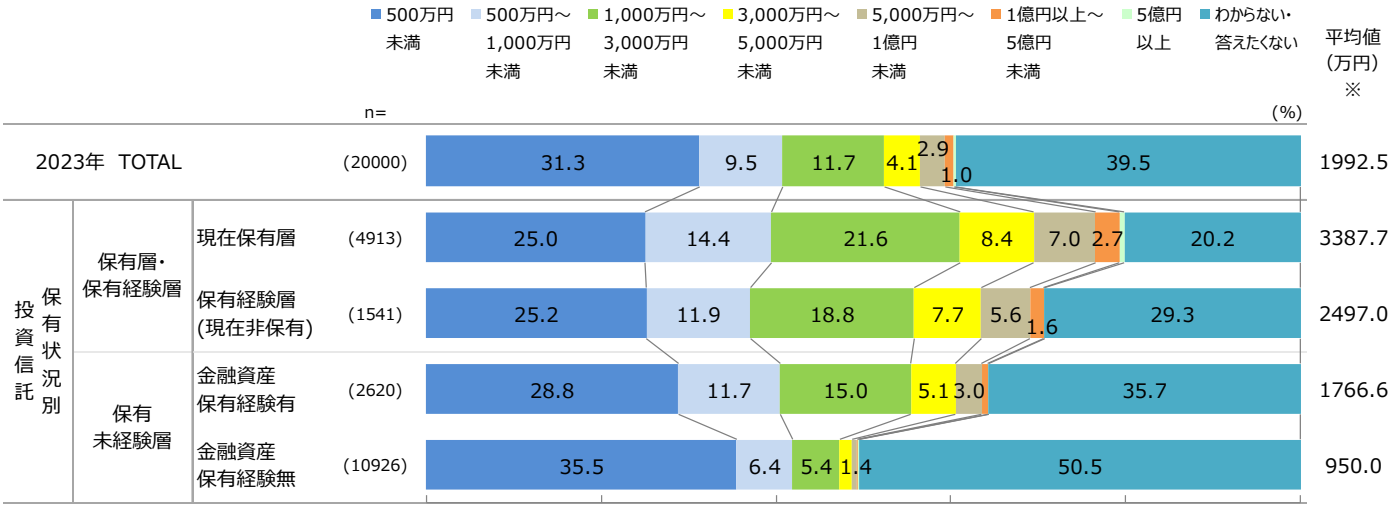
（6）保有金融資産額〔F5:単数回答〕

〔図 参考-24〕2024年度結果



※1%未満は非表示

〔図 参考-25〕2023年度結果



※1%未満は非表示

※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

500万円未満：250万円 ／ 500～1000万円未満：750万円 ／ 1000～3000万円未満：2000万円 ／ 3000～5000万円未満：4000万円 ／ 5000万円～1億円未満：7500万円 ／ 1億円～5億円未満：3億円 ／ 5億円以上：7億円

末尾添付資料：調査票

F1 あなたの性別を教えてください。

- 1 男性
- 2 女性

F2 あなたの年齢をお答えください。

1 [　　] 歳

F3 あなたの職業をお知らせください。

- 1 会社員・非営利団体職員
- 2 会社役員・経営者
- 3 派遣・契約社員
- 4 公務員
- 5 自由業（医師・弁護士など）
- 6 農林漁業
- 7 自営業（農林漁業を除く）
- 8 パート・アルバイト・フリーター
- 9 専業主婦／主夫
- 10 大学生、大学院生、専門学校生、短大生、予備校生
- 11 無職、定年退職
- 12 その他の職業

添付資料：調査票

F4 あなたの世帯年収と、個人年収をお知らせください。

	1 あなたの世帯年収 ↓	2 あなたの個人年収 ↓
1 １００万円未満	●	●
2 １００～３００万円未満	●	●
3 ３００～５００万円未満	●	●
4 ５００～８００万円未満	●	●
5 ８００～１０００万円未満	●	●
6 １０００～１５００万円未満	●	●
7 １５００万円以上	●	●
8 わからない・答えたくない	●	●

F5 あなたの**世帯**で保有されている「金融資産」（※）の概算の評価額としてあてはまるものをお選びください。

※ 「金融資産」・・・預貯金、社債や国債などの債券・株、投資信託、生命保険のうち満期金のあるもの、貸出金など。
土地や不動産は除きます。

- ● 1 500万円未満
- ● 2 500万円～1000万円未満
- ● 3 1000万円～3000万円未満
- ● 4 3000万円～5000万円未満
- ● 5 5000万円～1億円未満
- ● 6 1億円～5億円未満
- ● 7 5億円以上
- ● 8 わからない・答えたくない

添付資料：調査票

■世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
■確定拠出年金や財形貯蓄を通じての購入も含めて、お答えください。

Q1 あなたはこれまでに「現金・預貯金（円）以外の金融資産」を保有したことがありますか。

※　「現金・預貯金（円）以外の金融資産」・・・外貨預金、株式、債券（国債・公社債など）、投資信託、ＦＸ、ＥＴＦ、リートなど。土地や不動産、保険は除きます。

- 1 保有したことがある
- 2 保有したことはない

＜Q2聴取対象：金融資産保有経験者(Q1=1)＞

■世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
■確定拠出年金や財形貯蓄を通じての購入も含めて、お答えください。

Q2 あなたはこれまでに投資信託を保有したことがありますか。

※　「投資信託」とは、複数の投資家から出資されたお金を一つの資金としてまとめ、ファンドマネージャーなどの資金運用の専門家が、株式や債券、リートなどに投資し、その成果（利益）を投資家に還元する金融商品のことを指します。

- 1 現在保有している
- 2 以前保有していたが、現在は保有していない
- 3 今まで保有したことがない

添付資料：調査票

<Q3聴取対象：投資信託現在保有者(Q2=1)>

■世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
■確定拠出年金や財形貯蓄を通じての購入も含めて、お答えください。

Q3 あなたは投資信託をどの口座で保有していますか。

- 1 特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座
- 2 新NISA（成長投資枠）
- 3 新NISA（つみたて投資枠）
- 4 旧NISA（一般NISA）
- 5 旧NISA（つみたてNISA）
- 6 企業型DC（企業型確定拠出年金）
- 7 iDeCo（個人型確定拠出年金）
- 8 ポイント投資／運用の口座
- 9 その他
- 10 わからない・忘れた

<Q4聴取対象：投資信託現在保有者(Q2=1)>

■世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
■確定拠出年金や財形貯蓄を通じての購入も含めて、お答えください。

Q4 現在あなたが保有している投資信託の本数は、全部で何本ですか。

※ 同じ商品でも、コースや型・為替ヘッジの有無などで複数保有している場合は、それぞれを１本としてお答えください。

- 1 １～２本
- 2 ３～５本
- 3 ６～１０本
- 4 11本以上
- 5 わからない・答えたくない

添付資料：調査票

<Q5聴取対象：投資信託現在保有者(Q2=1)>

■世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
■確定拠出年金や財形貯蓄を通じての購入も含めて、お答えください。

Q5 現在あなたが保有している投資信託の主な投資対象または種類につきましてお答えください。

【非上場】

- ■ 1 国内株式に投資する投資信託
- ■ 2 国内債券に投資する投資信託
- ■ 3 外国株式に投資する投資信託
- ■ 4 外国債券（国債、ハイイールド債等）に投資する投資信託
- ■ 5 国内不動産投信（Ｊリート）に投資する投資信託
- ■ 6 外国の不動産投信に投資する投資信託
- ■ 7 株式、債券など、いくつかの資産に分散して投資する投資信託（バランス型）

【上場】

- ■ 8 ＥＴＦ
  （株価指数などに連動する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの）
- ■ 9 国内不動産投信〔Ｊリート〕
  （不動産に投資する投資信託で、日本の証券取引所に上場しているもの）
- ■ 10 その他 [ ]
- ■ 11 わからない・答えたくない

添付資料：調査票

＜Q6聴取対象：現在保有している投資信託の種類回答者(Q5=1～9のいずれか回答)＞

■世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
■確定拠出年金や財形貯蓄を通じての購入も含めて、お答えください。

Q6 現在あなたが保有している投資信託の、種類ごとの保有金額と、合計での保有金額を教えてください。

			1 100万円未満	2 100～300万円未満	3 300～500万円未満	4 500～800万円未満	5 800～1000万円未満	6 1000万円以上	7 わからない・答えたくない
非上場	1 国内株式に投資する投資信託 **Q5で『1.国内株式に投資する投資信託』** いずれかを選択した方のみ	→	●	●	●	●	●	●	●
	2 国内債券に投資する投資信託 **Q5で『2.国内債券に投資する投資信託』** いずれかを選択した方のみ	→	●	●	●	●	●	●	●
	3 外国株式に投資する投資信託 **Q5で『3.外国株式に投資する投資信託』** いずれかを選択した方のみ	→	●	●	●	●	●	●	●
	4 外国債券（国債、ハイイールド債等）に投資する投資信託 **Q5で『4.外国債券（国債、ハイイールド債等）に投資する投資信託』** いずれかを選択した方のみ	→	●	●	●	●	●	●	●
	5 国内不動産投信（Ｊリート）に投資する投資信託 **Q5で『5.国内不動産投信（Ｊリート）に投資する投資信託』** いずれかを選択した方のみ	→	●	●	●	●	●	●	●
	6 外国の不動産投信に投資する投資信託 **Q5で『6.外国の不動産投信に投資する投資信託』** いずれかを選択した方のみ	→	●	●	●	●	●	●	●
	7 株式、債券など、いくつかの資産に分散して投資する投資信託（バランス型） **Q5で『7.株式、債券など、いくつかの資産に分散して投資する投資信託（バランス型）』** いずれかを選択した方のみ	→	●	●	●	●	●	●	●
上場	8 ＥＴＦ （株価指数などに連動する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの） **Q5で『8.ＥＴＦ（株価指数などに連動する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの）』** いずれかを選択した方のみ	→	●	●	●	●	●	●	●
	9 国内不動産投信〔Ｊリート〕 （不動産に投資する投資信託で日本の証券取引所に上場しているもの） **Q5で『9.国内不動産投信〔Ｊリート〕（不動産に投資する投資信託で、日本の証券取引所に上場しているもの）』** いずれかを選択した方のみ	→	●	●	●	●	●	●	●
	10 総合計（保有している投資信託の金額の合計）	→	●	●	●	●	●	●	●

添付資料：調査票

<Q7聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1～2)>

■世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
■確定拠出年金や財形貯蓄を通じての購入も含めて、お答えください。

Q7 投資信託に興味・関心を持ったきっかけや、購入したきっかけとしてあてはまるものを全てお答えください。

- 1 証券会社、銀行などの金融機関の人に勧められて
- 2 証券会社、銀行などの金融機関から送られてきたダイレクトメール（資料や案内状）を見たり、金融機関からの電話案内を聞いて
- 3 講演会やセミナーなどで、投資信託が資産形成に良いという話を聞いて
- 4 投資信託の商品広告などを見て
- 5 投資信託に関する本や記事などを見て
- 6 インターネットで投資信託について見たり調べたりして
- 7 Facebookからの情報を通じて
- 8 X（旧Twitter）からの情報を通じて
- 9 Instagramからの情報を通じて
- 10 TikTokからの情報を通じて
- 11 YouTube等の動画配信を観て
- 12 家族などから、投資信託が資産形成に良いという話を聞いて
- 13 友人・知人から、投資信託が資産形成に良いという話を聞いて
- 14 職場で勧められて
- 15 少額投資非課税制度（NISA）があるから
- 16 確定拠出年金で投資信託を選択したことで興味を持った
- 17 景気や市場（相場）の状況を見て
- 18 経済的に余裕ができたので
- 19 ポイントで投資／運用ができることを知って
- 20 その他

添付資料：調査票

<Q8聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1～2)>

■世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
■確定拠出年金や財形貯蓄を通じての購入も含めて、お答えください。

Q8 どのような目的で投資信託を購入しましたか。あてはまるものを全てお答えください。

- 1 結婚資金、住宅資金等、ライフイベントの支払いに備えるため
- 2 高額商品の購入資金
- 3 レジャー資金
- 4 老後の生活資金
- 5 子供又は孫のための教育などの資金
- 6 子供や孫に十分な資産を残したいため
- 7 資産のリスク分散
- 8 金融・経済・投資の勉強のため
- 9 不測の事態（病気、失業、自然災害など）への備え
- 10 投資で社会を良くすることができるため（ESG投資）
- 11 FIRE（経済的自立・早期リタイヤ）のため
- 12 インフレ（物価上昇）に備えるため
- 13 退職金の運用
- 14 その他
- 15 特に目的はないが資金を増やしたいため

添付資料：調査票

＜Q9聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1～2)＞

Q9 あなたは、投資信託を購入した際にどのような点を重視しましたか。
重視度の高い項目を、最大で３つまでお答えください。

- ☐ 1 過去の運用実績
- ☐ 2 値下がりの不安が少ない
- ☐ 3 値上がりへの期待
- ☐ 4 換金のしやすさ
- ☐ 5 分配頻度
- ☐ 6 過去の分配金額
- ☐ 7 手数料や運用管理費用（信託報酬）の水準
- ☐ 8 純資産額の大きさ
- ☐ 9 少額から投資できる
- ☐ 10 評価会社による評価
- ☐ 11 商品内容のわかりやすさ
- ☐ 12 社会性が高い企業が投資先である（ESG投資など）
- ☐ 13 その他の商品コンセプト（投資対象、投資テーマ、運用方針など）
- ☐ 14 その他
- ☐ 15 わからない・特にない

添付資料：調査票

<Q10聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1～2)>

Q10 あなたが投資信託を購入する時に参考にしている情報を全てお答えください。

- ☐ 1 販売用資料（商品内容のパンフレット）
- ☐ 2 目論見書（投資信託説明書）・運用報告書
- ☐ 3 投資信託を販売している会社（証券会社、銀行など）のホームページ
- ☐ 4 投資信託を運用している会社（アセットマネジメント）のホームページ
- ☐ 5 新聞
- ☐ 6 投資信託の評価機関（ウェルスアドバイザーなど）
- ☐ 7 投資に関する情報サイト（Yahoo!ファイナンスなど）
- ☐ 8 Facebookからの情報
- ☐ 9 X（旧Twitter）からの情報
- ☐ 10 Instagramからの情報
- ☐ 11 TikTokからの情報
- ☐ 12 YouTube等の動画配信
- ☐ 13 その他のインターネットの情報サイト（ファイナンシャルプランナーや個人投資家のブログなど）
- ☐ 14 投資信託や資産運用に関する本
- ☐ 15 テレビ番組・雑誌
- ☐ 16 投資や資産形成に関するセミナーなど
- ☐ 17 金融機関（証券会社、銀行など）の担当者の話
- ☐ 18 親族や知人、友人の話
- ☐ 19 その他
- ☐ 20 特にない

添付資料：調査票

<Q11聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1～2)>

Q11 投資信託の商品の見直しのきっかけとして、あてはまるものを全てお答えください。

- ☐ 1 ライフステージの変化（就職、結婚、出産、定年退職など）があったため
- ☐ 2 年収が変化したため
- ☐ 3 保有商品の基準価額・分配金が下落したため
- ☐ 4 保有資産のバランスを考えて
- ☐ 5 景気や市場（相場）の影響を見て
- ☐ 6 証券会社、銀行などの金融機関の人に勧められて
- ☐ 7 講演会やセミナーなどで、投資信託に関する話を聞いて
- ☐ 8 投資信託に関する商品広告などを見て
- ☐ 9 投資信託に関する本や記事などを見て
- ☐ 10 インターネットで投資信託について見たり調べたりして
- ☐ 11 Facebookからの情報を通じて
- ☐ 12 X（旧Twitter）からの情報を通じて
- ☐ 13 Instagramからの情報を通じて
- ☐ 14 TikTokからの情報を通じて
- ☐ 15 YouTube等の動画配信を観て
- ☐ 16 家族との投資信託に関する話を通じて
- ☐ 17 友人・知人との投資信託に関する話を通じて
- ☐ 18 少額投資非課税制度（NISA）の対象商品に合わせて
- ☐ 19 経済的に余裕ができたので
- ☐ 20 その他

添付資料：調査票

Q12 次にあげる投資信託の特徴の中で、あなたが知っているものを全てお答えください。

- ■ **1** 価格の変動があり、その他に外国に投資するものには為替リスクがある
- ■ **2** リスクとリターンは表裏一体の関係にある（高いリターンを得ようとすれば、高いリスクを伴う）
- ■ **3** 過去の運用実績は、将来のリターンを保証するものではない
- ■ **4** 元本の保証はない
- ■ **5** 銀行など、証券会社以外の金融機関でも購入できる
- ■ **6** 投資信託は、信託銀行で分別管理されている
  ※　分別管理とは、信託銀行が、自行と顧客の資産を分けて保管・管理することです
- ■ **7** 投資信託は、運用会社が運用している
- ■ **8** 販売手数料とは別に運用管理費用（信託報酬）がかかる
- ■ **9** 投資信託の評価を行う会社がある
- ■ **10** NISA（少額投資非課税制度）やDC（確定拠出年金）で投資信託が購入できる
- ■ **11** ポイントで投資信託に投資／運用できる
- ■ **12** インフレ率より投資信託の収益率が高ければ、そのお金で1年後に今より多くの物が購入できる
- ■ **13** 1社の株を買うよりも、株式投資信託を買う方が分散効果が期待できる
- ■ **14** 金利が上がると公社債投資信託の基準価額は下がる
- ■ **15** 投資信託は投資初心者に適した金融商品である
- ■ **16** この中で知っているものはない

添付資料：調査票

<Q13聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1～2)>

Q13 次にあげる投資信託の「分配金」の特徴について、知っているものを全てお答えください。

- ☐ 1 一般的に分配金額は、預金の利率のようにあらかじめ決まっているものではなく、運用成績によって変動する
- ☐ 2 分配金は投資信託の決算ごとに支払われる
- ☐ 3 投資信託の運用成績が良くないときには、分配金額が下がったり、支払われない場合がある
- ☐ 4 分配金として元本の一部が払い戻されることもある
- ☐ 5 分配金が支払われた額だけ、基準価額（投資信託の値段）が下がる
- ☐ 6 分配金の取扱いを「再投資」としても税金がかかる
- ☐ 7 この中で知っているものはない

<Q14聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1～2)>

■世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
■確定拠出年金や財形貯蓄を通じての購入も含めて、お答えください。

Q14 投資信託を売却したり、あるいは償還によって得たお金は、何に使いましたか。あてはまるものを全てお答えください。

- ☐ 1 すぐに株式、債券など、投資信託以外の金融商品を購入した
- ☐ 2 すぐに他の投資信託を購入した
- ☐ 3 次に金融商品を購入する機会を伺う為（待つ為）、預貯金・MRFなどにまわした
- ☐ 4 生活資金として引き出した
- ☐ 5 まとまった支出にあてた　※生活資金にあてた場合を除く
- ☐ 6 その他 [　　]
- ☐ 7 売却したことはない、償還によってお金を得たことはない

添付資料：調査票

<Q15聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1～2)>

Q15 あなたは、他の金融商品と比較した場合、どのような面で投資信託が優れていると考えますか。あてはまるものを全てお答えください。

※ 「他の金融商品」とは、投資信託を除いた株式、債券、FXなどを指します。預貯金や不動産は含みません。

- ☐ 1 少額でも分散投資ができる
- ☐ 2 少額でも投資の面白味がある
- ☐ 3 専門知識や時間がなくても投資ができる（専門家に銘柄選定や運用をお任せできる）
- ☐ 4 種類が豊富で目的に応じたものが選べる
- ☐ 5 比較的高い利回りが期待できる
- ☐ 6 積立投資ができる
- ☐ 7 分配金が自動的に再投資される商品がある
- ☐ 8 定期的に分配金が受け取れる
- ☐ 9 購入後の運用に関する情報が多い（運用報告書などが充実している）
- ☐ 10 購入手続きが簡単である
- ☐ 11 外国への投資が手軽にできる
- ☐ 12 手数料が比較的安い
- ☐ 13 その他
- ☐ 14 わからない・特にない

添付資料：調査票

<Q16聴取対象：投資信託保有経験者(Q2=1～2)>

Q16 では、他の金融商品と比較した場合、投資信託で不満を感じるのはどのような点ですか。あてはまるものを全てお答えください。

- ☐ 1 仕組みや運用手法がわかりにくい
- ☐ 2 専門知識がないと商品を選びにくい
- ☐ 3 リターン（収益）が低い
- ☐ 4 株式に比べて面白さに欠ける
- ☐ 5 公社債に比べてリスクが高い
- ☐ 6 購入後の運用に関する情報が少ない
- ☐ 7 手続きがわずらわしい
- ☐ 8 手数料が比較的高い
- ☐ 9 種類が多く選択に迷う
- ☐ 10 クローズド期間（換金・解約できない期間）がある
- ☐ 11 高い利回りを期待できる一方で元本保証がない
- ☐ 12 金融機関によって取り扱っていない商品がある
- ☐ 13 その他 [ ]
- ☐ 14 わからない・特にない

添付資料：調査票

Q17 投資信託は、「運用会社」が商品の設定・運用を行っていますが、投資信託を購入する場合、あなたは「運用会社」のどのような点を重視しますか。

※ 運用会社が直接販売を行っている場合もあります。
※ 証券会社や銀行などは販売会社として、運用会社から委託を受けて投資信託の販売を行っています。
※ 今までに投資信託を購入したことが無い方は、想定でお答えください。

- ☐ 1 知名度が高い
- ☐ 2 資本力が大きい
- ☐ 3 運用実績・成績が高い
- ☐ 4 運用体制が充実している
- ☐ 5 商品開発力がある
- ☐ 6 提供している資料や情報が分かりやすく充実している
- ☐ 7 販売会社を通さずに、直接購入できる
- ☐ 8 アフターサービスが充実している
- ☐ 9 販売会社（証券会社や銀行）などのグループ企業である
- ☐ 10 販売会社の系列ではなく、独立系企業である
- ☐ 11 外資系企業である
- ☐ 12 倫理観が高い
- ☐ 13 顧客対応が公平である
- ☐ 14 ESG・SDGsに力を入れている
- ☐ 15 その他
- ☐ 16 わからない・特にない

添付資料：調査票

<Q18聴取対象：投資信託現在保有者(Q2=1)>

■世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
■確定拠出年金や財形貯蓄を通じての購入も含めて、お答えください。

Q18 現在あなたは、投資信託の積立投資を利用していますか。（「新NISA（つみたて投資枠）」や「確定拠出年金」を含みます。）

- ● 1 利用している
- ● 2 利用していない

<Q19聴取対象：積立投資利用者(Q18=1)>

Q19 あなたは投資信託の積立投資金額を増額しましたか。増額した人は、そのきっかけを全てお答えください。

※ 定額積立の増額だけでなく、ボーナス設定による増額も含みます。

- ■ 1 ライフステージの変化（就職、結婚、出産、定年退職など）があったため
- ■ 2 年収が上がったため
- ■ 3 保有商品のパフォーマンスが良好なため
- ■ 4 保有商品の基準価額が下落したため
- ■ 5 保有商品を変更したため
- ■ 6 景気や市場（相場）の状況を見て
- ■ 7 証券会社、銀行などの金融機関の人に勧められて
- ■ 8 インターネット（SNS・YouTubeを含む）で見たり調べたりして
- ■ 9 積立投資の効果を実感したため
- ■ 10 新NISAの非課税投資枠を可能な限り利用したいため
- ■ 11 友人・知人の影響
- ■ 12 投資に関する知識が増えたから
- ■ 13 インフレに対する懸念
- ■ 14 増額していない

添付資料：調査票

Q20 投資信託の積立投資プランについて、知っている内容はどのようなことですか。

- ☐ 1 少額から利用できること
- ☐ 2 自動引き落としが利用でき、そのつど申し込む必要がないこと
- ☐ 3 ドル・コスト平均法の効果が得られること
- ☐ 4 長い時間をかけて資産運用したい人に向いていること
- ☐ 5 新NISA（つみたて投資枠）や確定拠出年金等の税制優遇制度の中でも活用できること
- ☐ 6 その他に知っている内容
- ☐ 7 積立投資プランがあることを知らない

<Q21聴取対象：投資信託現在保有者(Q2=1)>

■世帯ではなく、あなた個人でお持ちの資産についてお答えください。
■確定拠出年金や財形貯蓄を通じての購入も含めて、お答えください。

Q21 現在あなたは、毎月分配型の投資信託（１ヶ月毎に決算を行い、収益などの一部を分配金として毎月分配する運用方針のもの）を保有していますか。

- ○ 1 保有している
- ○ 2 保有していない
- ○ 3 わからない・答えたくない

添付資料：調査票

Q22 あなたは、毎月分配型の投資信託（１ヶ月毎に決算を行い、収益などの一部を分配金として毎月分配する運用方針のもの）に魅力を感じますか。

- 1 魅力を感じる
- 2 やや魅力を感じる
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり魅力を感じない
- 5 魅力を感じない

＜Q23聴取対象：毎月分配型投資信託に魅力を感じる層(Q22=1～2)＞

Q23 毎月分配型の投資信託に魅力を感じる理由はなんですか。

- 1 毎月利益を確定したいので
- 2 分配金を受け取ることで安心できるので
- 3 元本の一部払戻しの分配金であっても、年金収入を補完する上で活用できると思うので
- 4 毎月分配型投資信託の他に魅力的な商品がなかった
- 5 その他

添付資料：調査票

Q24 次にあげる投資信託の**コスト**に関する項目の中で、あなたが知っているものを全てお答えください。

【購入時手数料】

- ☐ 1 投資信託を購入するときに、購入時手数料がかかる
- ☐ 2 購入時手数料が、かからない投資信託がある（ノーロードファンド）
- ☑ 3 購入時手数料は証券会社や銀行などの販売会社に支払われる
- ☐ 4 同じ投資信託でも販売会社によって購入時手数料が異なる場合がある

【運用管理費用】

- ☐ 5 投資信託の保有中、運用管理費用（信託報酬）がかかる
- ☐ 6 運用管理費用（信託報酬）は投資信託財産から日々差し引かれる

【信託財産留保額】

- ☐ 7 解約時に信託財産留保額がかかる投資信託がある
- ☐ 8 信託財産留保額はファンドの運用の安定性確保、短期間での換金を抑制することを目的に徴収され、信託財産に留保される
- ☐ 9 信託財産留保額は販売会社や運用会社などが受け取る手数料ではない

- ☐ 10 色々なコストがあり、内容がよくわからない／この中で知っているものはない

添付資料：調査票

<Q25聴取対象：投資信託保有未経験者 (Q2=3,Q1=2)>

Q25 あなたが投資信託を購入したことがない理由は何ですか。あてはまるものを全てお答えください。

- ☐ 1 投資の知識がないので
- ☐ 2 投資信託の存在を知らなかったので
- ☐ 3 投資信託の仕組みがよくわからないので
- ☐ 4 元本保証がないので
- ☐ 5 損をしそうで怖いので
- ☐ 6 まとまった資金がないので
- ☐ 7 手数料など費用が高いので
- ☐ 8 商品の種類が多く自分では選択できないので
- ☐ 9 購入するのに手間がかかるので
- ☐ 10 投資信託を買うよりも自分で株などを運用した方がいいから
- ☐ 11 家族から投資について良い話を聞かないから
- ☐ 12 友人・知人から投資について良い話を聞かないから
- ☐ 13 なんとなく機会がなかったので
- ☐ 14 そもそも興味がないので
- ☐ 15 その他

添付資料：調査票

<Q26聴取対象：投資信託保有未経験者 (Q2=3,Q1=2)>

Q26 投資信託には以下の特長があります。あなたは、他の金融商品と比較した場合、どのような面に魅力を感じますか。
あてはまるものを全てお答えください。

※「他の金融商品」とは、投資信託を除いた株式、債券、FXなどを指します。預貯金や不動産は含みません。

- ☐ 1 少額でも分散投資ができる
- ☐ 2 少額でも投資の面白味がある
- ☐ 3 専門知識や時間がなくても投資ができる（専門家に銘柄選定や運用をお任せできる）
- ☐ 4 種類が豊富で目的に応じたものが選べる
- ☐ 5 比較的高い利回りが期待できる
- ☐ 6 積立投資ができる
- ☐ 7 分配金が自動的に再投資される商品がある
- ☐ 8 定期的に分配金が受け取れる
- ☐ 9 購入後の運用に関する情報が多い（運用報告書などが充実している）
- ☐ 10 購入手続きが簡単である
- ☐ 11 外国への投資が手軽にできる
- ☐ 12 手数料が比較的安い
- ☐ 13 その他
- ☐ 14 わからない・特にない

添付資料：調査票

<Q27聴取対象：投資信託保有未経験者 (Q2=3,Q1=2)>

Q27 あなたが、投資信託の購入を検討するきっかけとなりそうな項目を、全てお答えください。

- ☐ 1 家族に勧められたら
- ☐ 2 友人・知人に勧められたら
- ☐ 3 職場で勧められたら
- ☐ 4 金融機関の窓口などで、専門の知識を持つ人に教えてもらえたら
- ☐ 5 初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら
- ☐ 6 金融や投資を勉強して理解できたら
- ☐ 7 SNS（X（旧Twitter）、Instagram、Facebook、TikTok等）で有益な情報を目にしたら
- ☐ 8 YouTube等の動画配信で有益な情報を目にしたら
- ☐ 9 貯蓄が一定額に達したら
- ☐ 10 手取り収入が増えたら
- ☐ 11 退職金・相続などでの臨時収入があったら
- ☐ 12 低リスクの投資信託商品が充実してきたら
- ☐ 13 手数料の低い投資信託商品が充実してきたら
- ☐ 14 少額で積立てができる商品が充実してきたら
- ☐ 15 経済が上向きになり、値上がりが期待できる様になったら
- ☐ 16 税制上の優遇措置が、より拡充してきたら
- ☐ 17 職場で確定拠出年金や職場つみたてNISA等の利用環境が整備されたら
- ☐ 18 保有しているポイントで投資／運用ができるなら
- ☐ 19 その他

添付資料：調査票

Q28 次のような「持続可能な社会」の取り組みを行う企業に投資したいと思いますか。
購入したいと思うものをいくつでもお答えください。

- ☐ 1 「貧困・飢餓問題」に取り組む企業
- ☐ 2 「医療・福祉の充実」に取り組む企業
- ☐ 3 「教育格差の是正」に取り組む企業
- ☐ 4 「ジェンダーフリー・女性活躍の推進」に取り組む企業
- ☐ 5 「環境問題の改善」に取り組む企業
- ☐ 6 「再生エネルギーの普及」に取り組む企業
- ☐ 7 「働き方改革」に取り組む企業
- ☐ 8 その他
- ☐ 9 購入したいと思うものはない

添付資料：調査票

Q29 これまでに、お金の話にふれたことはありますか。あてはまるものを全てお答えください。
また、そのうち一番良かったと思うものを１つあげてください。
（お金の話にふれたことがない方は、一番良さそうに思うものをお答えください）

	1 これまでに、お金の話にふれたことがあるもの ↓	2 一番良かったと思うもの／一番良さそうに思うもの ↓
1 勤め先の企業での確定拠出年金の導入／継続／教育	■	●
2 勤め先の企業が行った資産運用セミナー（確定拠出年金に関する内容を除く）	■	●
3 高校や大学での講義	■	●
4 専門家（ファイナンシャルプランナー等）への個別相談	■	●
5 金融機関が主催のセミナー	■	●
6 金融機関以外が主催のセミナー	■	●
7 動画サイト（YouTube等）の動画配信	■	●
8 その他	■	●
9 あてはまるものはない／お金の話にふれたことがない	■	●

添付資料：調査票

Q30 投資（資産運用・資産形成）に関するテーマのうち、今知りたいテーマは何ですか。あてはまるものを全てお答えください。
また、そのうち一番重視すべきと思うものを１つあげてください。

	1 知りたい投資信託に関するテーマ ↓	2 一番重視すべきテーマ ↓
1 NISA	■	●
2 iDeCo（個人型確定拠出年金）／iDeCo＋	■	●
3 企業型DC（企業型確定拠出年金）	■	●
4 税制優遇制度（NISA・iDeCoなど）の使い分け	■	●
5 今後の経済動向	■	●
6 一括投資と積立投資の違い	■	●
7 商品売買のタイミング	■	●
8 投資する商品の選び方・資産配分の方法	■	●
9 定年後のライフプラン	■	●
10 資産の取り崩し方	■	●
11 その他	■	●
12 あてはまるものはない／知りたいテーマはない	■	●